

資料1-1別紙 サンゴ礁生態系保全行動計画 2022-2030における取組の進捗状況(重点課題毎の取組一覧)

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源
-----	--	------	----	----------	-------	---------	---	------	-----	--------	------------------	-----

重点課題1:サンゴ群集に関する科学的知見の充実と継続的モニタリング・管理の強化に関する取組

○サンゴ群集及びその保全・再生に関する科学的知見の充実

1.1	・サンゴ群集の修復技術、海洋プラスチックや化学物質によるサンゴ礁生態系に対するリスクに関する科学的研究を含め、サンゴ礁生態系に関する先端かつ学際的な視点での研究開発を推進し、統合的な保全に貢献します。(日本サンゴ礁学会)	MLやサンゴ礁学会大会時に研究発表等を通じて情報交換を行う。	1.1	R4	MLやサンゴ礁学会大会時に研究発表等を通じて情報交換を行った。サンゴ礁学会大会時に化学物質影響に関する自由集會を開催し、広く知見の収集と普及を行った。			日本サンゴ礁学会			日本サンゴ礁学会ウェブサイト	
				R5	MLやサンゴ礁学会26回大会時に研究発表等を通じて情報交換を行った。同大会時に「サンゴ礁生態系の保全にサンゴ礁保全学術委員会が果たす役割」についての自由集會を開催し、広く今後の活動の方向性について議論を行った。			日本サンゴ礁学会		日本サンゴ礁学会ウェブサイト		
				R6	MLやサンゴ礁学会27回大会時に研究発表等を通じて情報交換を行った。同大会時に「サンゴ礁保全とは何か？」を考える - “熱い自然”と“熱い心の島”の先に-」についての自由集會を開催し、広く今後の活動の方向性について議論を行った。			日本サンゴ礁学会		日本サンゴ礁学会ウェブサイト		
				R7	MLやサンゴ礁学会28回大会時に研究発表等を通じて情報交換を行った。第27回大会時に「サンゴ礁保全とは何か？」を考える - “熱い自然”と“熱い心の島”の先に-」についての自由集會を開催したが、議論の採録記事を日本サンゴ礁学会誌(2025:27-1)に掲載した。	広く一般に引用をはじめとした情報利用を可能とした。	世代を超えた調査研究活動を総括して継承することの重要性を再確認した。	日本サンゴ礁学会		日本サンゴ礁学会ウェブサイト	大会運営費および学会一般会計事業費からの支出	
1.2	・石西礁湖において、気候変動により大規模な白化現象が発生することを前提として、大規模擾乱が発生しても有効性を失わないサンゴ群集修復事業を目指し、サンゴの幼生の供給拠点となる海域にサンゴ群集を再生するための手法の確立を進めます。(環境省)	将来的なサンゴ幼生供給拠点を整備し、サンゴ礁の回復を促す手法を検討・実施するもの。2026年から本格的な修復事業を実施予定。	1.2	R4	サンゴ群集の修復のため、有性生殖法によりサンゴの種苗を生産し、生産した種苗を高水温の影響を受けにくい海域に配置することで、将来的なサンゴ幼生供給拠点を整備する。また、サンゴ礁から藻場へ遷移した海域について、海藻を除去してサンゴ場を回復させる試験を行っている。2020年試験計画を策定し、5カ年かけて手法の検討・試行を実施しているところ。	各種手法の試験結果の蓄積と検討を継続中		環境省(沖縄電美NCO、計画課再生L)	八重山漁業協同組合	2020年~2024年試験期間 2025年~本格的な事業実施予定	石西礁湖自然再生協議会 同ウェブサイト	
				R5	サンゴ群集の修復のため、有性生殖法によりサンゴの種苗を生産し、生産した種苗を高水温の影響を受けにくい海域に配置することで、将来的なサンゴ幼生供給拠点を整備する。また、サンゴ礁から藻場へ遷移した海域について、海藻を除去してサンゴ場を回復させる試験を行っている。2020年試験計画を策定し、5カ年かけて手法の検討・試行を実施しているところ。	各種手法の試験結果の蓄積と検討を継続中		環境省(沖縄電美NCO、計画課再生L)	八重山漁業協同組合	2020年~2024年試験期間 2025年~本格的な事業実施予定	石西礁湖自然再生協議会 同ウェブサイト	
				R6	サンゴ群集の修復のため、有性生殖法によりサンゴの種苗を生産し、生産した種苗を高水温の影響を受けにくい海域に配置することで、将来的なサンゴ幼生供給拠点を整備する。また、サンゴ礁から藻場へ遷移した海域について、海藻を除去してサンゴ場を回復させる試験を行っている。2020年試験計画を策定し、5カ年かけて手法の検討・試行を実施しているところ。	各種手法の試験結果の蓄積と検討を継続中		環境省(沖縄電美NCO、計画課再生L)	八重山漁業協同組合	2020年~2024年試験期間 2025年~本格的な事業実施予定	石西礁湖自然再生協議会 同ウェブサイト	
				R7	サンゴ群集の修復のため、有性生殖法によりサンゴの種苗を生産し、生産した種苗を高水温の影響を受けにくい海域に配置することにより将来的なサンゴ幼生の供給拠点を整備する。2026年3月に事業実施計画を策定し、2026~2031年の5年間で本格的に修復事業を実施予定。	各種試験及び事業の結果に基づき、効果的な再生手法の構築のための検討を継続中	世界でも前例がない有性生殖法によるサンゴ群集の修復に向けて、専門家だけでなく、地域の漁業者などの関係者とも連携して、海域における自然再生事業を進めている。	環境省(沖縄電美NCO、計画課NP室)	石西礁湖自然再生協議会、 八重山漁業協同組合等	2020年~2025年試験期間 2026年~ 修復事業実施予定	石西礁湖自然再生協議会 ウェブサイト http://sekiseiyoukou.com/szn/concil.html	

○継続的モニタリング・管理の強化

1.3	・モニタリングサイト1000事業において引き続き海域生態系の調査を実施します。(環境省) ※2021年度現在、サンゴ礁25サイト、沿岸域(藻場・干潟等のモニタリング)165サイト、砂浜(ウミガメ類のモニタリング)33サイト、小島嶼(海鳥のモニタリング)30サイト(環境省)	サンゴ礁、沿岸域(藻場・干潟等)、砂浜(ウミガメ)、小島嶼(海鳥)に関する定量的な長期モニタリング	1.3	R4	同計画の対象サイトのうち、令和4年度は、モニタリングサイト1000事業において、サンゴ礁25サイト、沿岸域(藻場・干潟等)114サイト、砂浜(ウミガメ)33サイト、小島嶼(海鳥)7サイトにおいてモニタリング調査を実施。	継続的に対象サイトのモニタリングを行うことにより、長期にわたって基礎的な環境情報が収集されている		環境省(多様性センター)			・モニタリングサイト1000事業HP (https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/reports/)	
				R5	同計画の対象サイトのうち、令和5年度は、モニタリングサイト1000事業において、サンゴ礁22サイト、沿岸域(藻場・干潟等)151サイト、砂浜(ウミガメ)33サイト、小島嶼(海鳥)7サイトにおいてモニタリング調査を実施。	継続的に対象サイトのモニタリングを行うことにより、長期にわたって基礎的な環境情報が収集されている		環境省(多様性センター)		・モニタリングサイト1000事業HP (https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/reports/)		
				R6	同計画の対象サイトのうち、令和6年度は、モニタリングサイト1000事業において、サンゴ礁23サイト、沿岸域(藻・干潟・アマモ場・藻場)26サイト、砂浜(ウミガメ)32サイト、小島嶼(海鳥)13サイトにおいてモニタリング調査を実施。	継続的に対象サイトのモニタリングを行うことにより、長期にわたって基礎的な環境情報が収集されている		環境省(多様性センター)		・モニタリングサイト1000事業HP (https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/reports/)		
				R7	同計画の対象サイトのうち、令和7年度は、モニタリングサイト1000事業において、サンゴ礁23サイト、沿岸域(藻・干潟・アマモ場・藻場)26サイト、砂浜(ウミガメ)32サイト、小島嶼(海鳥)6サイトにおいてモニタリング調査を実施。	継続的に対象サイトのモニタリングを行うことにより、長期にわたって基礎的な環境情報が収集されている	令和8年2月に公表された「生物多様性国家戦略2023-2030の実施状況の中間評価」及び「生物多様性条約第7回国別報告書」で、モニタリングサイト1000サンゴ礁及び沿岸域の調査結果が引用されている。 令和8年3月に公表された環境省第5次レッドデータブック(鳥類、爬虫類・両生類)で、モニタリングサイト1000砂浜(ウミガメ)及び小島嶼(海鳥)の調査報告書が参考文献として多数掲載されている。	環境省(多様性センター)		・モニタリングサイト1000事業HP (https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/reports/)		
1.4	・モニタリングサイト1000事業のサンゴ礁調査において把握情報(サンゴ群集以外の生物情報、底質状況など)の充実を図るとともに、海域に係る他の生態系調査との更なる連携を進めます。(環境省)	効率的なサンゴ礁調査の実施による把握情報の充実	1.4	R4	モニタリングサイト1000事業における「サンゴ礁調査」と「藻場等他の海域関係生態系調査」の枠組間で、今後連携が必要な/可能な調査項目や収集データの整理・検討を実施。	—		環境省(多様性センター)				
				R5	モニタリングサイト1000事業における「サンゴ礁調査」と「藻場等他の海域関係生態系調査」の枠組間で、今後連携が必要な/可能な調査項目や収集データの整理・検討を実施。	—		環境省(多様性センター)		・モニタリングサイト1000事業HP (https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/reports/)		
				R6	モニタリングサイト1000事業における「サンゴ礁調査」と「藻場等他の海域関係生態系調査」の枠組間で、今後連携が必要な/可能な調査項目や収集データの整理・検討を実施。 令和6年度中に公表予定の「モニタリングサイト1000 沿岸域調査 藻・干潟・アマモ場・藻場 2008-2022 年度とりまとめ報告書」では、伊豆下田サイト及び薩摩長島サイトにおけるサンゴ群集の状況を記載。	—		環境省(多様性センター)		・モニタリングサイト1000事業HP (https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/reports/)		
				R7	令和7年度モニタリングサイト1000サンゴ礁調査において、底質中懸濁物質含有量の観測に係る調査手法を整理し、調査マニュアルを改訂。 令和7年度中に公表予定の「2025年度 モニタリングサイト1000 アマモ場・藻場 調査報告書」では、伊豆下田サイト及び薩摩長島サイトにおけるサンゴ群集の状況を記載。	—	モニタリングサイト1000サンゴ礁調査では、継続的に底質状況を調査するため、調査マニュアルを改訂した。	環境省(多様性センター)		・モニタリングサイト1000事業HP (https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/reports/)		

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源			
1.5	・石西礁湖において、サンゴ群集の構成の変化等 を詳細に把握するためのモニタリングを引き続き実 施します(2021年度現在、サンゴ群集31地点、海洋 観測1地点)。(環境省)	石西礁湖サンゴ群集モニタリング調査の継続 実施による的確な状況把握と基礎情報の蓄積	1.5	R4	調査地点31地点において経年変化を把握するコドラート調査、サンゴ幼生の定着量調査、1年 生稚サンゴの加入量調査、クシハダミドリシの個体群構造調査、サンゴ種別の白化調査、ス ポットチェック法による白化調査、魚類調査などを実施した。また、定点1地点において海洋観 測モニタリングブイを設置して、水温、塩分、クロロフィル、濁度、流向、流速、波高を継続計測 した。	的確な状況把握がなされ、基礎情報 が蓄積された		環境省(沖縄電 美NCO)		H17~	ローデータは非公開(ローデータの利用 には国際サンゴ礁研究・モニタリングセ ンターが定める手続が必要。) 結果概要は石西礁湖自然再生協議会 の各会議ならびに同ウェブサイトで公 開。 <石西礁湖ポータルウェブサイト> <a href="http://www.sekiseisyouko.com/szn/">http://www.sekiseisyouko.com/szn/</a>				
				R5	調査地点31地点において経年変化を把握するコドラート調査、サンゴ幼生の定着量調査、1年 生稚サンゴの加入量調査、クシハダミドリシの個体群構造調査、サンゴ種別の白化調査、ス ポットチェック法による白化調査、魚類調査などを実施した。また、定点1地点において海洋観 測モニタリングブイを設置して、水温、塩分、クロロフィル、濁度、流向、流速、波高を継続計測 した。	的確な状況把握がなされ、基礎情報 が蓄積された		環境省(沖縄電 美NCO)		H17~	ローデータは非公開(ローデータの利用 には国際サンゴ礁研究・モニタリングセ ンターが定める手続が必要。) 結果概要は石西礁湖自然再生協議会 の各会議ならびに同ウェブサイトで公 開。 <石西礁湖ポータルウェブサイト> <a href="http://www.sekiseisyouko.com/szn/">http://www.sekiseisyouko.com/szn/</a>				
				R6	調査地点31地点において経年変化を把握するコドラート調査、サンゴ幼生の定着量調査、1年 生稚サンゴの加入量調査、クシハダミドリシの個体群構造調査、サンゴ種別の白化調査、ス ポットチェック法による白化調査、魚類調査などを実施した。また、定点1地点において海洋観 測モニタリングブイを設置して、水温、塩分、クロロフィル、濁度、流向、流速、波高を継続計測 した。	的確な状況把握がなされ、基礎情報 が蓄積された		環境省(沖縄電 美NCO)		H17~	ローデータは非公開(ローデータの利用 には国際サンゴ礁研究・モニタリングセ ンターが定める手続が必要。) 結果概要は石西礁湖自然再生協議会 の各会議ならびに同ウェブサイトで公 開。 <石西礁湖ポータルウェブサイト> <a href="http://www.sekiseisyouko.com/szn/">http://www.sekiseisyouko.com/szn/</a>				
				R7	調査地点31地点においてコドラート調査、サンゴ幼生の定着量調査、1年生稚サンゴの加入量 調査、クシハダミドリシの個体群構造調査、サンゴ種別の白化調査、スポットチェック法による 白化調査、魚類調査などを実施し、経年変化を把握した。また、定点1地点において海洋 観測モニタリングブイを設置して、水温、塩分、クロロフィル、濁度、流向、流速、波高を継続計測 した。	的確な状況把握がなされ、基礎情報 が蓄積された。	石西礁湖自然再生協議会学術調査部 会の作業チームにおいて、過年度の 調査成果等のデータベース化及び論 文化に向けて、各分野の専門家と議 論しながら取組を進めている。	環境省(沖縄電 美NCO)		H17~	ローデータは非公開(ローデータの利用 には国際サンゴ礁研究・モニタリングセ ンターが定める手続が必要。) 結果概要は石西礁湖自然再生協議会 の各会議ならびに同ウェブサイトで公 開。 <石西礁湖ポータルウェブサイト> <a href="http://www.sekiseisyouko.com/szn/">http://www.sekiseisyouko.com/szn/</a>				
1.6	・ウミガメの産卵地となっている砂浜における、海岸 清掃、産卵のモニタリング・監視活動を実施します。 (環境省)	国立公園内の砂浜における、海岸清掃、産 卵のモニタリング、監視活動	1.6	R4	マリンワーカー事業の実施(国立・国定公園の適正海域管理推進事業):6国立公園におい てウミガメの産卵地となっている砂浜における海岸清掃/産卵のモニタリング・監視・普及啓発 等を地域住民とともに実施	ウミガメ及び海岸景観の保全 砂浜が美化されるとともに、地域住民 の意識の向上に繋がった		環境省(国立公 園課)	地域住民						
				R5	マリンワーカー事業の実施(国立・国定公園の海域適正管理強化事業):5国立公園におい てウミガメの産卵地となっている砂浜における海岸清掃/産卵のモニタリング・監視・普及啓発 等を地域住民とともに実施	ウミガメ及び海岸景観の保全 砂浜が美化されるとともに、地域住民 の意識の向上に繋がった		環境省(国立公 園課)	地域住民						
				R6	マリンワーカー事業の実施(国立・国定公園の海域適正管理強化事業):6国立公園におい てウミガメの産卵地となっている砂浜における海岸清掃/産卵のモニタリング・監視・普及啓発 等を地域住民とともに実施	ウミガメ及び海岸景観の保全 砂浜が美化されるとともに、地域住民 の意識の向上に繋がった		環境省(国立公 園課)	地域住民						
				R7	マリンワーカー事業の実施(国立・国定公園の海域適正管理強化事業):6国立公園におい てウミガメの産卵地となっている砂浜における海岸清掃/産卵のモニタリング・監視・普及啓発 等を地域住民とともに実施	ウミガメ及び海岸景観の保全 砂浜が美化されるとともに、地域住民 の意識の向上に繋がった		環境省(国立公 園課)	地域住民						
1.7.1	【環境省】 ・モニタリングサイト1000事業における海域生 態系のモニタリング ・慶良間諸島国立公園における関係者間の 連携・情報共有		1.7.1	R4	・モニタリングサイト1000事業において、令和4年度は、海域生態系(サンゴ礁、沿岸域(藻場・ 干潟等)、砂浜(ウミガメ)、小島嶼(海鳥))のモニタリング調査を実施。 ・慶良間諸島国立公園において、サンゴ礁モニタリング調査を実施し、毎年関係行政機関やマ リンレジャー事業者、漁業関係者、観光協会が実施する保全活動の状況を共有する情報交換 会を実施している。	関係者間の活動やモニタリング結果 の情報の共有ができた		環境省(多様性 センター、沖縄電 美NCO、計画課 海洋L)	沖縄県、渡嘉敷村、座間味 村、観光協会、漁協、ダイブ ンク協会等	H27~	・モニタリングサイト1000事業HP ( <a href="https://www.biodic.go.jp/moni1000/fin&lt;br/&gt;dings/reports/">https://www.biodic.go.jp/moni1000/fin dings/reports/</a> )				
				R5	・モニタリングサイト1000事業において、令和5年度は、海域生態系(サンゴ礁、沿岸域(藻場・ 干潟等)、砂浜(ウミガメ)、小島嶼(海鳥))のモニタリング調査を実施。			環境省(多様性 センター、沖縄電 美NCO、計画課 海洋L)		・モニタリングサイト1000事業HP ( <a href="https://www.biodic.go.jp/moni1000/fin&lt;br/&gt;dings/reports/">https://www.biodic.go.jp/moni1000/fin dings/reports/</a> )					
				R6	・モニタリングサイト1000事業において、令和6年度は、海域生態系(サンゴ礁、沿岸域(藻場・ 干潟等)、砂浜(ウミガメ)、小島嶼(海鳥))のモニタリング調査を実施。 ・慶良間諸島国立公園において、サンゴ礁モニタリング調査を実施し、毎年関係行政機関やマ リンレジャー事業者、漁業関係者、観光協会が実施する保全活動の状況を共有する情報交換 会を実施している。			環境省(多様性 センター) 沖縄電美NCO・ 計画課海洋Lは あれば		・モニタリングサイト1000事業HP ( <a href="https://www.biodic.go.jp/moni1000/fin&lt;br/&gt;dings/reports/">https://www.biodic.go.jp/moni1000/fin dings/reports/</a> )					
				R7	・モニタリングサイト1000事業において、令和7年度は、海域生態系(サンゴ礁、沿岸域(藻場・ 干潟等)、砂浜(ウミガメ)、小島嶼(海鳥))のモニタリング調査を実施。 ・慶良間諸島国立公園において、サンゴ礁モニタリング調査を実施し、毎年関係行政機関やマ リンレジャー事業者、漁業関係者、観光協会が実施する保全活動の状況を共有する情報交換 会を実施している。	慶良間諸島国立公園内の地域関係者 の取組を共有する場を提供することが でき、他地域の事例等も紹介する契 機となった。	モニタリングサイト1000サンゴ礁調査 で、石西礁湖での産卵船撤去後の状 況を記載した報告書を令和8年4月に 公表予定。	環境省(多様性 センター) 沖縄電美NCO・ 計画課海洋Lは あれば	沖縄県、座間味村、渡嘉敷 村、マリレジャー事業者、 漁業関係者、観光協会等	H26~(慶良間)	・モニタリングサイト1000事業HP ( <a href="https://www.biodic.go.jp/moni1000/fin&lt;br/&gt;dings/reports/">https://www.biodic.go.jp/moni1000/fin dings/reports/</a> ) ・慶良間諸島国立公園におけるサンゴ 礁モニタリング調査 ( <a href="https://www.env.go.jp/park/kerama/d&lt;br/&gt;ata/index.html">https://www.env.go.jp/park/kerama/d ata/index.html</a> )				
				R4	和歌山県串本町において気候変動による波浪環境の変化とサンゴ群集との関係を明らかにす るために波高計を用いた波浪環境観測			和歌山県						和歌山県	
				R5	和歌山県串本町において気候変動による海洋環境の変化とサンゴ群集との関係を明らかにす るために水温計を用いた観測	R5.9月から測定開始した。測定を継続 中。		和歌山県							和歌山県
				R6	和歌山県串本町において気候変動による海洋環境の変化とサンゴ群集との関係を明らかにす るために水温計および波高計を用いた海洋環境観測。和歌山県すさみ町海域で採取したサン ゴを用いた古気候復元の研究。			和歌山県				波高計による海洋環境観測 の委託先:株式会社串本海 中公園センター。古気候復 元の研究:東北大学			和歌山県
R7	和歌山県串本町において気候変動による海洋環境の変化とサンゴ群集との関係を明らかにす るための海洋環境観測(水温および波高、pH、栄養塩)のおよびサンゴ群集被度調査の実施			和歌山県				海洋環境観測:株式会社串 本海中公園センター、東北 大学、琉球大学。サンゴ群集 被度調査:株式会社串本海 中公園センター				和歌山県			

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26～33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源		
1.7	各地のサンゴ礁生態系の現状把握とモニタリングを進め、行政・各研究機関等が連携して保全・管理を進めます。(環境省・各都県)	【徳島県】 エダミドリイシの特性把握	1.7.3	R4	エダミドリイシの育成実験(採卵・初期育成)やエダミドリイシの移植状況の経過観察・移植の実施			徳島県竹ヶ島自然再生協議会(報告元:徳島県)		R4年度				
				R5	エダミドリイシの育成実験(採卵・初期育成)やエダミドリイシの移植状況の経過観察・移植の実施	サンゴの移植等を実施、サンゴ保全に貢献した。		徳島県竹ヶ島自然再生協議会(報告元:徳島県)		R5年度				
				R6	エダミドリイシの育成実験(採卵・初期育成・中間育成)やエダミドリイシの移植状況の経過観察・育成したサンゴの種苗の移植の実施	サンゴの有性生殖技術の向上、サンゴの移植や経過観察等を実施、サンゴ保全に貢献した。		徳島県竹ヶ島自然再生協議会(報告元:徳島県)		R6年度				
				R7	エダミドリイシの育成実験(採卵・初期育成・中間育成)やエダミドリイシの移植状況の経過観察、モニタリング調査及び有性生殖にて育成したサンゴの種苗の移植の実施	サンゴの有性生殖技術の向上、サンゴの移植や経過観察等を実施、サンゴ保全に貢献した	サンゴの有性生殖技術の向上 水槽内での産卵と採卵に成功し育成 実験中	徳島県竹ヶ島自然再生協議会(報告元:徳島県)		R7年度				
		【愛媛県】 足摺宇和海保全連絡協議会(事務局:環境省土佐清水自然保護官事務所及び公益財団法人黒潮生物研究所)に参画し、最も保全上の脅威であったオニヒトデ等のサンゴ食害生物の駆除事業の進捗状況やサンゴの被度の現況等について関係者間で情報を共有	1.7.4	R4	R4は未実施				愛媛県(足摺宇和海保全連絡協議会)	足摺宇和海保全連絡協議会	H20年度～現在(R4年度)	なし		なし
				R5	足摺宇和海保全連絡協議会(事務局:環境省土佐清水自然保護官事務所及び公益財団法人黒潮生物研究所)に参画し、最も保全上の脅威であったオニヒトデ等のサンゴ食害生物の駆除事業の進捗状況やサンゴの被度の現況等について関係者間で情報を共有 ※R5は未実施	R5は未実施			愛媛県(足摺宇和海保全連絡協議会)	足摺宇和海保全連絡協議会	H20年度～現在(R5年度)	なし		なし
				R6	未実施 ※気候変動適応中国四国広域協議会のもとに設置された高緯度サンゴ群集域気候変動適応ネットワーク(愛媛、徳島、高知県が参画)が、愛媛県内において足摺宇和海保全連絡協議会が果たしていた関係者間の情報共有と連携の役割を果たしている。	R6は未実施			愛媛県(足摺宇和海保全連絡協議会)	足摺宇和海保全連絡協議会	H20年度～現在(R5年度)	なし		なし
				R7	未実施 ※気候変動適応中国四国広域協議会のもとに設置された高緯度サンゴ群集域気候変動適応ネットワーク(愛媛、徳島、高知県が参画)が、愛媛県内において足摺宇和海保全連絡協議会が果たしていた関係者間の情報共有と連携の役割を果たしている。	R7は未実施	高緯度サンゴ群集域気候変動適応 ネットワーク集会において、サンゴ群 集の分布状況が把握できた。	愛媛県(足摺宇和海保全連絡協議会)	足摺宇和海保全連絡協議会	H20年度～現在(R7年度)	なし		なし	
		【高知県】 サンゴ分布調査	1.7.5	R4	高知県沿岸域のサンゴ群集の分布状況調査結果(R3年度まで)を受け、サンゴ等の保全を行っている地域団体への情報共有とネットワーク化	サンゴ群集の分布概況や攪乱状況などモニタリング結果を収集し、沿岸生態系の多様性保全活動を促進			高知県自然共生課	公益財団法人黒潮生物研究所				高知県予算
				R5	高知県沿岸域のサンゴ群集の分布状況調査結果(R3年度まで)を受け、サンゴ等の保全を行っている地域団体への情報共有とネットワーク化	サンゴ群集の分布概況や攪乱状況などモニタリング結果を収集し、沿岸生態系の多様性保全活動を促進			高知県自然共生課	公益財団法人黒潮生物研究所				高知県予算
				R6	高知県沿岸域のサンゴ群集の分布状況調査結果(R3年度まで)を受け、サンゴ等の保全を行っている地域団体への情報共有とネットワーク化	サンゴ群集の分布概況や攪乱状況などモニタリング結果を収集し、沿岸生態系の多様性保全活動を促進			高知県自然共生課	公益財団法人黒潮生物研究所				高知県予算
				R7	高知県沿岸域のサンゴ群集の分布状況調査結果(R3年度まで)を受け、サンゴ等の保全を行っている地域団体への情報共有とネットワーク化	サンゴ群集の分布概況や攪乱状況などモニタリング結果を収集し、沿岸生態系の多様性保全活動を促進			高知県自然共生課	公益財団法人黒潮生物研究所				高知県予算
		【鹿児島県】 喜界島サンゴ礁科学研究所によるサンゴの調査・研究	1.7.6	R4	・市民参加でのリーフチェック ・喜界島海域での海洋観測 ・サンゴ礁サイエンスキャンプ等環境教育活動 ・アオサンゴ保全協議会	・9月実施 8名 ・毎週実施 ・サイエンスキャンプ参加者 33名 ・年2回			喜界島サンゴ礁科学研究所	行政、研究機関等	・2015～	<a href="https://kikaireefs.org">https://kikaireefs.org</a> <a href="https://www.facebook.com/kikaireefs">https://www.facebook.com/kikaireefs</a>	・地球環境基金 ・国立研究開発法人 科学技術振興機構 ・セブン-イレブン記念 財団	
				R5	・市民参加でのリーフチェック ・喜界島海域での海洋観測 ・サンゴ礁サイエンスキャンプ等環境教育活動 ・アオサンゴ保全協議会 ・サンゴ礁スポット調査	・10月実施 20名 ・毎週実施 ・サイエンスキャンプ参加者 14名 ・年2回 ・島内4地点 年2回			喜界島サンゴ礁科学研究所	行政、研究機関等	・2015～	<a href="https://kikaireefs.org">https://kikaireefs.org</a> <a href="https://www.facebook.com/kikaireefs">https://www.facebook.com/kikaireefs</a>	・地球環境基金 ・国立研究開発法人 科学技術振興機構 ・セブン-イレブン記念 財団	
				R6	・市民参加でのリーフチェック ・喜界島海域での海洋観測 ・サンゴ礁サイエンスキャンプ等環境教育活動 ・アオサンゴ保全協議会 ・サンゴ礁スポット調査	・5月実施 20名 ・毎週実施 ・サイエンスキャンプ参加者 55名 ・年2回 ・島内4地点 年1回			喜界島サンゴ礁科学研究所	行政、研究機関等	・2015～	<a href="https://kikaireefs.org">https://kikaireefs.org</a> <a href="https://www.facebook.com/kikaireefs">https://www.facebook.com/kikaireefs</a>	・地球環境基金 ・国立研究開発法人 科学技術振興機構	
				R7	・市民参加でのリーフチェック ・喜界島海域での海洋観測 ・サンゴ礁サイエンスキャンプ等環境教育活動 ・アオサンゴ保全協議会 ・サンゴ礁スポット調査	・5月実施 20名 ・毎週実施 ・サイエンスキャンプ参加者 60名 ・年1回 ・島内4地点 年2回	■ アピールしたい成果:毎週の継続 実施と年次プログラムにより、延べ60 名規模の体験型教育を展開するとと に、島内4地点での定期調査を通して 面的・継続的な環境データを蓄積し、 教育と実践を統合した持続的な学び の基盤を構築した。 ■ 助言を得たいこと:活動拡大に伴う 継続参加の仕組みとデータ活用・発信 方法の高度化	喜界島サンゴ礁科学研究所	行政、研究機関等	・2015～	<a href="https://kikaireefs.org">https://kikaireefs.org</a> <a href="https://www.facebook.com/kikaireefs">https://www.facebook.com/kikaireefs</a>	・地球環境基金 ・国立研究開発法人 科学技術振興機構		

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源		
	【沖縄県】 海域における赤土等堆積状況の情報収集 (環境保全課)		1.7.7	R4	・赤土等の堆積状況調査(SPSS、濁度、塩分、T-N、T-P)ノサンゴ類調査の実施(28海域、112地点)	赤土等流出防止対策の実施状況に伴う、赤土等の堆積状況及びそれに伴う生物の生息状況調査を把握する。		沖縄県		R4~R13	環境保全課HP ( <a href="http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/hozen/mizu_tsuchi/redclay/index.html">http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/hozen/mizu_tsuchi/redclay/index.html</a> )	沖縄振興特別推進交付金		
				R5	・赤土等の堆積状況調査(SPSS、濁度、塩分、T-N、T-P)ノサンゴ類調査の実施(28海域、112地点)	赤土等の堆積状況及び生物の生息状況調査を把握した。		沖縄県		R4~R13	—	沖縄振興特別推進交付金		
				R6	・赤土等の堆積状況調査(SPSS、濁度、塩分、T-N、T-P)ノサンゴ類調査の実施(28海域、112地点)	赤土等の堆積状況及び生物の生息状況調査を把握した。		沖縄県		R4~R13	環境保全課HP <a href="https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/1023458.html">https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/1023458.html</a>	沖縄振興特別推進交付金		
				R7	・赤土等の堆積状況調査(SPSS、濁度、塩分、T-N、T-P)ノサンゴ類調査の実施(28海域、112地点)	赤土等の堆積状況及び生物の生息状況調査を把握した。		沖縄県環境部環境保全課		R4~R13	環境保全課HP <a href="https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/1023458.html">https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/1023458.html</a>	沖縄振興特別推進交付金		
			1.7.8	R4	・サンゴ礁の現状に関する情報収集(高水温による白化の状況) ・高水温による白化の状況調査(モニタリングサイト1000で把握できない箇所)	サンゴ礁の現状を把握し、今後の対策の検討に活用する。		沖縄県		R4~		沖縄振興特別推進交付金		
				R5	・サンゴ礁の現状に関する情報収集(高水温による白化の状況) ・高水温による白化の状況調査(モニタリングサイト1000で把握できない箇所)	サンゴ礁の現状を把握し、今後の対策の検討に活用する。		沖縄県		R4~		沖縄振興特別推進交付金		
				R6	・サンゴ礁の現状に関する情報収集(高水温による白化の状況) ・高水温による白化の状況調査(モニタリングサイト1000で把握できない箇所)	サンゴ礁の現状を把握し、今後の対策の検討に活用する。		沖縄県		R4~		沖縄振興特別推進交付金		
				R7	・サンゴ礁の現状に関する情報収集(高水温による白化の状況) ・高水温による白化の状況調査(モニタリングサイト1000で把握できない箇所)	サンゴ礁の現状を把握し、今後の対策の検討に活用する。		沖縄県(自然保護課)		R4~		沖縄振興特別推進交付金		
	【宮崎県】 被度状況等調査及びサンゴ食害生物駆除		1.7.9	R4	被度調査 R4.12.12(日南市大島)被度調査 5人 R5. 3.17(日南市大島)被度調査 5人 駆除作業 R4.11~R5.2(計4回)	・サンゴ被度55%(R3:55%) ・オニヒトデ駆除計47kg(R3:148kg)		日南海岸サンゴ群集保全協議会						
				R5	被度調査 R6.2.14(串間市都井・黒井)被度調査 5名 R6.3.14(串間市都井・黒井)被度調査 7名 R6.3.19(串間市都井・黒井)被度調査 2名 駆除作業 R5.11~R6.2(計4回)	・サンゴ被度61%(R4:55%) ・オニヒトデ駆除計9kg(R4:47kg)		日南海岸サンゴ群集保全協議会						
				R6	被度調査 R7.2.23(日南市大島)被度調査 7名 駆除作業 R6.11~R7.3(計5回)	・サンゴ被度52%(R5:61%) ・オニヒトデ駆除計61kg(R5:9kg)		日南海岸サンゴ群集保全協議会						
				R7	※R7年度の活動は継続中のため、詳細はR8年度の報告時に追記予定			日南海岸サンゴ群集保全協議会						
1.8	・サンゴ礁生態系とその保全状況に関する情報を一元化し、保全を推進します。 (情報提供:全活動主体、一元化:環境省)	保全活動の状況のとりまとめとフォローアップ	1.8	R4	サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030フォローアップ会議に際し、各取組主体の令和4年度の取組状況をとりまとめました。	フォローアップ会議を通じて関係団体との情報共有が図られた。		環境省(計画課海洋L)	全活動主体		・サンゴ礁生態系保全行動計画HP ( <a href="https://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/index.html">https://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/index.html</a> )			
				R5	サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030フォローアップ会議に際し、各取組主体の令和5年度の取組状況をとりまとめました。	フォローアップ会議を通じて関係団体との情報共有が図られた。		環境省(計画課海洋L)	全活動主体		・サンゴ礁生態系保全行動計画HP ( <a href="https://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/index.html">https://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/index.html</a> )			
				R6	サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030フォローアップ会議に際し、各取組主体の令和6年度の取組状況をとりまとめました。また、評価指標を策定した。	フォローアップ会議を通じて関係団体との情報共有が図られた。		環境省(計画課海洋L)	全活動主体		・サンゴ礁生態系保全行動計画HP ( <a href="https://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/index.html">https://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/index.html</a> )			
				R7	サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030フォローアップ会議に際し、各取組主体の令和7年度の取組状況をとりまとめました。また、中間評価に向けて情報収集等を行った。	フォローアップ会議を通じて関係団体との情報共有が図られた。	全ての取組について進捗報告を得ることができた。各取組主体からの報告を踏まえ有識者の方々や参加者からのご質問・ご指摘をいただいたことで、より詳細な情報を共有することができた。 委員による指摘を踏まえ、「アピールしたい成果と他団体・有識者への助言を貰いたいこと」欄を会議後に試行的に設けた。次年度以降の記載欄の構成については引き続き検討が必要である。	環境省(計画課海洋L)	全活動主体		・サンゴ礁生態系保全行動計画HP ( <a href="https://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/index.html">https://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/index.html</a> )			
1.9	・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターにおいて、データの提供や施設・備品等の貸与により、サンゴ礁の保全に関する調査研究を支援します。(環境省)	情報や施設の提供による調査研究の支援	1.9	R4	調査研究をはじめ学術的な使途を目的とした申請に対し、規程に基づき、石西礁湖サンゴ群集モニタリング調査の結果や図表等を提供した。	石西礁湖のサンゴ礁保全に関する10件程度の調査研究に貢献した。		環境省(沖縄奄美NCO)		H12~				
				R5	調査研究をはじめ学術的な使途を目的とした申請に対し、規程に基づき、石西礁湖サンゴ群集モニタリング調査の結果や図表等を提供した。	石西礁湖のサンゴ礁保全に関する10件程度の調査研究に貢献した。		環境省(沖縄奄美NCO)		H12~				
				R6	調査研究をはじめ学術的な使途を目的とした申請に対し、規程に基づき、石西礁湖サンゴ群集モニタリング調査の結果や図表等を提供した。	石西礁湖のサンゴ礁保全に関する10件程度の調査研究に貢献した。		環境省(沖縄奄美NCO)		H12~				
				R7	調査研究をはじめ学術的な使途を目的とした申請に対し、規程に基づき、石西礁湖サンゴ群集モニタリング調査の結果や図表等を提供した。	石西礁湖のサンゴ礁保全に関する10件程度の調査研究に貢献した。	直近の報告書は国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターHPに掲載・公開している。 <a href="https://kyushu.env.go.jp/okinawa/cor-emoc/report/sango1.html">https://kyushu.env.go.jp/okinawa/cor-emoc/report/sango1.html</a>	環境省(沖縄奄美NCO)		H12~				

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源
<b>〇情報共有の推進</b>												
1.10	・関係省庁及び自治体が優良事例の情報や課題等を共有することを目的としたワークショップを、原則として年1回、関係都県の協力を得ながらサンゴ群集が分布する地域において開催します。(環境省)	フォローアップ会議の開催	1.10	R4	サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030フォローアップ会議をオンラインで開催し、取組主体間の情報共有を行った。	フォローアップ会議を通じて関係団体との情報共有が図られた。		環境省(計画課海洋L)	全活動主体		・サンゴ礁生態系保全行動計画HP (https://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/index.html)	
				R5	サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030フォローアップ会議をオンラインで開催し、取組主体間の情報共有を行った。	フォローアップ会議を通じて関係団体との情報共有が図られた。		環境省(計画課海洋L)	全活動主体		・サンゴ礁生態系保全行動計画HP (https://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/index.html)	
				R6	サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030フォローアップ会議をオンラインで開催し、取組主体間の情報共有を行うとともに、市町村とも連絡がとれるようにした。	フォローアップ会議を通じて関係団体との情報共有が図られた。		環境省(計画課海洋L)	全活動主体		・サンゴ礁生態系保全行動計画HP (https://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/index.html)	
				R7	サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030フォローアップ会議をオンラインで開催し、取組主体間の情報共有を行うとともに、自治体担当者向けサンゴWeb講習会を実施した。	フォローアップ会議を通じて関係団体との情報共有が図られた。	近年、予算等の制約からフォローアップ会議の対面開催ができておらず、課題である。またWeb講習会においては累計28の自治体・団体に参加いただき、サンゴに関する情報提供の場になった。一方で参加者の反応が分りづらい部分もあった。課題や予算等の事情を踏まえ今後の開催を検討する。	環境省(計画課海洋L)	全活動主体		・サンゴ礁生態系保全行動計画HP (https://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/index.html)	
1.11	・各地域で重点課題に対処する際の参考事例となるよう、地域が主体となって取り組むサンゴ礁生態系保全の推進体制を構築するためのモデル事業を実施します。(環境省)	-	1.11	R4	-			環境省(計画課海洋L)				
				R5	モデル事業実施に向けた情報収集を行った。			環境省(計画課海洋L)				
				R6	モデル事業実施に向けた情報収集・調整を行った。			環境省(計画課海洋L)				
				R7	モデル事業実施地を選定し、現地打合せ等の必要な調整を行った。	調整を重ねるなかで各地域モデル事業の関係者の方々から積極的な意見や助言をいただくことができ、地域が主体となった取組を進めることができた。	環境省(計画課海洋L)					
1.12	・我が国のサンゴ礁生態系等に関する研究や保全、持続可能な利用に向けた地域での合意形成や協働に資する優良事例等について情報収集・整理・発信を行うとともに、必要な体制の強化を行います。(環境省)	サンゴ礁生態系等にかかる各種情報の収集・整理・発信の推進	1.12	R4	・石西礁湖自然再生協議会やそのメーリングリスト、国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターホームページ等において、環境省や関係行政機関、各種団体、有識者等が行っている調査・保全活動・持続可能な社会形成活動等の情報を発信し、各種取り組みの連携や協力を推進 ・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターにてサンゴ礁に関する調査や保全事業の報告書及び書籍等を収集し、閲覧室に保管・データベース化を実施 ・刊行物「Lagoon」の発刊を通して、国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターが実施するサンゴ保全の取組等を周知 ・JICA等海外のサンゴ礁生態系保全に関する行政研修の受け入れを通じた情報発信 ・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターホームページのアクセシビリティの向上を予定。	収集、整理、発信されたサンゴ礁生態系等に関する情報を活用して、サンゴ保全に資する研究、普及啓発、その他様々な取り組みが行われている。		環境省(沖縄奄美NCO、海洋L)		H12~	国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターホームページ (https://kyushu.env.go.jp/okinawa/cor-emoc/index.html)	
				R5	・石西礁湖自然再生協議会やそのメーリングリスト、国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターホームページ等において、環境省や関係行政機関、各種団体、有識者等が行っている調査・保全活動・持続可能な社会形成活動等の情報を発信し、各種取り組みの連携や協力を推進 ・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターにてサンゴ礁に関する調査や保全事業の報告書及び書籍等を収集し、閲覧室に保管・データベース化を実施 ・刊行物「Lagoon」の発刊を通して、国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターが実施するサンゴ保全の取組等を周知 ・JICA等海外のサンゴ礁生態系保全に関する行政研修の受け入れを通じた情報発信 ・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターホームページのアクセシビリティ向上を実施。今年度英語ページを新たに作成予定。	収集、整理、発信されたサンゴ礁生態系等に関する情報を活用して、サンゴ保全に資する研究、普及啓発、その他様々な取り組みが行われている。		環境省(沖縄奄美NCO、海洋L)		H12~	国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターホームページ (https://kyushu.env.go.jp/okinawa/cor-emoc/index.html)	
				R6	・石西礁湖自然再生協議会やそのメーリングリスト、国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターホームページ等において、環境省や関係行政機関、各種団体、有識者等が行っている調査・保全活動・持続可能な社会形成活動等の情報を発信し、各種取り組みの連携や協力を推進 ・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターにてサンゴ礁に関する調査や保全事業の報告書及び書籍等を収集し、閲覧室に保管・データベース化を実施 ・刊行物「Lagoon」の発刊を通して、国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターが実施するサンゴ保全の取組等を周知 ・JICA等海外のサンゴ礁生態系保全に関する行政研修の受け入れを通じた情報発信	収集、整理、発信されたサンゴ礁生態系等に関する情報を活用して、サンゴ保全に資する研究、普及啓発、その他様々な取り組みが行われている。		環境省(沖縄奄美NCO、海洋L)		H12~	国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターホームページ (https://kyushu.env.go.jp/okinawa/cor-emoc/index.html)	
				R7	・石西礁湖自然再生協議会やそのメーリングリスト、国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターホームページ等において、環境省や関係行政機関、各種団体、有識者等が行っている調査・保全活動・持続可能な社会形成活動等の情報を発信し、各種取り組みの連携や協力を推進 ・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターにてサンゴ礁に関する調査や保全事業の報告書及び書籍等を収集し、閲覧室に保管・データベース化を実施 ・刊行物「Lagoon」の発刊を通して、国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターが実施するサンゴ保全の取組等を周知 ・JICA等海外のサンゴ礁生態系保全に関する行政研修の受け入れを通じた情報発信	収集、整理、発信されたサンゴ礁生態系等に関する情報を活用して、サンゴ保全に資する研究、普及啓発、その他様々な取り組みが行われている。	サンゴについて広く知ってもらえるように、「Lagoon」と合わせて、サンゴ学習に活用することができる教材を発行し、八重山地域の児童・生徒を対象として配布した。	環境省(沖縄奄美NCO、海洋L)		H12~	国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターホームページ (https://kyushu.env.go.jp/okinawa/cor-emoc/index.html)	
				R4	国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターの常設展示を改修してサンゴに関する展示の拡充を行うとともに企画展示や出張展示などを積極的に行った。また、ウェブサイトのアクセシビリティを向上させる改修作業を行っているほか英語ページの開設も進めており年度内に整備完了予定である。JICA研修等には複数回対応しており、オンライン(2回)のみならず今年度からは新型コロナウイルス対策措置の緩和に伴い現地で16件(令和6年1月末現在)の受入れを行って保全行動の取組の紹介や情報発信、意見交換を行った。	サンゴや海洋環境を保全することの重要性や日本での取組について、国内外の参加者に理解を深めていただくことができた。		環境省(沖縄奄美NCO)			・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターHP (https://kyushu.env.go.jp/okinawa/cor-emoc/index.html)	
1.13	・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターにおいて、サンゴ礁の価値や重要性、保全の必要性を訴えるため、展示や普及啓発イベントの開催、ウェブサイト、オンラインコミュニケーションツール等を活用した多言語による情報発信を行います。(環境省)	展示やイベントの主催及び開催協力、ウェブサイト等による多言語対応を含む情報発信	1.13	R5	国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターの常設展示を改修してサンゴに関する展示の拡充を行った。また、ウェブサイトのアクセシビリティを向上させる改修作業を行っているほか英語ページの開設も進めており年度内に整備完了予定である。JICA研修等には複数回対応しており、新型コロナウイルス対策措置の緩和に伴い現地で16件(令和6年1月末現在)の受入れを行って保全行動の取組の紹介や情報発信、意見交換を行った。	サンゴや海洋環境を保全することの重要性や日本での取組について、国内外の参加者に理解を深めていただくことができた。		環境省(沖縄奄美NCO)			・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターHP (https://kyushu.env.go.jp/okinawa/cor-emoc/index.html)	
				R6	国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターに置いてあるデジタルサイネージで八重山のサンゴ礁や白化の状況、環境省事業などの映像を流し、来館者にサンゴ礁の重要性などを理解してもらいやすくする取組を行った。JICA研修等には複数回対応しており、現地で10件(令和7年1月末現在)の受入れを行って保全行動の取組の紹介や情報発信、意見交換を行った。	サンゴや海洋環境を保全することの重要性や日本での取組について、国内外の参加者に理解を深めていただくことができた。		環境省(沖縄奄美NCO)			・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターHP (https://kyushu.env.go.jp/okinawa/cor-emoc/index.html)	
				R7	国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターでは今年開館から25周年を迎え、記念イベントとして館内の展示を見ながら参加してもらおうクイズラリーを実施した。イベントへの参加によりサンゴについて詳しく知ることができ、来館者にサンゴ礁の重要性などを理解してもらいやすくする取組を行った。JICA研修等には複数回対応しており、現地で12件(令和8年2月末現在)の受入れを行って保全行動の取組の紹介や情報発信、意見交換を行った。	サンゴや海洋環境を保全することの重要性や日本での取組について、国内外の参加者に理解を深めていただくことができた。	クイズラリーのような機会を設定することによって、これまでよりも多くの来館者に国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターを利用していただくことができた。また、地域住民を中心としてサンゴに対する関心を高めることができた。	環境省(沖縄奄美NCO)			・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターHP (https://kyushu.env.go.jp/okinawa/cor-emoc/index.html)	
				R4	国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターの常設展示を改修してサンゴに関する展示の拡充を行うとともに企画展示や出張展示などを積極的に行った。また、ウェブサイトのアクセシビリティを向上させる改修作業を行っているほか英語ページの開設も進めており年度内に整備完了予定である。JICA研修等には複数回対応しており、オンライン(2回)のみならず今年度からは新型コロナウイルス対策措置の緩和に伴い現地で16件(令和6年1月末現在)の受入れを行って保全行動の取組の紹介や情報発信、意見交換を行った。	サンゴや海洋環境を保全することの重要性や日本での取組について、国内外の参加者に理解を深めていただくことができた。		環境省(沖縄奄美NCO)			・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターHP (https://kyushu.env.go.jp/okinawa/cor-emoc/index.html)	

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源	
1.14	・石西礁湖自然再生協議会の学術調査部において、各種モニタリング調査等のデータを用いた解析等を行い、分かりやすい形で提供することにより、協議会に参加する各主体の取組を支援するとともに、市民等に対して情報発信を行います。(環境省)	石西礁湖に関する調査や研究の結果の可視化や平易な表現への置換による普及啓発の推進	1.14	R4	石西礁湖自然再生協議会では、モニタリングサイト1000サンゴ礁調査の各調査地点における被度の結果を用い、過去の最大値と直近3年間の平均値を平易に比較できる「現況把握マップ」を過年度に作成したが、その情報更新を準備。更新した結果は周知されるよう協議会委員や新聞等を通じて発信するほか、特にその結果が示すアラートについては平易な表現で説明を加えることで市民等に行動を促したい。	市民や漁業者に、石西礁湖のサンゴがどのような状況かの理解促進を促した。		環境省(沖縄奄美NCO)		R4~	・石西礁湖ポータルウェブサイト (http://www.sekiseisyouko.com/szn/)		
				R5	石西礁湖自然再生協議会では、モニタリングサイト1000サンゴ礁調査の各調査地点における被度の結果を用い、過去の最大値と直近3年間の平均値を平易に比較できる「現況把握マップ」を過年度に作成したが、その情報更新を次年度に行うよう準備。更新した結果は周知されるよう協議会委員や新聞等を通じて発信するほか、特にその結果が示すアラートについては平易な表現で説明を加えることで市民等に行動を促したい。	市民や漁業者に、石西礁湖のサンゴがどのような状況かの理解促進を促した。		環境省(沖縄奄美NCO)		R4~	・石西礁湖ポータルウェブサイト (http://www.sekiseisyouko.com/szn/)		
				R6	石西礁湖自然再生協議会では、沖縄奄美NCOで実施しているサンゴ群集モニタリング調査についても一般市民に分かりやすく理解してもらうため、今年度に学術調査部作業チームにおいて過去のデータ解析及びローデータの公開について検討した。次年度についても引き続き検討を行う予定。	—		環境省(沖縄奄美NCO)		R4~	・石西礁湖ポータルウェブサイト (http://www.sekiseisyouko.com/szn/)		
				R7	石西礁湖自然再生協議会では、沖縄奄美NCOで実施しているサンゴ群集モニタリング調査についても一般市民に分かりやすく理解してもらうため、今年度に学術調査部作業チームにおいて過去のデータ解析及びローデータの公開について検討した。次年度についても引き続き検討を行う予定。	—	過年度事業として得られた長期モニタリングのデータの公開方針等について、より具体的な議論を進めることができた。	環境省(沖縄奄美NCO)		R4~	・石西礁湖ポータルウェブサイト (http://www.sekiseisyouko.com/szn/)		
1.15	・国際サンゴ礁イニシアティブや国際熱帯海洋生態系管理シンポジウムへの参加を通じて、引き続き国際的なサンゴ礁生態系保全の推進に貢献するとともに、地球規模サンゴ礁モニタリングネットワーク(GCRMN)東アジアワークショップの開催等を通じて、関係諸国とサンゴ礁生態系の保全に関する情報の共有を実施します。(環境省)	国際会議への参加によるサンゴ礁生態系保全に係る情報の収集と日本の取組の発信。	1.15	R4	・地球規模サンゴ礁モニタリングネットワーク(GCRMN)の東アジア地域ワークショップを開催し、各国のモニタリングに係る能力開発支援やモニタリングデータの管理手法等について検討した。 ・第14回国際サンゴ礁シンポジウム(ICRS)に参加し、情報収集等を実施。	国際的なサンゴ礁生態系保全の推進に貢献し、関係諸国とサンゴ礁生態系の保全に関する情報共有ができた。		環境省(計画課海洋L)					
				R5	・地球規模サンゴ礁モニタリングネットワーク(GCRMN)の東アジア地域ワークショップを開催し、各国のモニタリングに係る能力開発支援やモニタリングデータの管理手法等について検討した。	国際的なサンゴ礁生態系保全の推進に貢献し、関係諸国とサンゴ礁生態系の保全に関する情報共有ができた。		環境省(計画課海洋L)					
				R6	・地球規模サンゴ礁モニタリングネットワーク(GCRMN)の東アジア地域ワークショップを開催し、各国のモニタリングに係る能力開発支援やモニタリングデータの管理手法等について検討した。	国際的なサンゴ礁生態系保全の推進に貢献し、関係諸国とサンゴ礁生態系の保全に関する情報共有ができた。		環境省(計画課海洋L)					
				R7	・国際サンゴ礁イニシアティブ(ICRI)総会へ参加予定であったが、会議の開催が翌年度に延期された。 ・地球規模サンゴ礁モニタリングネットワーク(GCRMN)の東アジア地域ワークショップを開催し、各国のモニタリングに係る能力開発支援やモニタリングデータの管理手法等について検討した。 ・GCRMN東アジア地域報告書の公表に向け作成作業を進めた。	国際的なサンゴ礁生態系保全の推進に貢献し、関係諸国とサンゴ礁生態系の保全に関する情報共有ができた。	日本はGCRMNにおいて東アジア地域ワークショップを継続的に開催するなど東アジア地域を先導する役割を果たしており、大きく貢献してきた。こうした貢献や成果をいかに国内・国際的にアピールし、今後の継続につなげていくかが課題である。	環境省(計画課海洋L)					
1.16	・ミクロネシア地域における拠点としてわが国が設立を支援したパラオ国際サンゴ礁センターの研究、教育機能等の推進に協力します。(環境省)	パラオ国際サンゴ礁センターとの連携	1.16	R4	日本の国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター(石垣島)とパラオ国際サンゴ礁センターで協力覚書を締結(H29年度)し、環境省職員がパラオに渡航・交流(H30年度)して以降、具体的な連携が行えていなかったことから、その再開に向け、両センター職員でオンライン交流を行う企画を検討。			環境省(沖縄奄美NCO)					
				R5	日本の国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター(石垣島)とパラオ国際サンゴ礁センター(PICRC)で協力覚書を締結(H29年度)し、環境省職員がパラオに渡航・交流(H30年度)して以降、具体的な連携が行えていなかったことから、今年度中にPICRCスタッフを石垣島に招聘し、環境省職員等との意見交換会を実施予定。			環境省(沖縄奄美NCO)					
				R6	R6年3月にパラオ国際サンゴ礁センター(PICRC)スタッフを石垣島に招聘し、環境省職員・自治体職員・専門家との意見交換会を実施。今後は次世代の教育、普及啓発を重点分野として協力する方向となった。 また、R6年10月にはGCRMN東アジア地域ワークショップがパラオで開催され、国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター職員が参加。3月に石垣島に招聘したPICRCのCEOと再度交流を行った。			環境省(沖縄奄美NCO)					
				R7	具体的な活動を実施しなかった。次年度以降に次世代の教育、普及啓発の重点分野について協力していきたい。			環境省(沖縄奄美NCO)					
1.17	・シンポジウム等の主催、書籍や学会誌等の出版、ホームページ運営によるサンゴ礁保全に関する普及・啓発を推進します。(日本サンゴ礁学会)	学会の大会やウェブサイトの運営を通じて普及・啓発活動を行う。	1.17	R4	サンゴ礁学会大会時においてシンポジウム「サンゴ礁で獲れる魚たち〜サンゴが減ると魚も減る?」を開催した。また、サンゴ礁生態系保全に関わる情報をウェブサイトで随時公開している。			日本サンゴ礁学会					
				R5	サンゴ礁学会26回大会時において公開シンポジウム「生物礁 いろいろな時代、さまざまな生物」を開催した。同大会で自由集会「サンゴ礁×バイオフィオマテイクス×環境データで見る新たな知の水平線」を開催し最新のデータサイエンスの導入に向けた議論を行った。また、サンゴ礁生態系保全に関わる情報をウェブサイトで随時公開している。			日本サンゴ礁学会			日本サンゴ礁学会		
				R6	サンゴ礁学会27回大会時において公開シンポジウム「温帯域サンゴ群集の保全の現状と課題」を開催した。また、サンゴ礁生態系保全に関わる情報をウェブサイトで随時公開している。			日本サンゴ礁学会			日本サンゴ礁学会		
				R7	サンゴ礁学会28回大会時において公開シンポジウム「サンゴの今、サンゴ礁の未来 - 大規模白化の影響」、自由集会『変わりゆく自然:サンゴ礁という「場」の保全をめぐる』と「Connectivity and Segregation created by the Kuroshio/黒潮が生み出す連続性と隔離性」を開催した。また、サンゴ礁生態系保全に関わる情報をウェブサイトで随時公開している。 学会の定期刊行物として、「ニュースレター」「日本サンゴ礁学会誌」「Galaxea JCRS」を発行し学術的な情報発信の場を提供している。	広く一般に引用をはじめとした情報利用を可能とした。	気候変動における広範な課題を共有するとともに、国際的な連携による対応も検討できた。	日本サンゴ礁学会	公開シンポジウム共催後援:環境省・沖縄県・テラスネイチャー財団		大会運営費および学会一般会計事業費からの支出		
					広く一般に引用をはじめとした情報利用を可能とした。	保全活動と学術研究との協働を促進する有効な手段として機能している。	日本サンゴ礁学会			日本サンゴ礁学会	学会一般会計事業費からの支出		

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源
新規追加の取組 (R5年度)	【徳島県】 エダミドリイシの分布調査		R5		リーフチェックを行い、サンゴの分布状況の調査、堆積物・食害生物の除去活動を実施	サンゴの分布状況の調査、堆積物・食害生物の除去活動を行った		徳島県竹ヶ島自然再生協議会 (報告元:徳島県)				
			R6		リーフチェックを行い、サンゴの分布状況の調査、堆積物・食害生物の除去活動を実施	サンゴの分布状況の調査、堆積物・食害生物の除去活動を行った。		徳島県竹ヶ島自然再生協議会 (報告元:徳島県)		令和6年度		
			R7		リーフチェックを行い、サンゴの分布状況の調査、堆積物・食害生物の除去活動を実施	サンゴの分布状況の調査及びデータ分析、堆積物・食害生物の除去活動を行った。		徳島県竹ヶ島自然再生協議会 (報告元:徳島県)		令和7年度		
新規追加の取組 (R6年度)	【徳島県】 牟岐大島周辺におけるサンゴ成長状況調査		R6		「千年サンゴと生きるまちづくり協議会」において、徳島県牟岐町にある牟岐大島周辺におけるサンゴ成長状況についての定期計測・周辺海域の海藻繁殖状況調査等を年2回実施	サンゴ成長状況の把握		千年サンゴと生きるまちづくり協議会(事務局:徳島県南部総合県民局)	千年サンゴと生きるまちづくり協議会にはNPO、漁協、商工会、観光協会、牟岐町が参画	平成23年~		
			R7		「千年サンゴと生きるまちづくり協議会」において、徳島県牟岐町にある牟岐大島周辺におけるサンゴ成長状況についての定期計測・周辺海域の海藻繁殖状況調査等を年2回実施(R7は天候不順により年1回に)	サンゴ成長状況の把握	・千年サンゴは巨大なクリスマスツリー上のユニークな形状。継続的な調査でその形成要因についての仮説を検討	千年サンゴと生きるまちづくり協議会(事務局:徳島県南部総合県民局)	千年サンゴと生きるまちづくり協議会にはNPO、漁協、商工会、観光協会、牟岐町が参画	平成23年~		
新規追加の取組 (R6年度)	【徳島県】 牟岐大島周辺におけるサンゴ食害生物駆除		R6		「千年サンゴと生きるまちづくり協議会」において、徳島県牟岐町にある牟岐大島周辺におけるサンゴ食害生物(オニヒトデ・食巻貝)の駆除活動を年2回実施	サンゴの保全に貢献		千年サンゴと生きるまちづくり協議会(事務局:徳島県南部総合県民局)	千年サンゴと生きるまちづくり協議会にはNPO、漁協、商工会、観光協会、牟岐町が参画	平成23年~		
			R7		「千年サンゴと生きるまちづくり協議会」において、徳島県牟岐町にある牟岐大島周辺におけるサンゴ食害生物(オニヒトデ・食巻貝)の駆除活動を年2回実施	サンゴの保全に貢献	・食巻貝の計測・計量等に高校生ボランティアの力をお借りして、協議会の活動に触れる機会を提供している	千年サンゴと生きるまちづくり協議会(事務局:徳島県南部総合県民局)	千年サンゴと生きるまちづくり協議会にはNPO、漁協、商工会、観光協会、牟岐町が参画	平成23年~		
新規追加の取組 (R6年度)	【高知県】 サンゴ生育状況調査		R6		桂浜沖でのサンゴ生育状況調査の実施	桂浜沿岸のサンゴ生育状況の把握と過去調査との比較		高知県 自然共生課	公益財団法人黒潮生物研究所、公益社団法人桂浜水族館			高知県予算
			R7		桂浜沖でのサンゴ生育状況調査の実施	桂浜沿岸のサンゴ生育状況の把握と過去調査との比較	【課題】遊泳禁止区域なので、関係部署に許可申請が必要。潮りが強い海域なので、実施時期を選ぶ。	高知県 自然共生課	公益財団法人黒潮生物研究所、公益社団法人桂浜水族館	令和7年11月22日		高知県予算
新規追加の取組 (R6年度)	【高知県】 オニヒトデ被害状況把握モニタリング		R6		平成22年度からオニヒトデ駆除活動を行っており、その効果検証のためのサンゴ群集のモニタリングを行う。	モニタリングによるオニヒトデ被害状況の把握とモニタリング結果を駆除作業の場所や駆除日数の検討に使用する。		香南市	黒潮生物研究所	2016~2024年		香南市
			R7		平成22年度からオニヒトデ駆除活動を行っており、その効果検証のためのサンゴ群集のモニタリングを行う。	モニタリングによるオニヒトデ被害状況の把握とモニタリング結果を駆除作業の場所や駆除日数の検討に使用する。オニヒトデを確認。		香南市	黒潮生物研究所	2016~2025年		香南市
新規追加の取組 (R6年度)	【沖縄県】 漁場整備に係る基礎調査(サンゴ増殖)		R6		漁場整備を目的とした基礎調査およびサンゴの増殖			沖縄県(農林水産部 漁港漁場課)	国立研究開発法人 水産教育・研究機構 水産技術研究所	平成31~令和7年度		
			R7		漁場整備を目的とした基礎調査およびサンゴの増殖	サンゴ種苗の増殖に取り組み、得られた知見等をもとに漁場回復に向けた今後の対策に活用する。		沖縄県(農林水産部 漁港漁場課)	国立研究開発法人 水産教育・研究機構 水産技術研究所	平成31~令和7年度		

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源
-----	--	------	----	----------	-------	---------	---	------	-----	--------	------------------	-----

「重点課題2-1:陸域から過剰に流入する赤土等の土砂及び栄養塩、化学物質等への対策の推進」に関連する取組

○基礎的な取組												
2.1	a) 科学的知見の充実及び人材育成 ・陸域負荷に関する科学的知見の充実を行うとともに、保全・教育普及奨励賞の授与を通じて人材の育成を推進します。(日本サンゴ礁学会)	MLやサンゴ礁学会大会時に研究発表等を通じて情報交換を行う。	2.1	R4	MLやサンゴ礁学会大会時に研究発表等を通じて情報交換を行った。			日本サンゴ礁学会			日本サンゴ礁学会	
				R5	MLやサンゴ礁学会26回大会時に研究発表等を通じて情報交換を行った。			日本サンゴ礁学会		日本サンゴ礁学会		
				R6	MLやサンゴ礁学会27回大会時に研究発表等を通じて情報交換を行った。			日本サンゴ礁学会		日本サンゴ礁学会		
				R7	MLやサンゴ礁学会28回大会時に研究発表等を通じて情報交換を行った。	流域を含めた陸域対策についての調査研究事例を共有した。	保全活動と学術研究との協働のためのプラットフォームとして機能している。	日本サンゴ礁学会		日本サンゴ礁学会	大会運営費および学会一般会計事業費からの支出	

○土壌流出防止に向けた取組

総合的な対策													
2.2	a) 自然再生事業 ・沖縄県、高知県及び徳島県のサンゴ礁及びサンゴ群集が分布している地域での自然再生事業の実施にあたっては、赤土流出対策や土砂発生源対策等の陸域から流入する負荷への対策の情報共有も実施し、関係者間での連携を促進し、取組を推進します。(環境省)	①沖縄県、石西礁湖自然再生協議会における取組活動 ②高知県、奄美自然再生事業の実施 ③徳島県、竹ヶ島海域公園自然再生協議会の開催 徳島県、海陽町による調査・実験	2.2	R4	①R2年度に策定した計画を踏まえ、サンゴ群集修復事業の実証試験を開始した。試験的に幼生採取装置により採卵し、サンゴを着生させた着床具を架台に乗せ海域に設置する。 ②協議会への参画 ・サンゴの生息状況モニタリング、定点写真撮影、SPSS、水温計測 ・オニヒトデ駆除の実施 ・次世代の担い手育成のためのイベントの実施 ③徳島県によるサンゴの移植、移植サンゴのモニタリング調査、海陽町によるエダミドリイシの採卵・育成実験、NPOによるリーフチェック等が行われている。年に1度協議会を開催し、調査・実験結果の報告等の情報共有が行われている。 定点観測によるサンゴ分布調査。	①サンゴ群集修復試験及びモニタリングを実施 ②モニタリングによる生育状況等の把握、オニヒトデ駆除、普及啓発 ③エダミドリイシの育成環境の確認、採卵・育成実験により作成した有性生殖種苗を小学生が移植		環境省(計画課再生L)	①石西礁湖自然再生協議会委員 ②奄美観光振興会、土佐清水市、高知県、四国森林管理局ほか ③徳島県、海陽町、NPO	①R2-R6 ②R4 ③R4		①石西礁湖自然再生ホームページ <a href="http://www.sekiseisyouko.com/szn/">http://www.sekiseisyouko.com/szn/</a> ②土佐清水ジオパーク構想ホームページ <a href="https://tosashimizu-geo.jp/learn/#database">https://tosashimizu-geo.jp/learn/#database</a> ③竹ヶ島海域公園魅力化プロジェクト <a href="https://fcf.furunavi.jp/Project/Detail?pprojectId=311">https://fcf.furunavi.jp/Project/Detail?pprojectId=311</a>	
				R5	①継続的に石西礁湖のサンゴ群集モニタリングを実施している。令和2年度に策定した計画を踏まえ、サンゴ群集修復事業の実証試験を開始した。試験的に幼生採取装置により採卵し、サンゴを着生させた着床具を架台に乗せ海域に設置する。令和5年度に陸域負荷対策ワーキンググループ(仮称)が立ち上がり、栄養塩等の対策について具体的な取組の提案を行っている。 ②協議会への参画 ・サンゴの生息状況モニタリング、定点写真撮影、SPSS、水温計測 ・オニヒトデ駆除の実施 ・次世代の担い手育成のためのイベントの実施 ③徳島県によるサンゴの移植、移植サンゴのモニタリング調査、海陽町によるエダミドリイシの採卵・育成実験、NPOによるリーフチェック等が行われている。また、町内の小学校(3校)で環境学習を実施している。 年に1度協議会を開催し、調査・実験結果の報告等の情報共有が行われている。 定点観測によるサンゴ分布調査。	①サンゴ群集修復試験及びモニタリングを実施 ②モニタリングによる生育状況等の把握、オニヒトデ駆除、普及啓発 ③エダミドリイシの育成環境の確認、採卵・育成実験により作成した有性生殖種苗を小学生が移植		環境省(計画課再生L)	①石西礁湖自然再生協議会委員 ②奄美観光振興会、土佐清水市、高知県ほか ③徳島県、海陽町、NPO、漁協、徳島県竹ヶ島自然再生協議会委員	①修復事業：R2-モニタリング：S55- ②R5 ③R5	①石西礁湖自然再生ホームページ <a href="http://www.sekiseisyouko.com/szn/">http://www.sekiseisyouko.com/szn/</a> ②土佐清水ジオパークホームページ <a href="https://tosashimizu-geo.jp/learn/#database">https://tosashimizu-geo.jp/learn/#database</a> ③竹ヶ島海域公園魅力化プロジェクト <a href="https://www.furusato-tax.jp/gcf/2776">https://www.furusato-tax.jp/gcf/2776</a>		
				R6	①継続的に石西礁湖のサンゴ群集モニタリングを実施している。令和2年度に策定した計画を踏まえ、サンゴ群集修復事業の実証試験を開始した。試験的に幼生採取装置により採卵し、サンゴを着生させた着床具を架台に乗せ海域に設置する。令和5年度に陸と海のつながりWGが立ち上がり、栄養塩等の対策について具体的な取組の提案を行っている。 ②協議会への参画 ・サンゴの生息状況モニタリング、定点写真撮影、SPSS、水温計測 ・オニヒトデ駆除の実施 ・次世代の担い手育成のためのイベントの実施 ③徳島県によるサンゴの移植、移植サンゴのモニタリング調査、海陽町によるエダミドリイシの採卵・育成実験、NPOによるリーフチェック等が行われている。また、町内の小学校(3校)で環境学習を実施している。 年に1度協議会を開催し、調査・実験結果の報告等の情報共有が行われている。 定点観測によるサンゴ分布調査。	①サンゴ群集修復試験及びモニタリングを実施 ②モニタリングによる生育状況等の把握、オニヒトデ駆除、普及啓発 ③エダミドリイシの育成環境の確認、採卵・育成実験により作成した有性生殖種苗を小学生が移植		環境省(沖縄奄美NCO、計画課再生L)	①石西礁湖自然再生協議会委員 ②奄美観光振興会、土佐清水市、高知県ほか ③徳島県、海陽町、NPO、漁協、徳島県竹ヶ島自然再生協議会委員	①修復事業：R2-モニタリング：S55- ②R5 ③R5	①石西礁湖自然再生ホームページ <a href="http://www.sekiseisyouko.com/szn/">http://www.sekiseisyouko.com/szn/</a> ②土佐清水ジオパークホームページ <a href="https://tosashimizu-geo.jp/learn/#database">https://tosashimizu-geo.jp/learn/#database</a> ③竹ヶ島海域公園魅力化プロジェクト <a href="https://www.furusato-tax.jp/gcf/2776">https://www.furusato-tax.jp/gcf/2776</a>		
				R7	①継続的に石西礁湖のサンゴ群集モニタリングにおいて、栄養塩類の調査を実施している。また「石西礁湖自然再生全体構想行動計画2024-2028」の重点項目の一つとして陸域負荷の低減を掲げており、生活排水や家畜糞尿等によるサンゴ礁への影響を軽減するため、関係機関と連携しながら対策に取り組んでいる。 ②協議会への参画 ・サンゴの生息状況モニタリング、定点写真撮影、SPSS、水温計測 ・オニヒトデ駆除の実施 ・次世代の担い手育成のためのイベントの実施 ③徳島県によるサンゴの移植、移植サンゴのモニタリング調査、海陽町によるエダミドリイシの採卵・育成実験、NPOによるリーフチェック等が行われている。また、町内の小学校(3校)で環境学習を実施している。 年に1度協議会を開催し、調査・実験結果の報告等の情報共有が行われている。 定点観測によるサンゴ分布調査。	①サンゴ群集修復試験及びモニタリングを実施 ②モニタリングによる生育状況等の把握、オニヒトデ駆除、普及啓発 ③エダミドリイシの育成環境の確認、採卵・育成実験により作成した有性生殖種苗を小学生が移植	石西礁湖自然再生協議会の委員による黒島での牛糞の堆肥化の取組の進展、環境省が主催した石垣島堆肥シンポジウムなどの機会を設定して、家畜糞尿によるサンゴ礁への影響軽減に関する普及啓発や対策を進めることができた。	環境省(沖縄奄美NCO、計画課NP室)	①石西礁湖自然再生協議会委員 ②奄美観光振興会、土佐清水市、高知県ほか ③徳島県、海陽町、NPO、漁協、徳島県竹ヶ島海域公園自然再生協議会委員	①修復事業：R2-モニタリング：S55- ②R5 ③R5	①石西礁湖自然再生ホームページ <a href="http://www.sekiseisyouko.com/szn/">http://www.sekiseisyouko.com/szn/</a> ②土佐清水ジオパークホームページ <a href="https://tosashimizu-geo.jp/learn/#database">https://tosashimizu-geo.jp/learn/#database</a> ③竹ヶ島海域公園魅力化プロジェクト <a href="https://www.furusato-tax.jp/gcf/2776">https://www.furusato-tax.jp/gcf/2776</a>		
2.3	b) 第2次沖縄県赤土等流出防止対策基本計画 「沖縄県赤土等流出防止対策基本計画」を、専門家の意見を得て、関係機関等との調整等を踏まえながら2022年度内に改定し、同計画に基づき赤土等流出量の一層の削減に向けた総合的な取組を推進します。(沖縄県)	基本計画において県内の76海域及びその流域に環境保全目標及び流出削減目標を設定	2.3	R4	環境保全目標を達成するため、流出源毎に各種対策を実施 農地、開発事業、米軍基地等からの流出防止対策について取組む	目指すべき目標を共有し、目標達成に向け関係機関および県民が連携した継続的、発展的な赤土等流出対策を推進する。		沖縄県		R4~R13	環境保全課HP <a href="http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/hozen/mizu_tsuchi/redclay/index.html">http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/hozen/mizu_tsuchi/redclay/index.html</a>		
				R5	環境保全目標を達成するため、流出源毎(農地、開発事業、米軍基地等)からの赤土等流出防止対策を推進するため、第2次沖縄県赤土等流出防止対策基本計画に示す各種取組に取り組んだ。	目標達成に向け関係機関および県民が連携した継続的、発展的な赤土等流出対策を推進した。		沖縄県		R4~R13	環境保全課HP <a href="http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/hozen/mizu_tsuchi/redclay/index.html">http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/hozen/mizu_tsuchi/redclay/index.html</a>		
				R6	環境保全目標を達成するため、流出源毎(農地、開発事業、米軍基地等)からの赤土等流出防止対策を推進するため、第2次沖縄県赤土等流出防止対策基本計画に示す各種取組に取り組んだ。	目標達成に向け関係機関および県民が連携した継続的、発展的な赤土等流出対策を推進した。		沖縄県		R4~R13	環境保全課HP <a href="https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/1023458.html">https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/1023458.html</a>		
				R7	環境保全目標を達成するため、流出源毎(農地、開発事業、米軍基地等)からの赤土等流出防止対策を推進するため、第2次沖縄県赤土等流出防止対策基本計画に示す各種取組に取り組んだ。	目標達成に向け関係機関および県民が連携した継続的、発展的な赤土等流出対策を推進した。		沖縄県		R4~R13	環境保全課HP <a href="https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/1023458.html">https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/1023458.html</a>		

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源
2.4	c) 赤土等流出防止総合対策事業(予定) ・流出要因の特定、効果的な対策法の提示及び削減量の試算等を行うため、農地等の陸域の対策状況及び海域の赤土等堆積状況等をモニタリングにより経年的に把握する等、赤土等流出に関する情報を収集します。(沖縄県)	基本計画における重点監視地域において海域モニタリング調査を実施	2.4	R4	・赤土等の堆積状況調査(SPSS、濁度、塩分、T-N、T-P)／サンゴ類調査の実施(28海域、112地点)	赤土等流出防止対策の実施状況に伴う、赤土等の堆積状況及びそれに伴う生物の生息状況を把握する。		沖縄県		R4~R13	環境保全課HP ( <a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/hozen/mizu_tsuchi/redclay/index.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/hozen/mizu_tsuchi/redclay/index.html</a> )	沖縄振興特別推進交付金
				R5	・赤土等の堆積状況調査(SPSS、濁度、塩分、T-N、T-P)及びサンゴ類調査を実施した。(28海域、112地点)	赤土等の堆積状況及び生物の生息状況を把握できた。		沖縄県		R4~R13	—	沖縄振興特別推進交付金
				R6	・赤土等の堆積状況調査(SPSS、濁度、塩分、T-N、T-P)及びサンゴ類調査を実施した。(28海域、112地点)【1.7.6の再掲】	赤土等の堆積状況及び生物の生息状況を把握した。		沖縄県		R4~R13	環境保全課HP <a href="https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/1023458.html">https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/1023458.html</a>	沖縄振興特別推進交付金
				R7	・赤土等の堆積状況調査(SPSS、濁度、塩分、T-N、T-P)及びサンゴ類調査を実施した。(28海域、112地点)【1.7.6の再掲】	赤土等の堆積状況及び生物の生息状況を把握した。		沖縄県		R4~R13	環境保全課HP <a href="https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/1023458.html">https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/1023458.html</a>	沖縄振興特別推進交付金
2.5	c) 赤土等流出防止総合対策事業(予定) ・地域の環境保全のため、赤土等流出防止活動を行う団体に対して、活動費用を助成するとともに、赤土等流出防止対策の担い手を継続的に育成するため、地域住民を対象とした環境教育等の取組を実施します。(沖縄県)	赤土等流出防止に取組むNPO等団体の活動を支援。 赤土等流出防止対策の担い手育成に向け環境教育を実施。	2.5	R4	①赤土等流出防止対策に取組む団体の活動に対して補助金を交付して活動の支援を行う。 ②小学校を対象に、赤土等流出防止に関する出前講座を実施するとともに、地域住民を対象にした環境教育を実施する。	①NPO等団体の赤土等流出防止活動を支援することで地域における対策活動の活性化が期待される。 ②出前講座や環境教室の実施により、地域における対策活動の担い手の継続的な育成につながる。		沖縄県		R4~R13		沖縄振興特別推進交付金
				R5	①赤土等流出防止対策に取組む団体の活動に対して補助金を交付して活動を支援した。 ②小学校を対象に、赤土等流出防止に関する出前講座を実施するとともに、地域住民を対象にした環境教育を実施した。	①地域における対策活動の活性化が見られた。 ②地域における対策活動の担い手の育成を推進した。		沖縄県		R4~R8	—	沖縄振興特別推進交付金
				R6	①赤土等流出防止対策に取組む団体の活動に対して補助金を交付して活動を支援した。 ②小学校を対象に、赤土等流出防止に関する出前講座を実施するとともに、地域住民を対象にした環境教育を実施した。	①地域における対策活動の活性化が見られた。 ②地域における対策活動の担い手の育成を推進した。		沖縄県		R4~R8	—	沖縄振興特別推進交付金
				R7	①赤土等流出防止対策に取組む団体の活動に対して補助金を交付して活動を支援した。 ②小学校を対象に、赤土等流出防止に関する出前講座を実施するとともに、地域住民を対象にした環境教育を実施した。	①地域における対策活動の活性化が見られた。 ②地域における対策活動の担い手の育成を推進した。		沖縄県		R4~R8	環境保全課HP <a href="https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/1037782.html">https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/1037782.html</a>	沖縄振興特別推進交付金
2.6	d) 工事現場からの赤土等流出防止対策 ・「赤土等流出防止対策の進め方」(大島支庁赤土等流出防止対策方針及び実施要領)に沿って、工事現場における仮沈砂池(土壌)、汚濁防止フェンス、竹柵工等の事業者による赤土等流出防止対策を促進します。(鹿児島県)	工事現場における赤土等流出防止対策。	2.6	R4	工事現場における仮沈砂池(土壌)、汚濁防止フェンス、竹柵工等の事業者による赤土等流出防止対策を促進する。	工事現場から流入する赤土等を軽減する。		鹿児島県	施工業者			
				R5	工事現場における仮沈砂池(土壌)、汚濁防止フェンス、竹柵工等の事業者による赤土等流出防止対策を促進する。	工事現場から流入する赤土等を軽減する。		鹿児島県	施工業者			
				R6	工事現場における仮沈砂池(土壌)、汚濁防止フェンス、降雨時における工事中断等の事業者による赤土等流出防止対策を促進する。	工事現場から流入する赤土等を軽減する。		鹿児島県 大島支庁	施工業者			
				R7	工事現場における仮沈砂池(土壌)、汚濁防止フェンス、降雨時における工事中断等の事業者による赤土等流出防止対策を促進する。	工事現場から流入する赤土等を軽減する。 赤土流出を軽減することによる下流域の生態系への影響の軽減。		鹿児島県 大島支庁	施工業者			
2.7	d) 工事現場からの赤土等流出防止対策 ・沖縄県赤土等流出防止条例に基づく開発行為に対する届出等の確認及び事業現場等の監視パトロール・指導を行い、開発現場からの赤土等流出防止対策を推進する。また、開発事業者等への赤土等流出対策の普及啓発を実施する。(沖縄県)	開発行為に対する届出等の確認及び事業現場等の監視パトロール・指導の実施。 赤土等流出防止条例に基づく、開発事業における赤土等流出防止対策の徹底	2.7	R4	沖縄県赤土等流出防止条例に基づく開発行為に対する届出等の確認及び事業現場等の監視パトロール・指導を行い、開発現場からの赤土等流出防止対策を推進する。また、開発事業者等への赤土等流出対策の普及啓発を実施する。	開発現場からの赤土等流出防止対策の促進が図られる。		沖縄県		H7~		県費
				R5	沖縄県赤土等流出防止条例に基づく開発行為に対する届出等の確認及び事業現場等の監視パトロール・指導を行い、開発現場からの赤土等流出防止対策を推進する。また、開発事業者等への赤土等流出対策の普及啓発を実施した。	開発現場における赤土等流出防止対策を推進した。		沖縄県		H7~		県単
				R6	沖縄県赤土等流出防止条例に基づく開発行為に対する届出等の確認及び事業現場等の監視パトロール・指導を行い、開発現場からの赤土等流出防止対策を推進する。また、開発事業者等への赤土等流出対策の普及啓発を実施した。	開発現場における赤土等流出防止対策を推進した。		沖縄県		H7~		県費
				R7	沖縄県赤土等流出防止条例に基づく開発行為に対する届出等の確認及び事業現場等の監視パトロール・指導を行い、開発現場からの赤土等流出防止対策を推進する。また、開発事業者等への赤土等流出対策の普及啓発を実施した。	開発現場における赤土等流出防止対策を推進した。		沖縄県	各保健所	H7~	環境白書HP <a href="https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004621/1004622/index.html">https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004621/1004622/index.html</a>	県費
<b>農地からの流出対策</b>												
2.8	e) 水質保全対策事業 水質保全対策事業。 水資源の総合的な保全に資することを目的とし、農業用排水施設から公共用水域へ排出される排水の水質浄化を図り、農村地域の環境保全及び農業利水に適切に対処するとともに、農地(休耕地)や水生生物が有する自然浄化機能の活用、接触酸化水路、曝気施設等の水質浄化施設の整備を実施します。(農林水産省)	水質保全整備事業	2.8	R4	海域の環境保全のために、農業用排水施設内の水質浄化を図る必要がある際には、自然浄化機能の活用、接触酸化水路、曝気施設等の浄化水路等の整備を図る ※2022(R4)年度は実施地区なし(精査中)	—		農林水産省	県・地方公共団体が事業の実施主体		実施地区なし	
				R5	海域の環境保全のために、農業用排水施設内の水質浄化を図る必要がある際には、自然浄化機能の活用、接触酸化水路、曝気施設等の浄化水路等の整備を図る ※2023(R5)年度は実施地区なし	—		農林水産省	県・地方公共団体が事業の実施主体		実施地区なし	
				R6	海域の環境保全のために、農業用排水施設内の水質浄化を図る必要がある際には、自然浄化機能の活用、接触酸化水路、曝気施設等の浄化水路等の整備を図る ※2024(R6)年度は実施地区なし	—		農林水産省	県・地方公共団体が事業の実施主体		実施地区なし	
				R7	海域の環境保全のために、農業用排水施設内の水質浄化を図る必要がある際には、自然浄化機能の活用、接触酸化水路、曝気施設等の浄化水路等の整備を図る ※2025(R7)年度は実施地区なし	—		農林水産省	県・地方公共団体が事業の実施主体		実施地区なし	

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源			
2.9	e) 水質保全対策事業 耕土流出防止施設整備 ・侵食を受けやすい土壌が広範囲に分布している沖 縄県及び奄美群島において、農用地及びその周辺 の土壌の流出を防止し、農村地域の環境保全に資 することを目的として、承水路や沈砂池等の整備、 勾配抑制、法面保護、土層改良、暗渠排水、既存 施設の軽微な変更等を実施します。(農林水産省、 鹿児島県、沖縄県)	【農林水産省】 耕土流出防止施設の整備	2.9.1	R4	農用地及びその周辺の土壌の流出を防止するため、農地等の発生源対策として承水路、沈砂池等の整備や、勾配抑制、グリーンベルト等の植生保護を実施。 ※2022(R4)年度は沖縄県で10地区、鹿児島県で1地区で実施(精査中)	2021(R4)年度に沖縄県で1地区、鹿児島県で1地区の整備が完了予定(精査中)		農林水産省	県・地方公共団体が事業の実施主体	1993(H5)年度～現在 (2022(R4)年度)					
				R5	農用地及びその周辺の土壌の流出を防止するため、農地等の発生源対策として承水路、沈砂池等の整備や、勾配抑制、グリーンベルト等の植生保護を実施。 ※2023(R5)年度は沖縄県で8地区、鹿児島県で1地区で実施	2023(R5)年度に鹿児島県で1地区の整備が完了予定		農林水産省	県・地方公共団体が事業の実施主体	1993(H5)年度～現在 (2023(R5)年度)					
				R6	農用地及びその周辺の土壌の流出を防止するため、農地等の発生源対策として承水路、沈砂池等の整備や、勾配抑制、グリーンベルト等の植生保護を実施。 ※2024(R6)年度は沖縄県で8地区で実施	※2024(R6)年度に沖縄県で1地区が完了		農林水産省	県・地方公共団体が事業の実施主体	1993(H5)年度～現在 (2024(R6)年度)					
				R7	農用地及びその周辺の土壌の流出を防止するため、農地等の発生源対策として承水路、沈砂池等の整備や、勾配抑制、グリーンベルト等の植生保護を実施。 ※2025(R7)年度は沖縄県で9地区で実施	※2025(R7)年度においては完了地区は無し		農林水産省	県・地方公共団体が事業の実施主体	1993(H5)年度～現在 (2025(R7)年度)					
	f) 赤土等流出防止対策方針により、計画、設計、施工及び管理の各段階において対策を講じるとともに、県や市町村が行う公共事業施工時に赤土等流出防止対策の指導・監督を実施	【鹿児島県】 公共工事施工における赤土等流出防止対策の指導・監督	2.9.2	R4	「赤土等流出防止対策方針」により、計画、設計、施工及び管理の各段階において対策を講じるとともに、県や市町村が行う公共事業施工時に赤土等流出防止対策の指導・監督を実施	管内一円の公共工事に対応し耕土流出防止が図られた。		鹿児島県	なし	H12～現在	なし	国庫補助事業			
				R5	「赤土等流出防止対策方針」により、計画、設計、施工及び管理の各段階において対策を講じるとともに、県や市町村が行う公共事業施工時に赤土等流出防止対策の指導・監督を実施	管内一円の公共工事に対応し耕土流出防止が図られた。		鹿児島県	なし	H12～現在	なし	国庫補助事業			
				R6	令和5年度で、該当事業は完了。			鹿児島県 大島支庁							
				R7	令和5年度で、該当事業は完了。	水質保全対策事業で実施した沈砂池等の整備により引き続き耕土流出防止が図られている。		鹿児島県 大島支庁							
	g) 離島を含む沖縄県全域9地区において流出防止対策及び発生源対策を行う。	【沖縄県】 水質保全対策事業(耕土流出防止型)の実施	2.9.3	R4	離島を含む沖縄県全域9地区において流出防止対策及び発生源対策を行う。	9地区		沖縄県・市町村			H22年度～R10年度		沖縄振興公共投資交付金(ハード交付金)		
				R5	離島を含む沖縄県全域8地区において流出防止対策及び発生源対策を行う。	8地区		沖縄県・市町村				H22年度～R10年度		沖縄振興公共投資交付金(ハード交付金)	
				R6	離島を含む沖縄県全域8地区において流出防止対策及び発生源対策を行う。	8地区		沖縄県・市町村					H22年度～R10年度		沖縄振興公共投資交付金(ハード交付金)
				R7	離島を含む沖縄県全域9地区において流出防止対策及び発生源対策を行う。	9地区		沖縄県・市町村					H22年度～R12年度		沖縄振興公共投資交付金(ハード交付金)
2.10	h) 多面的機能支払交付金(うち資源向上支払) ・地域住民を含む組織が取り組む水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成等農村環境の良好な保全を始めとする地域資源の質的向上を図る共同活動、施設の長寿命化のための活動を支援します。このうち耕土流出防止の取組等を支援します。(農林水産省、沖縄県)	【農林水産省】 多面的機能支払交付金(資源向上支払)の運営	2.10.1	R4	R3年度:鹿児島県の5町15組織及び沖縄県の13市町村21組織において実施 今後とも、本交付金を活用した耕土流出防止対策の取組の推進等により、沿岸海域の良好な環境の保全に資することとする。	<a href="https://www.maff.go.jp/i/nousin/kanri/r3iissi_ioukyou.html">https://www.maff.go.jp/i/nousin/kanri/r3iissi_ioukyou.html</a>		農林水産省	交付先	R3	<a href="http://www.maff.go.jp/i/nousin/kanri/amen_siharai.html">http://www.maff.go.jp/i/nousin/kanri/amen_siharai.html</a>				
				R5	R4年度:鹿児島県の5町15組織及び沖縄県の13市町村19組織において実施 今後とも、本交付金を活用した耕土流出防止対策の取組の推進等により、沿岸海域の良好な環境の保全に資することとする。	<a href="https://www.maff.go.jp/i/nousin/kanri/r4iissi_ioukyou.html">https://www.maff.go.jp/i/nousin/kanri/r4iissi_ioukyou.html</a>		農林水産省	交付先	R4	<a href="http://www.maff.go.jp/i/nousin/kanri/amen_siharai.html">http://www.maff.go.jp/i/nousin/kanri/amen_siharai.html</a>				
				R6	R5年度:鹿児島県の5町12組織及び沖縄県の13市町村21組織において実施 今後とも、本交付金を活用した耕土流出防止対策の取組の推進等により、沿岸海域の良好な環境の保全に資することとする。	<a href="https://www.maff.go.jp/i/nousin/kanri/r5iissi_ioukyou.html">https://www.maff.go.jp/i/nousin/kanri/r5iissi_ioukyou.html</a>		農林水産省	交付先	R5	<a href="http://www.maff.go.jp/i/nousin/kanri/amen_siharai.html">http://www.maff.go.jp/i/nousin/kanri/amen_siharai.html</a>				
				R7	R6年度:鹿児島県の4町13組織及び沖縄県の12市町村21組織において実施 今後とも、本交付金を活用した耕土流出防止対策の取組の推進等により、沿岸海域の良好な環境の保全に資することとする。	<a href="https://www.maff.go.jp/i/nousin/kanri/r6iissi_ioukyou.html">https://www.maff.go.jp/i/nousin/kanri/r6iissi_ioukyou.html</a>		農林水産省	交付先	R6	<a href="http://www.maff.go.jp/i/nousin/kanri/amen_siharai.html">http://www.maff.go.jp/i/nousin/kanri/amen_siharai.html</a>				
	i) 畑からの土砂流出対策 ・排水路沿いの林地帯等の適正管理 ・沈砂池、浸透池の適正管理 ・土砂流出防止のためのグリーンベルト等の適正管理 ③その他水質保全対策に関する内容 ※水質保全対策に関する内容のみ記載	【沖縄県】 地域共同で行う、多面的機能を支える活動や、地域資源(農地、水路、農道等)の質的向上を図る活動を支援	2.10.2	R4	①畑からの土砂流出対策 ②畑からの土砂流出対策 ・排水路沿いの林地帯等の適正管理 ・沈砂池、浸透池の適正管理 ・土砂流出防止のためのグリーンベルト等の適正管理 ③その他水質保全対策に関する内容 ※水質保全対策に関する内容のみ記載	農道・排水路の補修や泥上げ、グリーンベルトの設置等を行った。 【事業実施実績】 R4年度:26市町村50組織		活動組織			R1～R5	農林水産省HPにて公開 <a href="http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/amen_siharai.html">http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/amen_siharai.html</a>	諸土地改良事業費補助		
				R5	①畑からの土砂流出対策 ・排水路沿いの林地帯等の適正管理 ・沈砂池、浸透池の適正管理 ・土砂流出防止のためのグリーンベルト等の適正管理 ②その他水質保全対策に関する内容	農道・排水路の補修や泥上げ、グリーンベルトの設置等を行った。 【事業実施実績】 R5年度:26市町村50組織		活動組織			R1～R5		諸土地改良事業費補助		
				R6	①畑からの土砂流出対策 ・排水路沿いの林地帯等の適正管理 ・沈砂池、浸透池の適正管理 ・土砂流出防止のためのグリーンベルト等の適正管理 ②その他水質保全対策に関する内容	農道・排水路の補修や泥上げ、グリーンベルトの設置等を行った。 【事業実施実績】 R6年度:27市町村50組織		活動組織			R1～R6		諸土地改良事業費補助		
				R7	①畑からの土砂流出対策 ・排水路沿いの林地帯等の適正管理 ・沈砂池、浸透池の適正管理 ・土砂流出防止のためのグリーンベルト等の適正管理 ②その他水質保全対策に関する内容	農道・排水路の補修や泥上げ、グリーンベルトの設置等を行った。 【事業実施実績】 R7年度:27市町村50組織		活動組織			R7～R11		諸土地改良事業費補助		

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源	
2.11	e) 赤土等流出防止営農対策促進事業(予定) ・地域における自主的かつ継続的な赤土等流出防 止対策の推進を目的とし、赤土等流出防止対策を 普及・啓発する農業環境コーディネーターの育成や 支援、対策に伴う資金や労働力を確保するための 手法の確立に関する取組、赤土等流出防止対策に 係る試験研究を実施します。(沖縄県)	市町村協議会の農業環境コーディネーターに よる農地の営農的赤土等流出防止対策の活 動支援等。	2.11	R4	①市町村協議会の農業環境コーディネーターの活動支援 ②赤土等流出防止活動資金の確保に係る制度設計 ③赤土等流出防止営農対策に係る試験研究	沖縄県赤土等流出防止対策基本計 画で示された重点監視海域および監視 海域を有し、赤土等流出防止対策地 域協議会を有する市町村11カ所に支 援		沖縄県		R4~R13		沖縄振興特別推進交 付金	
				R5	①市町村協議会の農業環境コーディネーターの活動支援 ②赤土等流出防止活動資金の確保に係る制度設計 ③赤土等流出防止営農対策に係る試験研究	沖縄県赤土等流出防止対策基本計 画で示された重点監視海域および監視 海域を有し、赤土等流出防止対策地 域協議会を有する市町村11カ所に支 援		沖縄県		R4~R13		沖縄振興特別推進交 付金	
				R6	①市町村協議会の農業環境コーディネーターの活動支援 ②赤土等流出防止活動資金の確保に係る制度の実証・普及 ③赤土等流出防止営農対策に係る試験研究	沖縄県赤土等流出防止対策基本計 画で示された重点監視海域および監視 海域を有し、赤土等流出防止対策地 域協議会を有する市町村12カ所に支 援		沖縄県		R4~R13		沖縄振興特別推進交 付金	
				R7	①市町村協議会の農業環境コーディネーターの活動支援 ②赤土等流出防止活動資金の確保に係る制度の実証・普及 ③赤土等流出防止営農対策に係る試験研究	沖縄県赤土等流出防止対策基本計 画で示された重点監視海域および監視 海域を有し、赤土等流出防止対策地 域協議会を有する市町村12カ所に支 援		沖縄県営農支援 課		R4~R13		沖縄振興特別推進交 付金	
その他													
2.12	h) 童車自然再生事業 ・流域河川の土砂浚渫や、手入れた山で学ぶ ワークショップの開催を行います。(高知県)	童車の自然再生につながる活動:森林整備・ 間伐、土砂浚渫、流出量把握	2.12	R4	①童車地域上流域で災害に強い森づくりを進めるため、林野庁四万十森林管理署、高知県森 づくり推進課、土佐清水市農林水産課それぞれで活動を行う ②河川からの土砂流出防止のための土砂の浚渫工事の実施			①林野庁四万十 森林管理署、高 知県森づくり推 進課、土佐清水 市農林水産課 ②高知県幡多土 木事務所	左記連携主体	平成14年度~	童車自然再生プロジェクトHP	各実施主体の事業予 算	
				R5	(回答なし) ※自然再生事業については取組2.2(環境省報告)を参照								
				R6	主要なサンゴ群集近傍の懸濁物質の調査(SPSS)を年3回実施。	水質汚濁状況の把握		環境省	請負:公益財団法人黒潮生 物研究所		童車自然再生プロジェクトHP	環境省マリンワーカー 事業	
				R7	主要なサンゴ群集近傍の懸濁物質の調査(SPSS)を年3回実施。	水質汚濁状況の把握		環境省	請負:公益財団法人黒潮生 物研究所		童車自然再生プロジェクトHP	環境省マリンワーカー 事業	
2.13	i) 小笠原国立公園鴛島列島 ・小笠原諸島振興開発事業補助金を活用し、ノヤギ の食害により裸地化した箇所から海域に流出する 赤土を抑えるため、ノヤギを完全排除した鴛島で土 壌侵食防止対策を実施します。(東京都)	小笠原国立公園鴛島列島・父島列島植生回 復事業	2.13	R4	<鴛島>赤土の流出防止のために、谷部への堰設置や植生回復(播種試験や表面被覆工 など)を実施中 <父島>植生を破壊するノヤギの根絶に向けた駆除作業を実施中	従前に比べ、鴛島袋港への赤土流出 は減少しつつある		東京都小笠原支 庁	—	<鴛島>平成9年度~ <父島>平成23年度~	<a href="http://ogasawara-info.jp/pdf/isan/kanrikeikaku_nihongo1803.pdf">http://ogasawara-info.jp/pdf/isan/kanrikeikaku_nihongo1803.pdf</a>	小笠原諸島振興開発 事業補助金	
				R5	<鴛島>赤土の流出防止のために、植生回復(播種試験や表面被覆工など)を実施中 <父島>植生を破壊するノヤギの根絶に向けた駆除作業を実施中	従前に比べ、鴛島袋港への赤土流出 は減少しつつある		東京都小笠原支 庁	—	<鴛島>平成9年度~ <父島>平成23年度~	<a href="http://ogasawara-info.jp/pdf/isan/kanrikeikaku_nihongo1803.pdf">http://ogasawara-info.jp/pdf/isan/kanrikeikaku_nihongo1803.pdf</a>	小笠原諸島振興開発 事業補助金	
				R6	<鴛島>赤土の流出防止のために、植生回復(播種試験や表面被覆工など)を実施中 <父島>植生を破壊するノヤギの根絶に向けた駆除作業を実施中	従前に比べ、鴛島袋港への赤土流出 は減少しつつある		東京都小笠原支 庁	—	<鴛島>平成9年度~ <父島>平成23年度~	<a href="http://ogasawara-info.jp/pdf/isan/kanrikeikaku_nihongo1803.pdf">http://ogasawara-info.jp/pdf/isan/kanrikeikaku_nihongo1803.pdf</a>	小笠原諸島振興開発 事業補助金	
				R7	<鴛島>赤土の流出防止のために、植生回復(播種試験や表面被覆工など)を実施中 <父島>植生を破壊するノヤギの根絶に向けた駆除作業を実施中	従前に比べ、鴛島袋港への赤土流出 は減少しつつある	赤土の泥だらけの海岸が昔に戻りつ つあり、アオウミガメの上陸も見られる ようになった。また、鴛島袋港の透明 度が少しずつ上がってきている。	東京都小笠原支 庁	—	<鴛島>平成9年度~ <父島>平成23年度~	<a href="http://ogasawara-info.jp/pdf/isan/kanrikeikaku_nihongo1803.pdf">http://ogasawara-info.jp/pdf/isan/kanrikeikaku_nihongo1803.pdf</a>	小笠原諸島振興開発 事業補助金	

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源		
○栄養塩類・化学物質流出防止に向けた取組														
事業排水規制による対策														
2.14	a) 水質環境保全の啓発推進 ・環境基準の達成が困難な都市部や住宅密集地に隣接した水域について、必要に応じて生活排水対策重点地域を指定し、対象水域の流域市町村に生活排水対策の実践を促すことで公共用水域の保全を図ります。(沖縄県、鹿児島県、和歌山県)	【沖縄県】 生活排水による汚濁が著しい河川等の水質環境保全の啓発	2.14.1	R4	市町村の生活排水対策に資するため、ホームページに生活排水対策や生活排水対策重点地域に係るパンフレットを掲載するなどし、水質環境保全の啓発を行う。			各市町村		毎年度	環境保全課ホームページ https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/hozen/mizu_tsuchi/water/life_drainage.html	県費		
				R5	市町村の生活排水対策に資するため、ホームページに生活排水対策や生活排水対策重点地域に係るパンフレットを掲載するなどし、水質環境保全の啓発を行った。	公共用水域の水質環境保全が図られた。	各市町村	毎年度	環境保全課ホームページ https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/hozen/mizu_tsuchi/water/life_drainage.html	県費				
				R6	市町村の生活排水対策に資するため、ホームページに生活排水対策や生活排水対策重点地域に係るパンフレットを掲載するなどし、水質環境保全の啓発を行った。	公共用水域の水質環境保全が図られた。	各市町村	毎年度	環境保全課ホームページ https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004750/1004435/1004755/index.html	県費				
				R7	市町村の生活排水対策に資するため、ホームページに生活排水対策や生活排水対策重点地域に係るパンフレットを掲載するなどし、水質環境保全の啓発を行った。	公共用水域の水質環境保全が図られた。	各市町村	毎年度	環境保全課ホームページ https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004750/1004435/1004755/index.html	県費				
		【鹿児島県】 鹿児島湾奥生活排水対策協議会における普及啓発活動	2.14.2	R4	(回答なし)									
				R5	県と重点地域の市町、住民団体、事業者団体で構成する「鹿児島湾奥生活排水対策協議会」により、講演会、研修会、住民への啓発イベント等を開催。	重点地域住民の意識高揚が図られた。	鹿児島湾奥生活排水対策協議会	なし	平成8年～	なし				
				R6	県と重点地域の市、住民団体、事業者団体で構成する「鹿児島湾奥生活排水対策協議会」により、講演会、研修会、住民への啓発イベント等を開催。	重点地域住民の意識高揚が図られた。	鹿児島湾奥生活排水対策協議会	なし	平成8年～	なし				
				R7	県と重点地域の市、住民団体、事業者団体で構成する「鹿児島湾奥地域生活排水対策協議会」により、講演会、研修会、住民への啓発イベント等を開催。	重点地域住民の意識高揚が図られた。	鹿児島湾奥地域生活排水対策協議会	なし	平成8年～	なし				
	【和歌山県】 ・生活排水対策として啓発の実施 ・生活排水対策重点地域の指定	2.14.3	R4	・県民一人一人が生活排水対策の重要性を自覚し日常生活の中で汚濁負荷の軽減を図っていくことが大切であることから、機会あることに水環境保全意識の啓発を図る。例：水道週間(毎年6月第1週)に、県民の理解と関心を高めることを目的に、県と市町村水道事業者が連携して広報活動を重点的に実施。 ・環境基準の達成が困難な都市部や住宅密集地に隣接した水域について、必要に応じて県が生活排水対策重点地域を指定し、当該市町村が「生活排水対策推進計画」を策定し、河川の水質改善及び水環境の保全を行う。	・30水域中28水域が環境基準を達成(達成率93.3%) ・生活排水対策重点地域の指定(和歌山市、田辺市)と水質改善の取り組み推進		和歌山県 各市町村							
			R5	・県民一人一人が生活排水対策の重要性を自覚し日常生活の中で汚濁負荷の軽減を図っていくことが大切であることから、機会あることに水環境保全意識の啓発を図る。例：水道週間(毎年6月第1週)に、県民の理解と関心を高めることを目的に、県と市町村水道事業者が連携して広報活動を重点的に実施。 ・環境基準の達成が困難な都市部や住宅密集地に隣接した水域について、必要に応じて県が生活排水対策重点地域を指定し、当該市町村が「生活排水対策推進計画」を策定し、河川の水質改善及び水環境の保全を行う。	・30水域中29水域が環境基準を達成(達成率96.7%) ・生活排水対策重点地域の指定(和歌山市、田辺市)と水質改善の取り組み推進		和歌山県 各市町村							
			R6	・県民一人一人が生活排水対策の重要性を自覚し日常生活の中で汚濁負荷の軽減を図っていくことが大切であることから、機会あることに水環境保全意識の啓発を図る。例：水道週間(毎年6月第1週)に、県民の理解と関心を高めることを目的に、県と市町村水道事業者が連携して広報活動を重点的に実施。 ・環境基準の達成が困難な都市部や住宅密集地に隣接した水域について、必要に応じて県が生活排水対策重点地域を指定し、当該市町村が「生活排水対策推進計画」を策定し、河川の水質改善及び水環境の保全を行う。	・30水域中29水域が環境基準を達成(達成率96.7%) ・生活排水対策重点地域の指定(和歌山市、田辺市)と水質改善の取り組み推進		和歌山県 各市町村							
			R7	・県民一人一人が生活排水対策の重要性を自覚し日常生活の中で汚濁負荷の軽減を図っていくことが大切であることから、機会あることに水環境保全意識の啓発を図る。例：水道週間(毎年6月第1週)に、県民の理解と関心を高めることを目的に、県と市町村水道事業者が連携して広報活動を重点的に実施。 ・環境基準の達成が困難な都市部や住宅密集地に隣接した水域について、必要に応じて県が生活排水対策重点地域を指定し、当該市町村が「生活排水対策推進計画」を策定し、河川の水質改善及び水環境の保全を行う。	・30水域中29水域が環境基準を達成(達成率96.7%) ・生活排水対策重点地域の指定(和歌山市、田辺市)と水質改善の取り組み推進		和歌山県 各市町村							

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源	
2.15	b)水質関係事業所等監視指導 ・水質汚濁防止法に基づく特定事業場への立入を 行い、事業場から公共用水域へ排出される排水が 基準に適合するよう指導を行い、公共用水域にお いて環境基準を達成できるよう努めます。(沖縄 県、鹿児島県、長崎県、和歌山県)	【沖縄県】 特定事業場の排水に係る立入検査	2.15.1	R4	水質汚濁防止法第22条の規定により、各保健所職員が特定事業場に立ち入り、水質の検査 を行い、必要に応じて排水が排水基準に適合するよう指導を行う。			沖縄県及び 那覇市(水濁法 政令市)		毎年度	沖縄県環境部環境政策課発行の『環境 白書』に排水基準監視及び行政措置の 状況について公表している。	県費	
				R5	水質汚濁防止法第22条の規定により、各保健所職員が特定事業場に立ち入り、水質の検査 を行い、必要に応じて排水が排水基準に適合するよう指導を行った。	公共用水域における環境基準の達成 につながった。	沖縄県及び 那覇市(水濁法 政令市)		毎年度	沖縄県環境部環境政策課発行の『環境 白書』に排水基準監視及び行政措置の 状況について公表している。	県費		
				R6	水質汚濁防止法第22条の規定により、各保健所職員が特定事業場に立ち入り、水質の検査 を行い、必要に応じて排水が排水基準に適合するよう指導を行った。	公共用水域における環境基準の達成 につながった。	沖縄県及び 那覇市(水濁法 政令市)		毎年度	沖縄県環境部環境政策課発行の『環境 白書』に排水基準監視及び行政措置の 状況について公表している。	県費		
				R7	水質汚濁防止法第22条の規定により、各保健所職員が特定事業場に立ち入り、水質の検査 を行い、必要に応じて排水が排水基準に適合するよう指導を行った。	公共用水域における環境基準の達成 につながった。	沖縄県及び 那覇市(水濁法 政令市)		毎年度	沖縄県環境部環境政策課発行の『環境 白書』に排水基準監視及び行政措置の 状況について公表している。	県費		
		【鹿児島県】 公共用水域の水質の汚濁防止を図り、住民 の健康を保護し生活環境を保全する。	2.15.2	R4	公共用水域の水質汚濁防止を図るため、工場、事業場に立入検査し、排水水の監視を行い、 必要に応じて水質の改善を指導する。	排水汚濁負荷低減による公共用水域 の水質状況改善が期待できる。 行政措置23件(R元),31件(R2), 20件 (R3)		鹿児島県	なし	S46年~	なし		
				R5	公共用水域の水質汚濁防止を図るため、工場、事業場に立入検査し、排水水の監視を行い、 必要に応じて水質の改善を指導する。	排水汚濁負荷低減による公共用水域 の水質状況改善が期待できる。 行政措置31件(R2), 20件(R3), 16件 (R4)		鹿児島県	なし	S46年~	なし		
				R6	公共用水域の水質汚濁防止を図るため、工場、事業場に立入検査し、排水水の監視を行い、 必要に応じて水質の改善を指導する。	排水汚濁負荷低減による公共用水域 の水質状況改善が期待できる。 行政措置20件(R3), 16件(R4)、20件 (R5)		鹿児島県環境保 全課	なし	S46年~	なし		
				R7	公共用水域の水質汚濁防止を図るため、工場、事業場に立入検査し、排水水の監視を行い、 必要に応じて水質の改善を指導する。	排水汚濁負荷低減による公共用水域 の水質状況改善が期待できる。 行政措置16件(R4), 20件(R5)、20件 (R6)	なし	鹿児島県環境保 全課	なし	S46年~	なし		
		【長崎県】 法に基づく特定施設、条例に基づく指定施設 に対し立入検査を実施し、届出内容の確認 及び維持管理状況等の確認を行っている。 排水基準適用の工場・事業場に対しては水 質検査を実施している。	2.15.3	R4	水質汚濁防止法や未来環境条例に基づき、立入検査を行い、法・条例に違反し又は違反する 恐れのある場合は速やかな改善を指導し水環境の保全を図っている。			長崎県					
				R5	水質汚濁防止法や未来環境条例に基づき、立入検査を行い、法・条例に違反し又は違反する 恐れのある場合は速やかな改善を指導し水環境の保全を図っている。			長崎県					
				R6	水質汚濁防止法や未来環境条例に基づき、立入検査を行い、法・条例に違反し又は違反する 恐れのある場合は速やかな改善を指導し水環境の保全を図っている。	水質汚濁防止法及び長崎県未来環境 条例に係る工場・事業場への立入検 査について、令和5年度は立入検査を 1,067件(長崎市、佐世保市を除く)実 施し、うち293件で排水基準の遵守状 況を確認したところ5件の違反があり、 改善指導を実施済		長崎県				令和6年度版長崎県環境白書で公開予 定(2025.2.4時点では未公開)	一般財源
				R7	水質汚濁防止法や未来環境条例に基づき、立入検査を行い、法・条例に違反し又は違反する 恐れのある場合は速やかな改善を指導し水環境の保全を図っている。	水質汚濁防止法及び長崎県未来環境 条例に係る工場・事業場への立入検 査について、令和6年度は立入検査を 880件(長崎市、佐世保市を除く)実 施し、うち257件で排水基準の遵守状 況を確認したところ6件の違反があり、 改善指導を実施済	依然として違反が確認されていること から、継続した立入及び指導が必要で ある。	長崎県			令和7年版長崎県環境白書で公開予定 (2026.2.13時点では未公開)	一般財源	
		【和歌山県】 水質関係事業所等の監視指導	2.15.4	R4	「水質汚濁防止法」、「瀬戸内海環境保全特別措置法」及び「和歌山県公害防止条例」が適用 される工場・事業場に立入調査を行い、排水基準等の適合状況の監視を行うとともに、特定施 設や排水処理施設の維持管理の徹底を指導。 (特定施設の設置事業場2,980事業場、有害物質貯蔵指定施設の設置事業場18事業場)	令和3年度は86工場・事業場に立ち入 り、延べ1,114項目を検査。結果3工 場・事業場が排水基準に不適合で あったため、改善を指導し、基準適合 となったことを確認。		和歌山県					
				R5	「水質汚濁防止法」、「瀬戸内海環境保全特別措置法」及び「和歌山県公害防止条例」が適用 される工場・事業場に立入調査を行い、排水基準等の適合状況の監視を行うとともに、特定施 設や排水処理施設の維持管理の徹底を指導。 (特定施設の設置事業場2,942事業場、有害物質貯蔵指定施設の設置事業場18事業場)	令和4年度は82工場・事業場に立ち入 り、延べ943項目を検査。結果1工場 ・事業場が排水基準に不適合であつた ため、改善を指導し、基準適合となつ たことを確認。		和歌山県					
				R6	「水質汚濁防止法」、「瀬戸内海環境保全特別措置法」及び「和歌山県公害防止条例」が適用 される工場・事業場に立入調査を行い、排水基準等の適合状況の監視を行うとともに、特定施 設や排水処理施設の維持管理の徹底を指導。 (特定施設の設置事業場3,227事業場、有害物質貯蔵指定施設の設置事業場19事業場)	令和5年度は90工場・事業場に立ち入 り、延べ1,036項目を検査。その結果、 排水基準に不適合であつた工場・事業 所は確認されず。		和歌山県					
				R7	「水質汚濁防止法」、「瀬戸内海環境保全特別措置法」及び「和歌山県公害防止条例」が適用 される工場・事業場に立入調査を行い、排水基準等の適合状況の監視を行うとともに、特定施 設や排水処理施設の維持管理の徹底を指導。 (特定施設の設置事業場3,054事業場、有害物質貯蔵指定施設の設置事業場18事業場)	令和6年度は61工場・事業場に立ち入 り、延べ617項目を検査。その結果、排 出基準に不適合であつた工場・事業場 は確認されず。		和歌山県					

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源
2.16	c) 水質汚濁防止法に基づく排水規制 窒素及びリンの排水規制: 閉鎖性が高く富栄養化の恐れのある海域として、 おもなサンゴ礁域である琉球諸島の金武湾や奄美 群島の焼内湾等の海域を含む全国で88か所の閉 鎖性海域※46を対象に、全窒素、全リンの排水規 制を実施しています。(環境省)	水質汚濁防止法の運用	2.16	R4	閉鎖性が高く富栄養化の恐れのある海域として、おもなサンゴ礁域である琉球諸島の金武湾や奄美群島の焼内湾等の海域を含む全国で88か所の閉鎖性海域を対象に、全窒素、全リンの排水規制を水質汚濁防止法に基づき実施した。	海域中の窒素、リンの量が削減された。		環境省(閉海室)				
				R5	閉鎖性が高く富栄養化の恐れのある海域として、おもなサンゴ礁域である琉球諸島の金武湾や奄美群島の焼内湾等の海域を含む全国で88か所の閉鎖性海域を対象に、全窒素、全リンの排水規制を水質汚濁防止法に基づき実施した。	海域中の窒素、リンの量が削減された。		環境省(海域室)		R5年度~R6年度		
				R6	閉鎖性が高く富栄養化の恐れのある海域として、おもなサンゴ礁域である琉球諸島の金武湾や奄美群島の焼内湾等の海域を含む全国で88か所の閉鎖性海域を対象に、全窒素、全リンの排水規制を水質汚濁防止法に基づき実施した。	海域中の窒素、リンの量が削減された。		環境省(海域室)				
				R7	閉鎖性が高く富栄養化の恐れのある海域として、おもなサンゴ礁域である琉球諸島の金武湾や奄美群島の焼内湾等の海域を含む全国で88か所の閉鎖性海域を対象に、全窒素、全リンの排水規制を水質汚濁防止法に基づき実施した。	海域中の窒素、リンの量が削減された。		環境省(海域室)				
	c) 水質汚濁防止法に基づく排水規制 閉鎖性海域における暫定排水基準の見直しの検 討: ・全国の閉鎖性海域において、直ちに一般排水基 準を達成することが困難であった畜産農業等の特 定の業種を対象に、5年期限の暫定排水基準が設 定されています。2021年現在、窒素について5業 種、リンについて1業種の事業場に対する暫定排水 基準が設定されています。今後、2023年に期限を 迎える暫定排水基準の見直しの検討を行います。 (環境省)	窒素・リン暫定排水基準適用事業場調査等 の実施	2.17	R4	窒素・リンの暫定排水基準が適用されている事業場の実態調査を実施。 実態調査の結果を踏まえ、各業種の一般排水基準達成に向けた取組等について技術的助言 を得るとともに、基準値の見直しに向けた具体的な検討を行うことを目的として「海域の窒素・リン 暫定排水基準に係る技術検討会」を設置し、3回にわたり検討を実施。	新たな暫定基準値案の作成		環境省(閉海室)		R4年度~R5年度		
				R5	特定の業種を対象とした暫定排水基準を改正し、2023年10月1日に施行した。	改正暫定排水基準の施行		環境省(海域室)				
				R6	—	—		—				
				R7	窒素・リンの暫定排水基準が適用されている事業場の実態調査を実施。 実態調査の結果を踏まえ、各業種の一般排水基準達成に向けた取組等について技術的助言 を得るとともに、基準値の見直しに向けた具体的な検討を行うことを目的として「工業分野暫定 排水基準見直し検討会」と「畜産分野暫定排水基準見直し検討会」を設置し、検討を実施。	暫定排水基準が適用されている事 業場の実態把握 暫定排水基準見直しの方向性の検 討		環境省(海域室)				
<b>生活排水等の処理</b>												
2.18	d) 農業集落排水事業 ・生活排水等による水産動植物の生育環境の悪化 に対しては、集落排水施設等の整備を通じた陸上 からの水質負荷低減に取り組みます。(農林水産 省)	農業集落排水施設の整備	2.18	R4	農業集落排水施設の未整備地域の整備、老朽化施設の更新整備及び高度処理の導入の促 進。 陸上からの水質負荷低減に向け、今後とも農業集落排水施設の普及、更新整備及び高度処 理の導入について、関係自治体と連携して推進する。	全国約240箇所で開催		農林水産省	県・地方公共団体が事業の 実施主体	S58年度~現在(R4年度)	<a href="http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/nn/n_nouson/syuhai/">http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/nn/n_nouson/syuhai/</a>	
				R5	同上	全国約300箇所で開催		同上	同上	S58年度~現在(R5年度)	同上	
				R6	同上	全国約270箇所で開催		同上	同上	S58年度~現在(R6年度)	同上	
				R7	同上	※令和7年度実績のとりまとめは令和 8年度となるため、現時点では記載な し		同上	同上		同上	
2.19	e) 汚水処理人口普及率の向上 ・市町村に対する補助等(下水道水処理促進補助、 下水道事業促進整備交付金、浄化槽設置 整備事業)を実施し、下水道や浄化槽等の整備を促進し ます。(和歌山県)	下水道の整備	2.19	R4	市町村に対する補助等(下水道水処理促進補助、下水道事業促進整備交付金、浄化槽設置 整備事業)を実施し、下水道や浄化槽等の整備を促進	・令和2年度末で、下水道処理人口普及率28.5% ・令和3年度末で、合併処理浄化槽105,893基、処理人口323,957人。令和元年度からの補助事業で令和3年度末まで6,380基の設置を行った。		和歌山県				
				R5	市町村に対する補助等(下水道水処理促進補助、下水道事業促進整備交付金、浄化槽設置 整備事業)を実施し、下水道や浄化槽等の整備を促進	・令和3年度末で、下水道処理人口普及率28.9% ・令和4年度末で、合併処理浄化槽110,623基、処理人口325,831人。令和元年度からの補助事業で令和4年度末まで6,335基の設置を行った。		和歌山県				
				R6	市町村に対する補助等(下水道水処理促進補助、下水道事業促進整備交付金、浄化槽設置 整備事業)を実施し、下水道や浄化槽等の整備を促進	・令和4年度末で、下水道処理人口普及率29.5% ・令和5年度末で、合併処理浄化槽113,629基、処理人口328,015人。令和元年度からの補助事業で令和5年度末まで10,017基の設置を行った。		和歌山県				
				R7	市町村に対する補助等(下水道水処理促進補助、下水道事業促進整備交付金、浄化槽設置 整備事業)を実施し、下水道や浄化槽等の整備を促進	・令和5年度末で、下水道処理人口普及率30.2% ・令和6年度末で、合併処理浄化槽115,029基、処理人口331,460人。令和元年度からの補助事業で令和6年度末まで11,528基の設置を行った。		和歌山県				

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26～33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源
2.20	f) 沖縄汚水再生ちゅう水プラン ・沖縄県と県内市町村が連携して処理区域、整備 手法及び整備スケジュールの設定を行い、各種汚 水処理施設の整備を計画的、効率的に進めるため の指針として策定された沖縄汚水再生ちゅう水プラン に基づき、快適な生活環境の維持・向上と公共用 水域の水質保全を図る下水道や浄化槽、農業集落 排水施設等の整備を推進します。(沖縄県)	汚水処理(下水道、合併浄化槽、農業・漁業 集落排水)施設の効率的な整備の推進	2.20	R4	・汚水処理施設整備関係部局と連携し、整備状況の進捗管理を実施 ・沖縄汚水再生ちゅう水プラン2016の改定(令和5年3月下旬予定)	令和3年度汚水処理人口普及率87.1%		沖縄県	県内全市町村	平成10年度～現在	沖縄県下水道課HP <a href="http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/doboku/gesui/ryuiki/tyuramizu2016.html">http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/doboku/gesui/ryuiki/tyuramizu2016.html</a>	沖縄振興公共投資交 付金等
				R5	・汚水処理施設整備関係部局と連携し、整備状況の進捗管理を実施	令和4年度汚水処理人口普及率87.6%		沖縄県	県内全市町村	平成10年度～現在	沖縄県下水道課HP <a href="https://www.pref.okinawa.jp/res/projects/default_project/_page_001/012/456/churamizuplan2023.pdf">https://www.pref.okinawa.jp/res/projects/default_project/_page_001/012/456/churamizuplan2023.pdf</a>	沖縄振興公共投資交 付金等
				R6	・汚水処理施設整備関係部局と連携し、整備状況の進捗管理を実施	令和5年度汚水処理人口普及率88.1%		沖縄県	県内全市町村	平成10年度～現在	沖縄県下水道課HP <a href="https://www.pref.okinawa.jp/res/projects/default_project/_page_001/012/456/churamizuplan2023.pdf">https://www.pref.okinawa.jp/res/projects/default_project/_page_001/012/456/churamizuplan2023.pdf</a>	沖縄振興公共投資交 付金等
				R7	・汚水処理施設整備関係部局と連携し、整備状況の進捗管理を実施	令和6年度汚水処理人口普及率88.4%		沖縄県	県内全市町村	平成10年度～現在	沖縄県下水道課HP <a href="https://www.pref.okinawa.jp/machizukuri/suido/1012453/1012454/1012456.html">https://www.pref.okinawa.jp/machizukuri/suido/1012453/1012454/1012456.html</a>	沖縄振興公共投資交 付金等
2.21	g) 合流式下水道の改善 ・合流式下水道における雨天時の未処理下水の放 流による水質汚染を防ぐため、引き続き公共用水 域の水質保全に向けた合流式下水道の改善を推 進します。(国土交通省)	合流式下水道の改善	2.21	R4	合流式下水道改善事業の完了目標が令和5年度の都市及び流域下水道について、スクリーン や雨水貯留施設等の整備を支援	R3年度末時点の合流式下水道の改 善率は90.4%となり前年度から0.5ポ イント上昇(現時点の最新データがR3年 度のもの)		国土交通省下水 道部	都道府県・市町村		<a href="http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewera/crd_sewera/tk_000104.html">http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewera/crd_sewera/tk_000104.html</a>	
				R5	合流式下水道改善事業の完了目標が令和5年度の都市及び流域下水道について、スクリーン や雨水貯留施設等の整備を支援	R4年度末時点の合流式下水道の改 善率は93.0%となり前年度から2.6ポ イント上昇(現時点の最新データがR4年 度のもの)		国土交通省下水 道部	都道府県・市町村		<a href="https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewera/content/001587149.pdf">https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewera/content/001587149.pdf</a>	
				R6	令和6年度より特定水域合流式下水道改善事業を創設し、水域の特性と水環境へのニーズ・ 利用用途に応じた水質保全対策を推進	R5年度末時点の合流式下水道の改 善率は100.0%となり前年度から7.0ポ イント上昇(現時点の最新データがR5 年度のもの)		国土交通省大臣 官房参事官(上 下水道技術)	都道府県・市町村		<a href="http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewera/crd_sewera/tk_000104.html">http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewera/crd_sewera/tk_000104.html</a>	
				R7	令和6年度より特定水域合流式下水道改善事業を創設し、水域の特性と水環境へのニーズ・ 利用用途に応じた水質保全対策を推進	R6年度末時点の合流式下水道の改 善率は100.0%現時点の最新データ がR6年度のもの)	合流式下水道の改善により、公共用 水域に放流される未処理放流水が低 減され、サンゴ礁生態系を含む水環境 の改善に寄与しています。	国土交通省大臣 官房参事官(上 下水道技術)	都道府県・市町村		<a href="http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewera/crd_sewera/tk_000104.html">http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewera/crd_sewera/tk_000104.html</a>	
2.22	h) 下水道によるし尿、生活排水対策等各種汚水処 理の実施 ・汚水処理施設の早期整備に向けて、人口減少等 の社会情勢の変化及び地域の特性等を考慮し下 水道、農業集落排水施設、浄化槽等の適切な役割 分担の下、必要な下水道整備を推進します。(国土 交通省)	下水道による汚水処理の実施(下水道による し尿・生活排水対策など)	2.22	R4	効率的な下水道整備の推進(社会情勢の変化を踏まえた下水道計画の見直し・汚水処理施設 の連携強化・低コスト技術の導入等)	R3年度末時点での下水道処理人口普 及率は80.6%となり、前年度から0.5ポ イント上昇 (現時点の最新データがR3年度のも の)		国土交通省下水 道部	都道府県・市町村		<a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001497948.pdf">https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001497948.pdf</a> <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001497961.pdf">https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001497961.pdf</a>	
				R5	効率的な下水道整備の推進(社会情勢の変化を踏まえた下水道計画の見直し・汚水処理施設 の連携強化・低コスト技術の導入等)	R4年度末時点での下水道処理人口普 及率は81.0%となり、前年度から0.4ポ イント上昇 (現時点の最新データがR4年度のも の)		国土交通省下水 道部	都道府県・市町村		<a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001628140.pdf">https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001628140.pdf</a> <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001628141.pdf">https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001628141.pdf</a>	
				R6	効率的な下水道整備の推進(社会情勢の変化を踏まえた下水道計画の見直し・汚水処理施設 の連携強化・低コスト技術の導入等)	R5年度末時点での下水道処理人口普 及率は81.4%となり、前年度から0.4ポ イント上昇 (現時点の最新データがR5年度のも の)		国土交通省下水 道事業課	都道府県・市町村		<a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001759707.pdf">https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001759707.pdf</a> <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001759708.pdf">https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001759708.pdf</a>	
				R7	効率的な下水道整備の推進(社会情勢の変化を踏まえた下水道計画の見直し・汚水処理施設 の連携強化・低コスト技術の導入等)	R6年度末時点での下水道処理人口普 及率は81.8%となり、前年度から0.4ポ イント上昇 (現時点の最新データがR6年度のも の)	効率的な下水道整備の推進により、 汚水処理人口普及率が上昇し、公共 用水域に放流される生活排水等が低 減され、サンゴ礁生態系を含む水環境 の改善に寄与しています。	国土交通省下水 道事業課	都道府県・市町村		<a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001906145.pdf">https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001906145.pdf</a> <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001906146.pdf">https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001906146.pdf</a>	

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源
2.23	1) 浄化槽整備事業 ・廃棄物処理施設整備計画(平成30年6月19日閣 議決定)に基づき、浄化槽整備区域内の浄化槽人 口普及率(2020年度末時点57.3%)を2022年度末 までに70%とすることを目標に、事業を行っており、 2022年度以降も浄化槽整備区域内の浄化槽人口 普及率の向上のため、引き続き浄化槽の整備を推 進します。(環境省)	循環型社会形成推進交付金により個人また は地方公共団体が設置した浄化槽について 助成を行い、汚水処理人口普及率の増加を 目指す	2.23	R4	政府目標である令和8年度の汚水処理施設整備の概成を目指し、改正浄化槽法(令和2年4 月施行)に基づき、合併処理浄化槽の整備を加速化するとともに改正浄化槽法に基づく公共 浄化槽制度を活用した管理向上のための支援をしていく。	未処理のまま公共用水域に流出する 生活排水を減らすことができた。 2021年度末時点の浄化槽整備区域 内の浄化槽人口普及率は59.5%であ り、2022年度以降も浄化槽整備区域 内の浄化槽人口普及率の向上のた め、引き続き浄化槽の整備を推進して いく。		環境省(再生循 環局)		循環型社会形成推進交付 金: 毎年度実施	循環型交付金(浄化槽分) <a href="http://www.env.go.jp/recycle/jokaso/d&lt;br/&gt;ata/koufu/index.html">http://www.env.go.jp/recycle/jokaso/d ata/koufu/index.html</a> 廃棄物処理施設整備計画 <a href="http://www.env.go.jp/press/105612.ht&lt;br/&gt;ml">http://www.env.go.jp/press/105612.ht ml</a>	
				R5	政府目標である令和8年度の汚水処理施設整備の概成を目指し、改正浄化槽法(令和2年4 月施行)に基づき、合併処理浄化槽の整備を加速化するとともに改正浄化槽法に基づく公共 浄化槽制度を活用した管理向上のための支援をしていく。	未処理のまま公共用水域に流出する 生活排水を減らすことができた。 2022年度末時点の浄化槽整備区域 内の浄化槽人口普及率は60.7%と なっており、2022年度以降も浄化槽整 備区域内の浄化槽人口普及率の向上 のため、引き続き浄化槽の整備を推 進していく。		環境省(再生循 環局)		循環型社会形成推進交付 金: 毎年度実施	循環型交付金(浄化槽分) <a href="http://www.env.go.jp/recycle/jokaso/d&lt;br/&gt;ata/koufu/index.html">http://www.env.go.jp/recycle/jokaso/d ata/koufu/index.html</a> 廃棄物処理施設整備計画 <a href="http://www.env.go.jp/press/105612.ht&lt;br/&gt;ml">http://www.env.go.jp/press/105612.ht ml</a>	
				R6	政府目標である令和8年度の汚水処理施設整備の概成を目指し、改正浄化槽法(令和2年4 月施行)に基づき、合併処理浄化槽の整備を加速化するとともに改正浄化槽法に基づく公共 浄化槽制度を活用した管理向上のための支援をしていく。	未処理のまま公共用水域に流出する 生活排水を減らすことができた。 2023年度末時点の浄化槽整備区域 内の浄化槽人口普及率は61.4%と なっており、2024年度以降も浄化槽整 備区域内の浄化槽人口普及率の向上 のため、引き続き浄化槽の整備を推 進していく。		環境省(再生循 環局)		循環型社会形成推進交付 金: 毎年度実施	循環型交付金(浄化槽分) <a href="http://www.env.go.jp/recycle/jokaso/d&lt;br/&gt;ata/koufu/index.html">http://www.env.go.jp/recycle/jokaso/d ata/koufu/index.html</a> 廃棄物処理施設整備計画 <a href="http://www.env.go.jp/press/105612.ht&lt;br/&gt;ml">http://www.env.go.jp/press/105612.ht ml</a>	
				R7	政府目標である令和8年度の汚水処理施設整備の概成を目指し、改正浄化槽法(令和2年4 月施行)に基づき、合併処理浄化槽の整備を加速化するとともに改正浄化槽法に基づく公共 浄化槽制度を活用した管理向上のための支援をしていく。	未処理のまま公共用水域に流出する 生活排水を減らすことができた。 2024年度末時点の浄化槽整備区域 内の浄化槽人口普及率は62.5%と なっており、2025年度以降も浄化槽整 備区域内の浄化槽人口普及率の向上 のため、引き続き浄化槽の整備を推 進していく。		環境省(再生循 環局)		循環型社会形成推進交付 金: 毎年度実施	循環型交付金(浄化槽分) <a href="https://www.env.go.jp/recycle/jokaso/&lt;br/&gt;grant/koufu.html">https://www.env.go.jp/recycle/jokaso/ grant/koufu.html</a> 廃棄物処理施設整備計画 <a href="http://www.env.go.jp/press/105612.ht&lt;br/&gt;ml">http://www.env.go.jp/press/105612.ht ml</a>	
新規追加の取組(R6年度)		【沖縄県】 沈砂池等の堆積赤土等除去の効果的手法 の検討		R6	農林水産部局にて整備された砂防ダムの実態調査、既存沈砂池等における波深等による機 能改善の実証試験を行った。	農林部局にて整備された砂防ダムの 赤土等堆積状況等の把握、既存沈砂 池等の波深による機能改善の効果 を検証した。		沖縄県(環境保 全課)		令和4年度～令和13年度		沖縄振興特別推進交 付金
				R7	過年度に実施した実態調査の取りまとめを行うとともに、一流域において発生源対策から一連 で維持管理や堆積赤土等の有効活用の実証、検証を行った。 また、これまでの調査結果を取りまとめた維持管理マニュアルの素案を作成した。	施設の適切な維持管理による赤土等 流出防止機能の改善や堆積赤土の有 効活用について確認できた。		沖縄県(環境保 全課)		令和4年度～令和13年度		沖縄振興特別推進交 付金

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源
「重点課題2-2: サンゴ礁生態系における持続可能なツーリズムの推進」に関連する取組												
○基礎的な取組												
3.1	a) 科学的知見の充実及び人材育成 ・持続可能なツーリズムに関する科学的知見の充 実を行うとともに、保全・教育普及奨励賞の授与を 通じて人材の育成を推進します。(日本サンゴ礁学 会)	MLやサンゴ礁学会大会時に研究発表等を通 じて情報交換を行う。	3.1	R4	MLやサンゴ礁学会大会時に研究発表等を通じて情報交換を行った。			日本サンゴ礁学 会			日本サンゴ礁学会	
				R5	MLやサンゴ礁学会26回大会時に研究発表等を通じて情報交換を行った。			日本サンゴ礁学 会		日本サンゴ礁学会		
				R6	MLやサンゴ礁学会27回大会時に研究発表等を通じて情報交換を行った。			日本サンゴ礁学 会		日本サンゴ礁学会		
				R7	MLやサンゴ礁学会28回大会時に研究発表等を通じて情報交換を行った。	サンゴ礁の利用における課題の調査 研究事例を共有している。	保全活動と学術研究との協働のため のプラットフォームとして機能してい る。	日本サンゴ礁学 会		日本サンゴ礁学会	大会運営費および学 会一般会計事業費か らの支出	
○持続可能なツーリズムに向けた取組												
3.2	a) 普及啓発事業 ・吉野熊野国立公園の串本海域公園地区に指定さ れ、ラムサール条約湿地にも登録された串本沿岸 海域のサンゴ群集が存在する生態系について、 シュノーケリング体験を通して学び、自然環境保全 への関心と理解を深めるための取組を実施しま す。(和歌山県)	※現在は県による事業は実施していない。 2006年から10年以上にわたり串本海中観察 会を実施してきたが、民間のスノーケリング やダイビングサービスが串本沿岸海域で普 及し、また、それら民間事業者によるサンゴ 食害生物駆除活動が立ち上がるなど、概ね 目的を達成したため、2017年を最後に串本海 中観察会を終了した。  ※同上で、現在は「串本海中観察会」は実施 していない。	3.2	R4								
				R5								
3.3	a) 普及啓発事業 ・慶良間諸島国立公園において、ビジターセンター やフェリー・高速船内等で、サンゴ礁に配慮した利 用のルール・マナーなどを多言語で発信します。ま た、国立公園オフィシャルパートナーと連携して持 続可能なツーリズムに関する情報発信を実施しま す。(環境省)	持続可能な観光のための普及啓発・情報発 信	3.3	R4	ビジターセンターやフェリー・高速船内等で、サンゴ礁に配慮した利用のルール・マナーなどを 動画等の媒体により多言語で発信したほか、利用のルール・マナーを含む慶良間諸島国立公園 の見どころやアクティビティを日本語・英語で紹介するオンラインガイドブック「慶良間諸島国立 公園Guidebook」へアクセスできる環境作りのため、島内の案内標識、解説標識、公共施設 (ビジターセンター、港待合所、観光案内所等)及び公共交通機関(フェリー・高速船・バス内) にて、QRコード付きチラシの掲示や貼付を行った。	訪日外国人を含む来訪者へ、一層 ルール・マナーを報提供できるよう なった	環境省(沖縄奄 美NCO、国立公 園課)	沖縄県、渡嘉敷村、座間味 村及び両村の観光協会	R2~			
				R5	・ビジターセンターやフェリー・高速船内等で、サンゴ礁に配慮した利用のルール・マナーなどを 動画等の媒体により多言語で発信したほか、島内の案内標識、解説標識、公共施設(ビジター センター、港待合所、観光案内所等)及び公共交通機関(フェリー・高速船・バス内)に掲示・貼 付を行ったQRコード付きチラシ等により、利用のルール・マナーを含む慶良間諸島国立公園 の見どころやアクティビティを日本語・英語で紹介するオンラインガイドブック「慶良間諸島国立 公園Guidebook」へのアクセスを促した	訪日外国人を含む来訪者のルール・ マナーが一層向上することが期待され る	環境省(沖縄奄 美NCO、国立公 園課)	沖縄県、渡嘉敷村、座間味 村及び両村の観光協会	R2~			
				R6	・ビジターセンターやフェリー・高速船内等で、サンゴ礁に配慮した利用のルール・マナーなどを 動画等の媒体により多言語で発信したほか、島内の案内標識、解説標識、公共施設(ビジター センター、港待合所、観光案内所等)及び公共交通機関(フェリー・高速船・バス内)に掲示・貼 付を行ったQRコード付きチラシ等により、利用のルール・マナーを含む慶良間諸島国立公園 の見どころやアクティビティを日本語・英語(一部、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語も追加)で 紹介するオンラインガイドブック「慶良間諸島国立公園Guidebook」へのアクセスを促した。	訪日外国人を含む来訪者のルール・ マナーが一層向上することが期待され る。	環境省(沖縄奄 美NCO、国立公 園課)	沖縄県、渡嘉敷村、座間味 村及び両村の観光協会	R2~			
				R7	・ビジターセンターやフェリー・高速船内等で、サンゴ礁に配慮した利用のルール・マナーなどを 動画等の媒体により多言語で発信しているほか、島内の案内標識、解説標識、公共施設(ビ ジターセンター、港待合所、観光案内所等)及び公共交通機関(フェリー・高速船・バス内)に掲 示・貼付を行ったQRコード付きチラシ等により、利用のルール・マナーを含む慶良間諸島国立 公園の見どころやアクティビティを日本語・英語(一部、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語も追 加)で紹介するオンラインガイドブック「慶良間諸島国立公園Guidebook」へのアクセスを促 した。	訪日外国人を含む来訪者のルール・ マナーが一層向上することが期待され る。	多言語での情報発信やデジタル活用 等により、国内外からの観光客への ルール・マナーの啓発の一助となっ た。立地上、来訪者は船舶を利用して 来島するため、船舶内の映像による 普及啓発は来島前の普及啓発として は効果的と思われる。	環境省(沖縄奄 美NCO、国立公 園課)	沖縄県、渡嘉敷村、座間味 村及び両村の観光協会	R2~		
3.4	b) 環境保全型自然体験活動の推進 「サンゴ礁保全のための観光レジャープログラム」 を通して、観光・レジャー産業を中心に、地域住民 を含めた多様な主体が積極的にサンゴ礁保全と関 わりを持つための普及啓発に向けた取組を推進し ます。(沖縄県)	「サンゴ礁保全のための観光レジャープロ グラム」のWEB公開	3.4	R4	WEBにて公開中	地域や企業等が行うサンゴ礁保全活 動を推進		沖縄県	なし	H20年度~現在 (WEB公開は不明)	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/sango_hozenkatudou_program.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/sango_hozenkatudou_program.html</a>	なし
				R5	WEBにて公開中	地域や企業等が行うサンゴ礁保全活 動を推進		沖縄県	なし	H20年度~現在 (WEB公開は不明)	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan_kyo/kankyo/1004621/1004635.html">https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan_kyo/kankyo/1004621/1004635.html</a>	なし
				R6	WEBにて公開中	地域や企業等が行うサンゴ礁保全活 動を推進		沖縄県	なし	H20年度~現在 (WEB公開は不明)	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan_kyo/kankyo/1004621/1004635.html">https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan_kyo/kankyo/1004621/1004635.html</a>	なし
				R7	WEBにて公開中	地域や企業等が行うサンゴ礁保全活 動を推進		沖縄県(自然保 護課)	なし	H20年度~現在 (WEB公開は不明)	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan_kyo/kankyo/1004621/1004635.html">https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan_kyo/kankyo/1004621/1004635.html</a>	なし

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26～33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源	
3.5	b) 環境保全型自然体験活動の推進 ・保全利用協定(環境保全型自然体験活動を行う 場所の保全を目的として、環境保全型自然体験活 動に係る事業者が策定・締結するルール)の締結 を推進します。(沖縄県)	保全利用協定の締結推進	3.5	R4	1月末現在で4地域認定済、内協定区域が海域なのは1地域(宜野湾市謝名瀬)。	環境に配慮したエコツーリズムの推進		沖縄県	協定締結先	H14年度～現在	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenrivoukyoutei/nin/tei.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenrivoukyoutei/nin/tei.html</a>	なし	
				R5	1月末現在で4地域認定済、内協定区域が海域なのは1地域(宜野湾市謝名瀬)。	環境に配慮したエコツーリズムの推進		沖縄県	協定締結先	H14年度～現在	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004307/1004311/1004312.html">https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004307/1004311/1004312.html</a>		
				R6	1月末現在で6地域認定済、内協定区域が海域なのは3地域(宜野湾市謝名瀬、宮古島市保良クハグンダイ、石垣市白保サンゴ礁)。	環境に配慮したエコツーリズムの推進		沖縄県	協定締結先	H14年度～現在	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004307/1004311/1004312.html">https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004307/1004311/1004312.html</a>		
				R7	1月末現在で5地域認定済、内協定区域が海域なのは3地域(宜野湾市謝名瀬、宮古島市保良クハグンダイ、石垣市白保サンゴ礁)。	環境に配慮したエコツーリズムの推進		沖縄県	協定締結先	H14年度～現在	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004307/1004311/1004312.html">https://www.pref.okinawa.jp/kurashikan/kyo/kankyo/1004307/1004311/1004312.html</a>		
3.6	b) 環境保全型自然体験活動の推進 ・喜界島まるごとサンゴ礁ミュージアム事業を推進 します。また、サンゴ着床具等を使用したサンゴ増 殖を進め、自然の状態でのサンゴの再生が期待で き、かつ観光資源等として重要な海域において、サ ンゴの着生・生育に適した環境整備を行います。 (鹿児島県)	・喜界島サンゴ礁科学研究所における、サン ゴ礁の生態系、喜界島の成り立ちについての 解説、研修・インターンシップ等での活用	3.6	R4	(回答無し)								
				R5	・喜界島サンゴ礁科学研究所の展示室の観光客、視察等での見学 ・喜界島ジオパーク構想の発足	・来所者の増加、サンゴ礁の知識に触 れる機会の増加 ・喜界島ジオパーク構想の発足	喜界島サンゴ礁 科学研究所	行政、研究機関等	・2015～	<a href="https://kikaireefs.org">https://kikaireefs.org</a> <a href="https://www.facebook.com/kikaireefs">https://www.facebook.com/kikaireefs</a>	・地球環境基金 ・国立研究開発法人 科学技術振興機構 ・セブーンレパン記念 財団		
				R6	・喜界島サンゴ礁科学研究所の展示室の観光客、視察等での見学 ・喜界島ジオパーク構想の推進	・来所者の増加、サンゴ礁の知識に触 れる機会の増加 ・喜界島におけるジオパーク理念の広 がり	喜界島サンゴ礁 科学研究所	行政、研究機関等	・2015～	<a href="https://kikaireefs.org">https://kikaireefs.org</a> <a href="https://www.facebook.com/kikaireefs">https://www.facebook.com/kikaireefs</a>	・地球環境基金 ・国立研究開発法人 科学技術振興機構		
3.7	b) 環境保全型自然体験活動の推進 ・大学と連携し、サンゴの生息域の変化やサンゴ食 害生物の生息数、多種多様な魚類・藻類等の海洋 生物の調査を行い、記録や数値化し、サンゴ食害 生物駆除後の推移やサンゴ生育環境保全の重要 性を裏付けます。(宮崎県)	日南海岸サンゴ群集保全協議会	3.7	R4	大学と連携し、サンゴの生息域の変化やサンゴ食害生物の生息数、多種多様な魚類・藻類等々の海洋生物の調査を行い、記録や数値化し、サンゴ食害生物駆除後の推移やサンゴ生育環境保全の重要性を裏付ける。			日南海岸サンゴ 群集保全協議会		R3～R4	なし	水産多面的機能発揮 対策交付金	
				R5	※サンゴ調査とサンゴ食害生物の駆除は重点課題1(1.7.9)と統合 ※環境保全型自然体験活動の推進については重点課題 2-3(4.9.2)に統合								
3.8	b) 環境保全型自然体験活動の推進 ・海中観光船の運航・シーカヤック・シュノーケ リング、サンゴ幼生の展示や産卵シーン映像の 上映、サンゴ産卵見学ツアー、生き物観察会を 行います。(徳島県)	海中観光船の運航・シーカヤック・シュノーケ リング、サンゴ幼生の展示や産卵シーン映像 の上映、サンゴ産卵見学ツアー、生き物観察 会	3.8	R4	海中観光船の運航・シーカヤック・シュノーケリング、清掃活動や地元小学生によるサンゴ移植体験学習、薬場学習、植樹活動を行った。			海陽町 (報告元:徳島 県)			R4年度		
				R5	海中観光船の運航・シーカヤック・シュノーケリング、清掃活動や地元小学生によるサンゴ移植体験学習、薬場学習を行った。	本活動により、海中観光船の来場者 や地元小学生に興味関心を持って もらった。	海陽町 (報告元:徳島 県)			R5年度			
				R6	海中観光船の運航・シーカヤック・シュノーケリング、清掃活動や地元小学生への環境学習やサンゴ移植体験の実施、薬場学習を行った。	本活動により、海中観光船の来場者 や地元小学生にサンゴの魅力や保全 活動の意義や大切さについて、興味 関心を持ってもらった。	海陽町 (報告元:徳島 県)			R6年度			
				R7	海中観光船の運航・シーカヤック・シュノーケリング、清掃活動や地元小学生への環境学習やサンゴ移植体験の実施、薬場学習を行った。移植サンゴの経過観察学習の実施	本活動により、海中観光船の来場者 や地元小学生にサンゴの魅力や保全 活動の意義や大切さについて、学び 興味関心を持ってもらった。	地元小学校4年生から6年生にかけ ての環境学習、サンゴの移植体験を 実施し、2004年より継続して行って きている。	海陽町 (報告元:徳島 県)			R7年度		
3.9	c) サンゴ礁生態系におけるエコツーリズムの推進 ・国立公園等において、自然観光資源を活用した地 域活性化を推進するため、魅力あるエコツアープ ログラムの開発、ガイド等の人材育成等の地域のエ コツーリズムの活動を支援します。(環境省)	生物多様性保全推進交付金(エコツーリズム 地域活性化支援事業)による補助	3.9	R4	自然観光資源を活用した地域活性化を推進するため、魅力あるエコツアープログラムの開発、ガイド等の人材育成などの地域のエコツーリズムの活動を支援した。	自然観光資源を活用した地域活性化 を推進		環境省(国立公 園課)					
				R5	自然観光資源を活用した地域活性化を推進するため、魅力あるエコツアープログラムの開発、ガイド等の人材育成などの地域のエコツーリズムの活動を支援した。	自然観光資源を活用した地域活性化 を推進		環境省(国立公 園課)					
				R6	自然観光資源を活用した地域活性化を推進するため、魅力あるエコツアープログラムの開発、ガイド等の人材育成などの地域のエコツーリズムの活動を支援した。	自然観光資源を活用した地域活性化 を推進		環境省(国立公 園課)					
				R7	自然観光資源を活用した地域活性化を推進するため、魅力あるエコツアープログラムの開発、ガイド等の人材育成などの地域のエコツーリズムの活動を支援した。	自然観光資源を活用した地域活性化 を推進	沖縄県恩納村において地元協議会を 設立し、検討委員会の開催、利用状 況調査により、サンゴ礁資源の保護の 方針等を策定した。	環境省(国立公 園課)	恩納村エコツーリズム推進 協議会	R7	「恩納村エコツーリズム推進協議会」 <a href="https://www.vill.onna.okinawa.jp/organi/ze/section/1484816767/1762934363/">https://www.vill.onna.okinawa.jp/organi/ze/section/1484816767/1762934363/</a>		

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源
3.10	C)サンゴ礁生態系におけるエコツーリズムの推進 ・慶良間諸島国立公園において、持続可能なツー リズムを推進するためのガイドの人材育成を行います 。また、インターネットを活用し、動画配信やオン ラインガイドブックにより持続可能なツーリズムに関 する情報を発信します。(環境省)	持続可能な観光のため人材育成、コンテンツ 改善等	3.10	R4	マリンレジャー事業者等に対して「国立公園における自然体験コンテンツガイドライン」の普及とセルフチェックを通して、提供するツアープログラムの魅力や安心・安全の向上と、地域社会への貢献を促進させた。  ビジターセンターやフェリー・高速船内等で、サンゴ礁に配慮した利用のルール・マナーなどを動画等の媒体により多言語で発信したほか、利用のルール・マナーを含む慶良間諸島国立公園の見どころやアクティビティを日本語・英語で紹介するオンラインガイドブック「慶良間諸島国立公園Guidebook」へアクセスできる環境作りのため、島内の案内標識、解説標識、公共施設(ビジターセンター、港待合所、観光案内所等)及び公共交通機関(フェリー・高速船・バス内)にて、QRコード付きチラシの掲示や貼付を行った。【再掲】	ガイド事業者に対して、持続可能なツーリズムの観点から望ましいツアープログラムのあり方を普及啓発した  訪日外国人を含む来訪者へ、一層ルール・マナーを報提供できるようになった【再掲】		環境省(沖縄電美NCO、国立公園内)	沖縄県、渡嘉敷村、座間味村及び両村の観光協会、マリンレジャー事業者	R4~	国立公園における自然体験コンテンツガイドライン(Ver.2.0) <a href="https://www.env.go.jp/park/doc/law/kouenkeikaku060.pdf">https://www.env.go.jp/park/doc/law/kouenkeikaku060.pdf</a>	
				R5	・慶良間諸島国立公園が令和6年3月5日に指定から10周年の節目を迎える機会も活用し、地域内のマリンレジャー事業者等の関係者と共に、本地域や全国の先進地域におけるエコツーリズムの取組について理解を深める勉強会を開催した。 ・ビジターセンターやフェリー・高速船内等で、サンゴ礁に配慮した利用のルール・マナーなどを動画等の媒体により多言語で発信したほか、島内の案内標識、解説標識、公共施設(ビジターセンター、港待合所、観光案内所等)及び公共交通機関(フェリー・高速船・バス内)に掲示・貼付を行ったQRコード付きチラシ等により、利用のルール・マナーを含む慶良間諸島国立公園の見どころやアクティビティを日本語・英語で紹介するオンラインガイドブック「慶良間諸島国立公園Guidebook」へのアクセスを促した【再掲】	・本地域のマリンレジャー事業者等が、持続可能なツーリズムの推進について理解を深めた。 ・訪日外国人を含む来訪者のルール・マナーが一層向上することが期待される【再掲】		環境省(沖縄電美NCO)	沖縄県、渡嘉敷村、座間味村及び両村の観光協会、マリンレジャー事業者	R4~		
				R6	・慶良間諸島国立公園が令和6年3月5日に指定から10周年の節目を迎える機会も活用し、地域内のマリンレジャー事業者等の関係者と共に、本地域や全国の先進地域におけるエコツーリズムの取組について理解を深める勉強会を開催した。 ・ビジターセンターやフェリー・高速船内等で、サンゴ礁に配慮した利用のルール・マナーなどを動画等の媒体により多言語で発信したほか、島内の案内標識、解説標識、公共施設(ビジターセンター、港待合所、観光案内所等)及び公共交通機関(フェリー・高速船・バス内)に掲示・貼付を行ったQRコード付きチラシ等により、利用のルール・マナーを含む慶良間諸島国立公園の見どころやアクティビティを日本語・英語(一部、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語も追加)で紹介するオンラインガイドブック「慶良間諸島国立公園Guidebook」へのアクセスを促した。【3.3の再掲】	・本地域のマリンレジャー事業者等が、持続可能なツーリズムの推進について理解を深めた。 ・訪日外国人を含む来訪者のルール・マナーが一層向上することが期待される。【再掲】		環境省(沖縄電美NCO)	沖縄県、渡嘉敷村、座間味村及び両村の観光協会、マリンレジャー事業者	R4~		
				R7	・自治体職員や遊泳ビーチの監視を実施しているライフガードに対して、海域を含む、国立公園の規制等についての勉強会を開催した。 ・ビジターセンターやフェリー・高速船内等で、サンゴ礁に配慮した利用のルール・マナーなどを動画等の媒体により多言語で発信したほか、島内の案内標識、解説標識、公共施設(ビジターセンター、港待合所、観光案内所等)及び公共交通機関(フェリー・高速船・バス内)に掲示・貼付を行ったQRコード付きチラシ等により、利用のルール・マナーを含む慶良間諸島国立公園の見どころやアクティビティを日本語・英語(一部、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語も追加)で紹介するオンラインガイドブック「慶良間諸島国立公園Guidebook」へのアクセスを促した。【3.3の再掲】	・自治体職員やライフガード等の地域関係者が国立公園について理解を深めた。 ・訪日外国人を含む来訪者のルール・マナーが一層向上することが期待される。【再掲】	地域関係者に対して勉強会を実施することで、国立公園や海域利用への理解醸成に繋がった。慶良間諸島はサンゴ研究等のフィールドとしての活用はあまりされていないため、研究で興味を持っていただけることがあれば、連携を図りたい。	環境省(沖縄電美NCO)	沖縄県、渡嘉敷村、座間味村及び両村の観光協会、マリンレジャー事業者	R4~		
新規追加の取組(R5年度)	【徳島県】 一般向けの環境学習			R5	一般参加のモニタリングによる環境学習(海中観光船、シュノーケリング)			海陽町 (報告元:徳島県)				
				R6	都市部の学生や一般参加のモニタリングによる環境学習(海中観光船、シュノーケリング)	持続可能なサンゴの保全活動に必要な性と、サンゴ群がおりなす生態系の大切さについて知ってもらえた。	海陽町	令和6年度				
				R7	都市部の学生や一般参加のモニタリングによる環境学習(海中観光船、シュノーケリング)、移植体験の実施	持続可能なサンゴの保全活動の必要性と、サンゴ群がおりなす生態系の大切さについて知ってもらえた。	海陽町					
新規追加の取組(R6年度)	【徳島県】 体験学習(牟岐町)			R6	「千年サンゴと生きるまちづくり協議会」において、徳島県牟岐町の海岸周辺においてシュノーケル体験教室を実施するなど、海洋環境に触れあう体験学習を実施	興味・関心の向上		千年サンゴと生きるまちづくり協議会(事務局:徳島県南部総合県民局)	千年サンゴと生きるまちづくり協議会にはNPO、漁協、商工会、観光協会、牟岐町が参画	平成23年~		KNT-CTホールディングス株式会社との包括連携協定に基づく協賛金
				R7	「千年サンゴと生きるまちづくり協議会」において、徳島県牟岐町の海岸周辺においてシュノーケル体験教室を実施するなど、海洋環境に触れあう体験学習を実施	興味・関心の向上	・小学生親子を対象としており、サンゴ保全の啓発と合わせて、まず美しい海に親しんでもらう機会を提供	千年サンゴと生きるまちづくり協議会(事務局:徳島県南部総合県民局)	千年サンゴと生きるまちづくり協議会にはNPO、漁協、商工会、観光協会、牟岐町が参画	平成23年~		
新規追加の取組(R5年度)	【愛媛県】 愛南町の須ノ川公園において、地元有識者から群生サンゴの保全に係る講話のほか、カヤック体験を通して、実際にサンゴ等を観察する県民参加型のイベントを開催			R5	須ノ川公園(足摺宇和海国立公園)において、隣県から講師を招き、カヤック体験を含む自然環境啓発イベントを開催した。イベントには37名の方に参加いただき、群生しているサンゴを中心とした自然環境保全の講話に加え、カヤック体験中に海中のサンゴ等を観察するなど、自然保護意識の高揚を図った。	イベント1件		愛媛県、愛媛県自然保護協会	愛南町(後援) KNT-CTホールディングス株	R5	<a href="https://www.pref.ehime.jp/h15800/2023_09_09_mont-bell-event.html">https://www.pref.ehime.jp/h15800/2023_09_09_mont-bell-event.html</a>	KNT-CTホールディングス株式会社との包括連携協定に基づく協賛金
				R6	実施なし							
				R7	実施なし							
新規追加の取組(R5年度)	【沖縄県】 サンゴ礁保全再生活動促進事業			R5	・観光・レジャーによるサンゴへの影響の整理 ・ダイビング船等のアンカリングによるサンゴ損傷事例の把握 ・係留ブイの利用によるサンゴ礁保全効果の検証 ・日焼け止めクリーム等化学物質によるサンゴへの影響の把握 ・観光客・レジャー事業者等向け普及啓発方法の検討	サンゴに配慮した観光・レジャーの推進によるサンゴ礁の保全		沖縄県		R5~R7		沖縄県観光振興基金
				R6	・係留ブイの利用によるサンゴ礁保全効果の検証 ・日焼け止めクリーム等化学物質によるサンゴへの影響の把握 ・観光客・レジャー事業者等向け普及啓発方法の検討	サンゴに配慮した観光・レジャーの推進によるサンゴ礁の保全		沖縄県		R5~R7		沖縄県観光振興基金
				R7	・係留ブイ等の利用によるサンゴ礁保全手法・体制のとりまとめ ・日焼け止めクリーム等化学物質対策の検討 ・観光客・レジャー事業者等向け普及啓発方法の検討	サンゴに配慮した観光・レジャーの推進によるサンゴ礁の保全		沖縄県		R5~R7		沖縄県観光振興基金

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源
-----	--	------	----	----------	-------	---------	---	------	-----	--------	------------------	-----

重点課題2-3「地域の暮らしとサンゴ礁生態系のつながりの構築」における取組

○基礎的な取組

4.1	a) 対策に係る情報共有の推進 ・多様な主体を横断的に結びつけ、サンゴ礁保全を推進する取組として、地域で行われているサンゴ礁の保全活動や団体等の連携促進を実施します。保全活動を行っている主体への情報提供、地域で行われている保全活動への支援を行います(沖縄県)	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会の活動	4.1	R4	・サンゴの保全・再生の活動への助成事業の実施 ・ホームページやMLを活用した情報提供や情報発信 ・サンゴ礁ウィークの実施(R4.2.25-R4.3.12)	サンゴ礁保全の推進		沖縄県サンゴ礁保全推進協議会	サンゴの保全活動を行う各種団体	H20年度～	<a href="https://coralreefconservation.web.fc2.com/">https://coralreefconservation.web.fc2.com/</a>	寄付金等
				R5	・サンゴの保全・再生の活動への助成事業の実施 ・ホームページやMLを活用した情報提供や情報発信 ・サンゴ礁ウィークの実施(R6.2.23-R6.3.17)	サンゴ礁保全の推進		沖縄県サンゴ礁保全推進協議会	サンゴの保全活動を行う各種団体	H20年度～	<a href="https://coralreefconservation.web.fc2.com/">https://coralreefconservation.web.fc2.com/</a>	寄付金等
				R6	・サンゴの保全・再生の活動への助成事業の実施 ・ホームページやMLを活用した情報提供や情報発信 ・サンゴ礁ウィークの実施(R7.3.1-R7.3.16)	サンゴ礁保全の推進		沖縄県サンゴ礁保全推進協議会	サンゴの保全活動を行う各種団体	H20年度～	<a href="https://ocrc.sakura.ne.jp/">https://ocrc.sakura.ne.jp/</a>	寄付金等
				R7	・ホームページやMLを活用した情報提供や情報発信 ・サンゴ礁ウィークの実施(R8.2.28-R8.3.15)	サンゴ礁保全の推進		沖縄県サンゴ礁保全推進協議会・沖縄県自然保護課	サンゴの保全活動を行う各種団体	H20年度～	<a href="https://ocrc.sakura.ne.jp/">https://ocrc.sakura.ne.jp/</a>	寄付金等
4.2	a) 対策に係る情報共有の推進 ・オニヒトデ対策についての、漁業、観光業等の地元関係者や関係機関との情報共有、サンゴ移植に関する正しい知識の普及啓発を行います。(沖縄県)	オニヒトデ対策についての、漁業、観光業等の地元関係者や関係機関との情報共有	4.2.1	R4	オニヒトデ対策について関係機関と情報共有を行う他、ダイビング業者へ稚ヒトデモニタリングの普及等を行っている。	オニヒトデ対策の普及		沖縄県		H24年度～現在	なし	沖縄振興特別推進交付金
				R5	オニヒトデ対策について関係機関と情報共有を行う他、ダイビング業者へ稚ヒトデモニタリングの普及等を行っている。	オニヒトデ対策の普及		沖縄県		H24年度～現在	なし	沖縄振興特別推進交付金
				R6	オニヒトデ対策について関係機関と情報共有を行う他、ダイビング業者へ稚ヒトデモニタリングの普及等を行っている。	オニヒトデ対策の普及		沖縄県		H24年度～現在	<a href="https://onihitode.okinawa/">https://onihitode.okinawa/</a>	沖縄振興特別推進交付金
				R7	オニヒトデ対策について関係機関と情報共有を行う他、ダイビング業者へ稚ヒトデモニタリングの普及等を行っている。	オニヒトデ対策の普及		沖縄県自然保護課		H24年度～現在	<a href="https://onihitode.okinawa/">https://onihitode.okinawa/</a>	沖縄振興特別推進交付金
4.3	a) 対策に係る情報共有の推進 ・県内各地域の海洋保全団体のネットワーク会議を実施します。(高知県)	サンゴ移植に関する正しい知識の普及啓発についての取組	4.2.2	R4	・県(自然保護課)のホームページやイベントなどによるサンゴの移植や保全などに関する普及啓発の実施。日頃の個別の問い合わせ対応	サンゴ礁保全の推進		沖縄県			なし	なし
				R5	・県(自然保護課)のホームページやイベントなどによるサンゴの移植や保全などに関する普及啓発の実施。日頃の個別の問い合わせ対応	サンゴ礁保全の推進		沖縄県			なし	なし
				R6	・県(自然保護課)のホームページやイベントなどによるサンゴの移植や保全などに関する普及啓発の実施。日頃の個別の問い合わせ対応	サンゴ礁保全の推進		沖縄県			なし	なし
				R7	・県(自然保護課)のホームページやイベントなどによるサンゴの移植や保全などに関する普及啓発の実施。日頃の個別の問い合わせ対応	サンゴ礁保全の推進		沖縄県自然保護課			なし	なし
4.3	a) 対策に係る情報共有の推進 ・県内各地域の海洋保全団体のネットワーク会議を実施します。(高知県)	こうちサンゴ沿岸生態系適応ネットワーク集会	4.3	R4	サンゴなど沿岸生態系の保全、今後の利活用に必要な人的交流、情報共有や情報発信を行う	気候変動の影響による沿岸生態系の変化に対する適応策の促進につなげることを目的とする		高知県自然共生課	左記ネットワーク参加団体(高知県、沿岸8市町村、環境省、(公財)黒潮生物研究所等)	令和5年1月31日	<a href="https://kuroshio.or.jp/kc-coralnet/">https://kuroshio.or.jp/kc-coralnet/</a> (黒潮生物研究所HP内)	各主体の予算
				R5	サンゴなど沿岸生態系の保全、今後の利活用に必要な人的交流、情報共有や情報発信を行う(第3回こうちサンゴ沿岸生態系適応ネットワーク集会)	気候変動の影響による沿岸生態系の変化に対する適応策の促進につなげることを目的とする		高知県自然共生課	左記ネットワーク参加団体(高知県、沿岸8市町村、環境省、(公財)黒潮生物研究所等)	令和6年1月17日	<a href="https://kuroshio.or.jp/kc-coralnet/">https://kuroshio.or.jp/kc-coralnet/</a> (黒潮生物研究所HP内)	高知県予算
				R6	サンゴなど沿岸生態系の保全、今後の利活用に必要な人的交流、情報共有や情報発信を行う(第4回こうちサンゴ沿岸生態系適応ネットワーク集会)	気候変動の影響による沿岸生態系の変化に対する適応策の促進につなげることを目的とする		高知県自然共生課	左記ネットワーク参加団体(高知県、沿岸9市町村、環境省、高知大学、県内3水族館、(公財)黒潮生物研究所等)	令和7年2月14日	<a href="https://kuroshio.or.jp/kc-coralnet/">https://kuroshio.or.jp/kc-coralnet/</a> (黒潮生物研究所HP内)	高知県予算
				R7	サンゴなど沿岸生態系の保全、今後の利活用に必要な人的交流、情報共有や情報発信を行う(第5回こうちサンゴ沿岸生態系適応ネットワーク集会)	気候変動の影響による沿岸生態系の変化に対する適応策の促進につなげることを目的とする	【課題】開催地の問題、県下が東西に長いため、遠方からの参加者は負担になる。参加者は、WEBより対面を希望している。	高知県自然共生課	左記ネットワーク参加団体(高知県、沿岸9市町村、環境省、高知大学、県内3水族館、(公財)黒潮生物研究所等)	令和8年2月9日	<a href="https://kuroshio.or.jp/kc-coralnet/">https://kuroshio.or.jp/kc-coralnet/</a> (黒潮生物研究所HP内)	高知県予算

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源	
4.4	b)普及啓発事業 ・ウェブサイト「里海ネット」等を通じた情報発信による里海づくり活動の支援を行います。(環境省)	里海づくり活動の実施状況調査及び「里海ネット」等を通じた情報発信による里海づくり活動の支援	4.4	R4	都道府県や市町村、NPO団体等を対象にアンケート調査を実施し、全国の里海づくりに関する活動実態等を把握・整理・分析し、その結果を踏まえ、「里海ネット」の内容を更新し、広く情報発信を行った。	全国における里海づくりに係る活動の把握		環境省(閉海室)				「里海ネット」 https://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/index.html  「豊かな海」を目指した取組の事例集 https://www.env.go.jp/water/heisa/yutakanaumi.html  「きれいで豊かな海を目指して ～地域が主体となる閉鎖性海域の環境改善の手引き～」 http://www.env.go.jp/water/heisa/post_26.html	
				R5	「里海ネット」を通じた情報発信を行うことで、里海づくり活動を支援した。	—	環境省(海域室)						
				R6	「里海ネット」を通じた情報発信を行うことで、里海づくり活動を支援した。	地域における環境の保全と、資源の利活用、またそれらの好循環を支援する「里海モデル事業」を実施した。	環境省(海域室)	令和4年度～令和6年度	「里海ストーリー」 https://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/story/				
				R7	「里海ネット」を通じた情報発信を行うことで、里海づくり活動を支援した。	地域における環境の保全と、資源の利活用、またそれらの好循環に向けた多様な主体の連携を支援する戦略的「令和の里海づくり」基盤構築支援事業を実施した。	環境省(海域室)	令和7年度	「里海ストーリー」 https://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/story/				
4.5	e)科学的知見の充実及び人材育成 ・地域の暮らしとサンゴ礁のつながりに関する科学的知見の充実を行うとともに、保全・教育普及奨励賞の授与を通じて人材の育成を推進します。(日本サンゴ礁学会)	MLやサンゴ礁学会大会時に研究発表等を通じて情報交換を行う。	4.5	R4	MLやサンゴ礁学会大会時に研究発表等を通じて情報交換を行った。			日本サンゴ礁学会			日本サンゴ礁学会		
				R5	MLやサンゴ礁学会26回大会時に児童生徒によるポスター発表を含めて研究発表等を通じて情報交換を行った。「保全・教育普及奨励賞」を、特定非営利活動法人海の環境教育NPO bridge(代表理事 伊東久枝)による「海でも、海に行かなくてもできる！多様な研究者とつくる体験型海洋学習教材『LAB to CLASS』」に授賞した。			日本サンゴ礁学会		日本サンゴ礁学会			
				R6	MLやサンゴ礁学会27回大会時に児童生徒によるポスター発表を含めて研究発表等を通じて情報交換を行った。「保全・教育普及奨励賞」を、三宅村/公益財団法人日本野鳥の会及び玉川学園サンゴ研究部に授賞した。			日本サンゴ礁学会		日本サンゴ礁学会			
				R7	MLやサンゴ礁学会28回大会時に児童生徒によるポスター発表を含めて研究発表等を通じて情報交換を行った。「保全・教育普及奨励賞」を、活動名:三菱商事国際サンゴ礁保全プロジェクト活動実施団体:鈴木 欽・Casareto Beatriz Estela に授賞した。	市民科学と保全活動について、児童生徒の学習意欲を喚起するとともに研究者の参加を奨励する効果を得た。	専門家の社会参加を促し、活動現場の改題に直結した活動を支援している。	日本サンゴ礁学会		日本サンゴ礁学会	大会運営費および学会一般会計事業費からの支出		

〇つながりの構築に向けた取組

4.6	a)サンゴ礁保全再生活動の推進 ・地域が主体となり、行政、漁協、農林関係、観光協会等幅広い関係者が参画し、サンゴ礁の生産、植付け、環境保全活動、環境教育等を一体的に行うサンゴ礁保全再生活動を推進します。(沖縄県)	サンゴ礁保全再生地域協議会の設立、運営の支援	4.6	R4	地域が主体となり、サンゴ礁生産・植付、環境保全活動、環境教育等を一体的に行うサンゴ礁保全再生地域協議会の設立、運営等の支援を行う。	宮古島市、うるま市で設立に向けた準備会を実施。(次年度設立予定)		沖縄県	宮古島市、うるま市(恩納村、久米島町)	H29~R8	特になし	沖縄振興特別推進交付金
				R5	地域が主体となり、サンゴ礁生産・植付、環境保全活動、環境教育等を一体的に行うサンゴ礁保全再生地域協議会の設立、運営等の支援を行う。	うるま市で地域協議会を設立した。宮古島市では設立に向けた関係機関協議中。		沖縄県	宮古島市、うるま市(恩納村、久米島町)	H29~R8	特になし	沖縄振興特別推進交付金
				R6	地域が主体となり、サンゴ礁生産・植付、環境保全活動、環境教育等を一体的に行うサンゴ礁保全再生地域協議会の設立、運営等の支援を行う。	伊良部島・下地島(宮古島市)で地域協議会を設立した。平安座島(うるま市)地域協議会と合わせて運営の支援を実施中。		沖縄県	宮古島市、うるま市(恩納村、久米島町)	H29~R8	特になし	沖縄振興特別推進交付金
				R7	地域が主体となり、サンゴ礁生産・植付、環境保全活動、環境教育等を一体的に行うサンゴ礁保全再生地域協議会の設立、運営等の支援を行う。	与那原町で地域協議会を設立した。伊良部島・下地島(宮古島市)、平安座島(うるま市)地域協議会と合わせて運営の支援を実施中。		沖縄県自然保護課	宮古島市、うるま市、与那原町(恩納村、久米島町)	H29~R8	特になし	沖縄振興特別推進交付金

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源		
4.7	b) 生態系サービスの持続的利活用 琉球諸島沿岸海岸保全基本計画: ・琉球諸島沿岸では、古くから浜下り等の信仰的な 行事やサンゴ礁内でのイザリ等の日常的な利用が 行われてきましたが、直立堤等により海岸へのア クセス性が低下し、利用が困難になった海岸が存在 することから、今後の海岸保全施設整備において は、利用者に配慮した海岸保全施設整備を推進し ます。(沖縄県)	地域住民が利用しやすい緩傾斜式護岸の整 備(農地農村整備課)	4.7.1	R4	これまでの直立護岸では、海浜の利用が難しかったが緩傾斜式の護岸を採用し整備することで、地域住民が安全に海浜を利用できるようになった。海浜と親しむ事により、環境保全の意識が高まり海岸清掃活動や環境教育の場所として利用されることが期待される。	海岸清掃を実施した際、海岸を利用する住民の参加が多かった。		沖縄県		H21~R5	特になし	沖縄振興公共投資交付金		
				R5	これまでの直立護岸では、海浜の利用が難しかったが緩傾斜式の護岸を採用し整備することで、地域住民が安全に海浜を利用できるようになった。海浜と親しむ事により、環境保全の意識が高まり海岸清掃活動や環境教育の場所として利用されることが期待される。	海岸清掃を実施した際、海岸を利用する住民の参加が多かった。		沖縄県		H21~R9	特になし	沖縄振興公共投資交付金		
				R6	これまでの直立護岸では、海浜の利用が難しかったが緩傾斜式の護岸を採用し整備することで、地域住民が安全に海浜を利用できるようになった。海浜と親しむ事により、環境保全の意識が高まり海岸清掃活動や環境教育の場所として利用されることが期待される。	海岸清掃を実施した際、海岸を利用する住民の参加が多かった。		沖縄県		H21~R9	特になし	沖縄振興公共投資交付金		
				R7	これまでの直立護岸では、海浜の利用が難しかったが緩傾斜式の護岸を採用し整備することで、地域住民が安全に海浜を利用できるようになった。海浜と親しむ事により、環境保全の意識が高まり海岸清掃活動や環境教育の場所として利用されることが期待される。	海岸清掃を実施した際、海岸を利用する住民の参加が多かった。		沖縄県		H21~R9	特になし	沖縄振興公共投資交付金		
		地域の自然条件や利用形態に応じた海岸保 全施設整備(海岸防災課)	4.7.2	R4	防護を主目的として設置された直立護岸では、海浜の利用が難しかったが地域の自然条件や利用形態に応じ安全にアクセスできる海岸保全施設整備推進に取り組む。地域住民が安全に海浜を利用し、親しむ事により、環境保全の意識が高まり、海岸清掃活動や環境教育の場所として利用されることが期待される。	海岸清掃を実施した際、海岸を利用する住民の参加が多かった。		沖縄県		R4~R13	特になし	沖縄振興公共投資交付金 等		
				R5	防護を主目的として設置された直立護岸では、海浜の利用が難しかったが地域の自然条件や利用形態に応じ安全にアクセスできる海岸保全施設整備推進に取り組む。地域住民が安全に海浜を利用し、親しむ事により、環境保全の意識が高まり、海岸清掃活動や環境教育の場所として利用されることが期待される。	海岸清掃を実施した際、海岸を利用する住民の参加が多かった。		沖縄県		R4~R13	特になし	沖縄振興公共投資交付金 等		
				R6	防護を主目的として設置された直立護岸では、海浜の利用が難しかったが地域の自然条件や利用形態に応じ安全にアクセスできる海岸保全施設整備推進に取り組む。地域住民が安全に海浜を利用し、親しむ事により、環境保全の意識が高まり、海岸清掃活動や環境教育の場所として利用されることが期待される。	海岸清掃を実施した際、海岸を利用する住民の参加が多かった。		沖縄県		R4~R13	特になし	沖縄振興公共投資交付金 等		
4.8	b) 生態系サービスの持続的利活用 薩南諸島沿岸海岸保全基本計画: ・奄美群島国立公園の豊かな自然を代表するサン ゴ礁の海岸に親しみ、地域の海岸に息づく文化を 後世に守り伝える等の事業に配慮する等、海岸に おける公衆の適正な利用を促進するための施策を 推進します。(鹿児島県)	景観・環境に配慮した海岸保全施設整備	4.8	R4	(回答なし)									
				R5	大島郡大和村の大金久海岸において、人工リーフによる景観・環境に配慮した海岸保全施設整備の推進を図っている。	環境に配慮した材質・形状の構造物を用いたことにより、構造物の表面にサンゴ等が付着しているのが確認されている。		鹿児島県河川課		H26~R5		社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)		
				R6	大島郡大和村の大金久海岸において、人工リーフによる景観・環境に配慮した海岸保全施設整備の推進を図っている。	環境に配慮した材質・形状の構造物を用いたことにより、構造物の表面にサンゴ等が付着しているのが確認されている。		鹿児島県河川課		H26~		社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)		
				R7	大島郡大和村の大金久海岸において、人工リーフによる景観・環境に配慮した海岸保全施設整備の推進を図っている。	環境に配慮した材質・形状の構造物を用いたことにより、構造物の表面にサンゴ等が付着しているのが確認されている。	引き続き、水質汚濁等の環境に配慮した海岸保全施設の整備を推進する。	鹿児島県河川課		H26~		社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)		
4.9	c) サンゴ群集保全活動支援事業 ・日南海岸サンゴ群集保全協議会が、県民へのサン ゴ保全と生物多様性の重要性を広く周知するた めのイベントや地域住民等を対象とした環境教育 等の普及啓発活動を実施しており、協議会が活動 するにあたっての支援を行います。協議会内で各 者の協議を継続して行い、当該事業終了後も継続 して協議の場が運営できる環境づくりを行います。 (宮崎県)	宮崎県民への普及啓発事業	4.9.1	R4	県内最大のショッピングモールで「日南海岸のサンゴといきもの写真展」を開催。地元の大学など協力の元、写真展示のみでなく、スキューバダイビングの機材や貝殻等の展示、サンゴの講演などを実施。	R5.2.14~R5.2.17 イオンモール宮崎にて開催。 QRコードで来場者向けのアンケートを実施。		宮崎県	日南海岸サンゴ群集保全協議会(宮崎県・日南市・串間市・宮崎大学・県スキューバダイビング安全対策協議会他)		H27~R4		水産多面的機能発揮対策交付金	
				R5	ショッピングモールで「日南海岸のサンゴといきもの写真展」を開催。地元の大学など協力の元、写真展示のみでなく、スキューバダイビングの機材や貝殻等の展示、サンゴの講演などを実施。	R6.3.11~R6.3.15 宮交シティにて開催。 来場者向けのアンケートを実施。		宮崎県	日南海岸サンゴ群集保全協議会(宮崎県・日南市・串間市・宮崎大学・県スキューバダイビング安全対策協議会他)		H27~R5		水産多面的機能発揮対策交付金	
				R6	3月にショッピングモールで「日南海岸のサンゴといきもの写真展」を開催。写真展示を実施。	R7.3.1~R7.3.7 イオンモール宮崎にて開催。 来場者向けのアンケートを実施。		宮崎県	日南海岸サンゴ群集保全協議会(宮崎県・日南市・串間市・宮崎大学・県スキューバダイビング安全対策協議会他)				水産多面的機能発揮対策交付金	
				R7	2月にショッピングモールで「日南海岸のサンゴといきもの写真展」を開催。写真展示などを実施。	R8.2.20~R8.2.27 宮交シティにて開催。 来場者向けのアンケートを実施。		宮崎県	日南海岸サンゴ群集保全協議会(宮崎県・日南市・串間市・宮崎大学・県スキューバダイビング安全対策協議会他)				水産多面的機能発揮対策交付金	
			4.9.2	R4	浅瀬でサンゴが観察できる築島地区において、スノーケリングによるサンゴ観察会の実施。	荒天により中止								水産多面的機能発揮対策交付金
				R5	大島において、スノーケリングによるサンゴ観察会の実施。	小学4年生から小学6年生を対象に実施。10名が参加。		日南海岸サンゴ群集保全協議会				R5		水産多面的機能発揮対策交付金
				R6	大島において、スノーケリングによるサンゴ観察会の実施。	小学4年生から小学6年生を対象に実施。4名が参加。		日南海岸サンゴ群集保全協議会				R6		水産多面的機能発揮対策交付金
				R7	※R7年度の活動は継続中のため、詳細はR8年度の報告時に追記予定			日南海岸サンゴ群集保全協議会				R7		水産多面的機能発揮対策交付金

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源	
〇つながりの継承に向けた取組													
4.10	a) 学校教育との連携 石垣島において、小中学校の「総合的な学習の時間」等と連携したサンゴ学習を実施することで、児童生徒がサンゴ礁生態系やそれに根ざした地域の歴史文化、産業について関心を深め、それらを大切に思う気持ちを育み、生物多様性及び自然環境保全への関心を高めるとともに、効率的な学習につながるよう、学習効果の測定・検証を実施します。また、高等学校生への学習機会の創出についても、学校や自治体、教育関係者等と協力して検討・調整を進めます。(環境省)	小中学校における授業としてのサンゴ学習の実施、自然体験活動の開催、高校生への学習機会の創出に向けた関係者との連携強化	4.10	R4	石垣島内の小中学校を対象に「総合的な学習の時間」の授業枠で産学および野外でのスノーケリングを用いた体験学習を行うとともにその学習効果を測定・検証した。学習前よりもサンゴ礁生態系や海洋環境への理解が深まったことが確認された一方、理解が深まることで「サンゴは動物か植物か」といった問の正答率が下がると出題方法の課題もみられた。ほかにも、小中学校に周知等の協力を得て石垣島北部地域を中心に五感を使う自然体験プログラムを実施した。高校生への学習機会の創出については、石垣市を通じて高等学校教育を所管する沖縄県に対して連携強化を呼び掛けた。	「総合的な学習の時間」のみならず国語や理科など別の教科でもサンゴ学習で学んだ内容を踏まえた課題が出されるなど波及効果があった。自然体験プログラムと併せ、学校や保護者から継続実施の要望が寄せられた。	環境省(沖縄奄美NCO)						
				R5	石垣島内の小中学校を対象に「総合的な学習の時間」の授業枠で産学および野外での観察会など体験学習を行うとともにその学習効果を測定・検証した。学習前よりもサンゴ礁生態系や海洋環境への理解が深まったことが確認された。ほかにも、小中学校に周知等の協力を得て石垣島北部地域を中心に五感を使う自然体験プログラムを実施した。	自然体験プログラムと併せ、学校や保護者から継続実施の要望が寄せられた。また、これまでの活動により石垣市でも大規模校を対象としたサンゴ学習を実施するなど波及効果がみられた。	環境省(沖縄奄美NCO)						
				R6	石垣島内の小中学校を対象に「総合的な学習の時間」の授業枠で産学および野外での観察会など体験学習を行うとともにその学習効果を測定・検証した。学習前よりもサンゴ礁生態系や海洋環境への理解が深まったことが確認された。ほかにも、小中学校に周知等の協力を得て石垣島北部地域を中心に五感を使う自然体験プログラムを実施した。	自然体験プログラムと併せ、学校や保護者から継続実施の要望が寄せられた。また、これまでの活動により石垣市でも大規模校を対象としたサンゴ学習を実施するなど波及効果がみられた。	環境省(沖縄奄美NCO)						
				R7	竹富町内の小中学校を対象に「総合的な学習の時間」の授業枠で産学および野外での観察会など体験学習を行うとともにその学習効果を測定・検証した。学習前よりもサンゴ礁生態系や海洋環境への理解が深まったことが確認された。ほかにも、小中学校に周知等の協力を得て石垣島北部地域を中心に五感を使う自然体験プログラムを実施した。	自然体験プログラムと併せ、学校や保護者から継続実施の要望が寄せられた。また、これまでの活動により石垣市でも大規模校を対象としたサンゴ学習を実施するなど波及効果がみられた。	環境省(沖縄奄美NCO)	八重山地域の子どもたちへのサンゴ学習の推進が着実に進んでいる。					
4.11	b) 生態系サービスの持続的利活用 水産多面的機能発揮対策事業: 漁業者等が行う水産業・漁村の持つ多面的機能の発揮に資するサンゴ礁の保全等地域の活動を支援します。(農林水産省、鹿児島県)	【農林水産省】 漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業	4.11.1	R4	水産業・漁村の活性化を図ることを目的に、水産業・漁村が持つ多面的機能の発揮に資する地域の活動支援の一環として、サンゴ礁の保全活動を支援している。具体的には、高知県2件、鹿児島県1件・沖縄県6件等において、サンゴの移植、食害生物の除去、浮遊・堆積物の除去等の活動への支援を実施している。	<a href="http://www.ifa.maff.go.jp/i/gvoko_gvo/gv/g_thema/sub391.html">http://www.ifa.maff.go.jp/i/gvoko_gvo/gv/g_thema/sub391.html</a>	農林水産省	交付先		平成25年度～現在(R4年度)	<a href="https://hitoumi.jp/">https://hitoumi.jp/</a>		
				R5	水産業・漁村の活性化を図ることを目的に、水産業・漁村が持つ多面的機能の発揮に資する地域の活動支援の一環として、サンゴ礁の保全活動を支援している。具体的には、高知県2件、鹿児島県1件・沖縄県6件等において、サンゴの移植、食害生物の除去、浮遊・堆積物の除去等の活動への支援を実施している。	<a href="http://www.ifa.maff.go.jp/i/gvoko_gvo/gv/g_thema/sub391.html">http://www.ifa.maff.go.jp/i/gvoko_gvo/gv/g_thema/sub391.html</a>	農林水産省	交付先		平成25年度～現在(R5年度)	<a href="https://hitoumi.jp/">https://hitoumi.jp/</a>		
				R6	水産業・漁村の活性化を図ることを目的に、水産業・漁村が持つ多面的機能の発揮に資する地域の活動支援の一環として、サンゴ礁の保全活動を支援している。具体的には、高知県2件、鹿児島県1件・沖縄県6件等において、サンゴの移植、食害生物の除去、浮遊・堆積物の除去等の活動への支援を実施している。	<a href="http://www.ifa.maff.go.jp/i/gvoko_gvo/gv/g_thema/sub391.html">http://www.ifa.maff.go.jp/i/gvoko_gvo/gv/g_thema/sub391.html</a>	農林水産省	交付先		平成25年度～現在(R6年度)	<a href="https://hitoumi.jp/">https://hitoumi.jp/</a>		
				R7	水産業・漁村の活性化を図ることを目的に、水産業・漁村が持つ多面的機能の発揮に資する地域の活動支援の一環として、サンゴ礁の保全活動を支援している。具体的には、高知県2件、鹿児島県1件・沖縄県6件等において、サンゴの移植、食害生物の除去、浮遊・堆積物の除去等の活動への支援を実施している。	<a href="http://www.ifa.maff.go.jp/i/gvoko_gvo/gv/g_thema/sub391.html">http://www.ifa.maff.go.jp/i/gvoko_gvo/gv/g_thema/sub391.html</a>	農林水産省	交付先		平成25年度～現在(R7年度)	<a href="https://hitoumi.jp/">https://hitoumi.jp/</a>		
		【鹿児島県】 水産多面的機能発揮対策事業	4.11.2	R4	(回答なし)								
				R5	枕崎や指宿などでのオニヒトデ駆除・藻場の保全	オニヒトデの駆除により、サンゴの食害被害を防ぐことができている。	鹿児島県水産振興課	枕崎の海を守る会	H22～現在	<a href="https://hitoumi.jp/torikumi/wp/jisseki/3373">https://hitoumi.jp/torikumi/wp/jisseki/3373</a>	水産多面的機能発揮対策事業		
				R6	枕崎でオニヒトデ駆除・藻場の保全	オニヒトデの駆除により、サンゴの食害被害を防ぐことができている。	鹿児島県水産振興課	枕崎の海を守る会	H22～現在	<a href="https://hitoumi.jp/torikumi/wp/jisseki/3373">https://hitoumi.jp/torikumi/wp/jisseki/3373</a>	水産多面的機能発揮対策事業		
R7	枕崎でオニヒトデ駆除	オニヒトデの駆除により、サンゴの食害被害を防ぐことができている。	鹿児島県水産振興課	枕崎の海を守る会	H22～現在	<a href="https://hitoumi.jp/torikumi/wp/jisseki/3373">https://hitoumi.jp/torikumi/wp/jisseki/3373</a>	水産多面的機能発揮対策事業						
4.12	c) 竜車の自然再生 竜車の自然再生につながる活動として、市民参加型モニタリングイベント開催、地元小学校～高校における環境教育、オニヒトデの駆除を行います。(高知県)	竜車の自然再生につながる活動 サンゴの産卵観察会(7月と8月の年2回の開催)	4.12	R4	一般のダイバーと竜車湾内におけるサンゴに関する事前レクチャー及びサンゴの産卵をダイビングで夜間に観察	7月20日は参加者7名、スタッフ参加者3名 8月18日は参加者が5名、スタッフ参加者1名です。		竜車観光振興会、黒潮生物研究所、足摺海洋館		H22年度～R4年度	<a href="https://tdc2001.com/archives/logbook/%E3%82%B5%E3%83%B3%E3%82%B4%E3%81%AE%E7%94%A3%E5%8D%B5%E7%BC%92%E7%BC%90%E7%BC%92%E7%BC%92%E3%80%87%E6%9C%88%E7%AF%87">https://tdc2001.com/archives/logbook/%E3%82%B5%E3%83%B3%E3%82%B4%E3%81%AE%E7%94%A3%E5%8D%B5%E7%BC%92%E7%BC%90%E7%BC%92%E7%BC%92%E3%80%87%E6%9C%88%E7%AF%87</a> <a href="https://tdc2001.com/archives/logbook/%E7%BC%92%E7%BC%90%E7%BC%92%E7%BC%92%E5%B9%B4%E3%82%B5%E3%83%B3%E3%82%B4%E3%81%AE%E7%94%A3%E5%8D%B5%E7%B5%82%E3%82%8F%E3%82%8B">https://tdc2001.com/archives/logbook/%E7%BC%92%E7%BC%90%E7%BC%92%E7%BC%92%E5%B9%B4%E3%82%B5%E3%83%B3%E3%82%B4%E3%81%AE%E7%94%A3%E5%8D%B5%E7%B5%82%E3%82%8F%E3%82%8B</a>	自主財源	
				R5	(回答なし) ※自然再生事業については取組2.2(環境省報告)を参照								
				R6	令和6年度はサンゴの産卵観察会なし。令和7年度は実施検討中。								
				R7	令和7年度はサンゴの産卵観察会なし。								

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源
4.13	d) 宇和海海域公園におけるサンゴ保護 ・宇和海海域公園においてサンゴ保護対策の支援 を行います。(愛媛県)	宇和海海中資源保護対策協議会(事務局: 愛南町)が実施するオニヒトデ等のサンゴ食 害生物の駆除事業等に助成	4.13	R4	宇和海海域公園を中心とした海域におけるオニヒトデ等のサンゴ食害生物からサンゴを保護 するため、宇和海海中資源保護対策協議会(事務局:愛南町)が実施する駆除事業に補助を 行い、被害の防止に努めている。	補助1件		愛媛県	宇和海海中資源保護対策協 議会(事務局愛南町)	H3年度~現在(R4年度)	なし	県費
				R5	宇和海海域公園を中心とした海域におけるオニヒトデ等のサンゴ食害生物からサンゴを保護 するため、宇和海海中資源保護対策協議会(事務局:愛南町)が実施する駆除事業に補助を 行い、被害の防止に努めている。	補助1件		愛媛県	宇和海海中資源保護対策協 議会(事務局愛南町)	H3年度~現在(R5年度)	なし	県費
				R6	宇和海海域公園を中心とした海域におけるオニヒトデ等のサンゴ食害生物からサンゴを保護 するため、宇和海海中資源保護対策協議会(事務局:愛南町)が実施する駆除事業に補助を 行い、被害の防止に努めている。	補助1件		愛媛県	宇和海海中資源保護対策協 議会(事務局愛南町)	H3年度~現在(R6年度)	なし	県費
				R7	宇和海海域公園を中心とした海域におけるオニヒトデ等のサンゴ食害生物からサンゴを保護 するため、宇和海海中資源保護対策協議会(事務局:愛南町)が実施する駆除事業に補助を 行い、被害の防止に努めている。	補助1件	オニヒトデを69匹駆除することが できた。	愛媛県	宇和海海中資源保護対策協 議会(事務局愛南町)	H3年度~現在(R7年度)	なし	県費
4.14	e) 竹ヶ島海中公園自然再生協議会 ・自然再生協議会の運営による多様な主体との連 携調整、シンポジウムの開催、地元小学生との活 動(サンゴ学習・サンゴの移植)、サンゴの移植と観 察の継続、観光客に対する島民の漁業説明ワーク ショップの開催を行います。(徳島県)	自然再生協議会の運営による多様な主体と の連携調整、シンポジウムの開催、地元小学 生との活動(サンゴ学習・サンゴの移植)、サ ンゴの移植と観察の継続	4.14	R4	自然再生協議会の運営に係る多様な主体との連携調整、サンゴの継続観察のほか地元小学 生の活動発表などのシンポジウムの開催や地元小学生との環境学習・藻場学習、植樹活動及 びサンゴの移植活動を行った。			海陽町 (報告元:徳島 県)		R4年度	<a href="https://www.town.kaivo.lg.jp/docs/2023013100015/">https://www.town.kaivo.lg.jp/docs/2023013100015/</a>	
				R5	自然再生協議会の運営に係る多様な主体との連携調整、サンゴの継続観察のほか地元小学 生の活動発表などのシンポジウムの開催や地元小学生との環境学習・藻場学習及びサンゴの 移植活動を行った。	地元漁業者や有識者を含む協議会委 員と連携することで本活動が継続し ていく体制づくりに繋がった。また、地 元小学生への環境学習により後継者 育成に繋がる活動が実施できた。		海陽町 (報告元:徳島 県)		R5年度		
				R6	自然再生協議会の運営に係る多様な主体との連携調整、サンゴの継続観察のほか地元小学 生の活動発表などのシンポジウムの開催や地元小学生との環境学習・藻場保全学習及びサ ンゴの移植活動を行った。	地元漁業者や有識者を含む協議会委 員と連携することで、本活動が継続 していく体制づくりに繋がった。また、 地元小学生への環境学習により後継 者育成に繋がる活動が実施できた。		海陽町 (報告元:徳島 県)		R6年度		
				R7	自然再生協議会の運営に係るサンゴや藻場育成実証実験、シバづけなど、多様な主体との連 携による調査に係る状況報告や、サンゴの継続観察のほか、地元小学生の取組活動発表、講 演会などのシンポジウムを開催。地元小学生との環境学習・藻場保全学習及びサンゴの移植 活動を行った。	地元漁業者や有識者を含む協議会委 員と連携することで、本活動が継続 していく体制づくりに繋がった。また、 地元小学生への環境学習により後継 者育成に繋がる活動が実施できた。	シンポジウムを継続して開催でき ている。但し、課題としては、参加 者を増やす手法に苦慮している。	海陽町 (報告元:徳島 県)		R7年度		
4.15	f) 石西礁湖自然再生協議会 ・石西礁湖自然再生協議会が、八重山地域のサン ゴ礁生態系保全のためのプラットフォーム機能を果 たすよう、科学的なデータに基づき、石西礁湖等 のサンゴ礁生態系を保全・再生し、地域の生活の活 性化につなげるため、行政、観光事業者、漁業者、 研究者など多様な関係者の主体横断的な議論と協 働を推進します。(環境省)	石西礁湖自然再生協議会の開催	4.15	R4	石西礁湖自然再生協議会と3部会(海域・陸域対策部会、普及啓発・適正利用部会、学術調 査部会(作業チームを含む))を開催した。委員が石西礁湖に対して気になっていることや課題 に感じていることをディスカッションなどから抽出し、とりまとめ、その解消や改善のために必要 な具体的な行動を、ステークホルダーを交えて検討した。	近年、委員が増えたことなどにより取 組報告が会議時間の多くを占めて開 く一方であったが、ディスカッショ ンを取り入れたことにより地元意見 や具体的な行動について検討する機 会が創出された。		環境省(沖縄電 美NCO、計画課 再生L)				
				R5	石西礁湖自然再生協議会と3部会(海域・陸域対策部会、普及啓発・適正利用部会、学術調 査部会(作業チームを含む))を開催した。令和5年度に陸域負荷対策ワーキンググループ(仮 称)が立ち上がり、栄養塩等の対策について具体的な取組の提案を行っている。令和5年度中に石 西礁湖自然再生全体構想行動計画の改訂を行う予定。	地元自治体である石垣市により「サン ゴ保全庁内連携チーム」が立ち上がり、 サンゴ保全の具体的な施策が進み始 めている。石西礁湖自然再生協議会と して、庁内連携チームに対して具体 的対策や科学的根拠の提供等を行っ ている。		環境省(沖縄電 美NCO、計画課 再生L)				
				R6	石西礁湖自然再生協議会と3部会(海域・陸域対策部会、普及啓発・適正利用部会、学術調 査部会(作業チームを含む))を開催した。令和5年度に石西礁湖自然再生全体構想行動計画 の改訂を行い、令和6年度は新計画で定めた3つの重点項目について特に議論を行った。	地元自治体である石垣市により「サン ゴ保全庁内連携チーム」が立ち上がり、 サンゴ保全の具体的な施策が進み始 めている。石西礁湖自然再生協議会と して、庁内連携チームに対して具体 的対策や科学的根拠の提供等を行っ ている。		環境省(沖縄電 美NCO、計画課 再生L)				
				R7	石西礁湖自然再生協議会と3部会(海域・陸域対策部会、普及啓発・適正利用部会、学術調 査部会(作業チームを含む))を開催した。参加委員数が年々増え、それぞれの取組に関する情 報交換・連携の場としてますます重要な機能を果たしている。	石西礁湖自然再生協議会をきっかけ とした委員間のつながりも生まれて おり、サンゴ礁保全に向けて連携し ていく様子が見られた。	今年度の協議会ではショートト ークセッションやグループディスカ ッションを行い、それぞれの取組に 関する情報交換・連携の促進を図 った。	環境省(沖縄電 美NCO、計画課 NP室)				

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26~33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源
新規追加の取組(R4年度)	【高知県】 竜串海さんぽ(担い手育成)		R4		竜串湾で見られる生物を実際に観察することにより、竜串の魅力の確認や、保全の担い手の育成を目的とする。高校生以上の学生を対象に募集を行った。	荒天で延期となったため、当日2名が欠席となったが、参加者は高校生と大学生で計14名。また、当日は荒天で海での活動ができなかったため、陸でモニタリングの説明を受け、映像を見ながらモニタリングを試みた。		環境省 (報告元:高知県)	黒潮生物研究所	2022年度		環境省マリンワーカー
			R5		竜串湾で見られる生物を実際に観察することにより、竜串の魅力の確認や、保全の担い手の育成を目的とする。高校生以上の学生を対象に募集を行った。	参加者は高校生以上で10名、1名当日欠席。説明を受けた後に、実際に海でモニタリングを体験し、まとめ作業を行った。アンケート結果では好意的な感想が多かった。		環境省	黒潮生物研究所	2023年8月19日	竜串自然再生プロジェクトHP	環境省マリンワーカー事業
			R6		竜串湾で見られる生物を実際に観察することにより、竜串の魅力の確認や、保全の担い手の育成を目的とする。高校生以上の学生を対象に募集を行った。	参加者は県内外の高校生12名、大学生1名の計13名に加えて、引率教員4名だった。陸上での説明後、海の経験別で3班にわかれて、実際にモニタリングを体験した。2024年度は高水温でサンゴが白化していたため、参加者はそれらを観察し、気候変動による水温上昇を実感できた。		環境省	黒潮生物研究所	2024年8月24日	竜串自然再生プロジェクトHP	環境省マリンワーカー事業
			R7		竜串湾で見られる生物を実際に観察することにより、竜串の魅力の確認や、保全の担い手の育成を目的とする。高校生以上の学生を対象に募集を行った。	参加者は合計18名(清水高校6名、長浜高校4名、高知大学3名、東海大学2名、その他3名)+引率教員4名だった。陸上での説明後、海の経験別で3班にわかれて、実際にモニタリングを海で体験した。		環境省	黒潮生物研究所		竜串自然再生プロジェクトHP	環境省マリンワーカー事業
新規追加の取組(R4年度)	【高知県】 リーフチェック		R4		一般ダイバーに事前レクチャーを行い、竜串湾内の2地点でサンゴの定量調査を参加者と一緒に行う	11月5-6日参加者2名、スタッフ4名		竜串観光振興会 (報告元:高知県)	黒潮生物研究所	2007年~2022年	<a href="http://blog.livedoor.jp/m8221550918/archives/1886266.html">http://blog.livedoor.jp/m8221550918/archives/1886266.html</a>	自主財源
			R5		一般ダイバーに事前レクチャーを行い、竜串湾内の2地点でサンゴの定量調査を参加者と一緒に行う	11日参加者10名、12日6名だった。勉強会の後に、実際に2測線の調査を参加者に体験してもらい、最後にまとめ作業を行った。また、参加者には測線の準備なども手伝ってもらい、調査方法の理解もできた。		竜串観光振興会	黒潮生物研究所	2023年11月11日、12日		自主財源
			R6		一般ダイバーに事前レクチャーを行い、竜串湾内の2地点でサンゴの定量調査を参加者と一緒に行う	9日参加者5名、10日4名だった。勉強会の後に、実際に2測線の調査を参加者に体験してもらい、最後にまとめ作業を行った。また、参加者には測線の準備なども手伝ってもらい、調査方法の理解もできた。WWFジャパンの支援を受けた。		竜串観光振興会	黒潮生物研究所	2024年11月9日、10日	<a href="https://www.wvf.or.jp/activities/activity/5840.html">https://www.wvf.or.jp/activities/activity/5840.html</a>	自主財源+WWFジャパンの支援
			R7		一般ダイバーに事前レクチャーを行い、竜串湾内の3地点でサンゴの定量調査を参加者と一緒に行う	当日、勉強会は行ったが、リーフチェックは荒天のため延期となり、12月にスタッフの身で実施した。		竜串観光振興会	黒潮生物研究所	2025年12月1日		自主財源
新規追加の取組(R6年度)	【高知県】 サンゴ保全担い手育成		R6		サンゴ保全担い手育成として、勉強会やサンゴのモニタリング活動を実施し、後継者育成を行う(奈半利町海浜センター予定) ※重点課題1にも該当	サンゴ保全にかかる担い手の育成		高知県 自然共生課	公益財団法人黒潮生物研究所、奈半利町			高知県予算
			R7		サンゴ保全担い手育成として、勉強会やサンゴのモニタリング活動を実施し、後継者育成を行う(奈半利町海浜センター予定) ※重点課題1にも該当	サンゴ保全にかかる担い手の育成	【課題】参加者の負担軽減のために、県下中央部で実施を行いたいが、条件の良い海岸が無いため、中心部から離れた開墾地となっている。	高知県 自然共生課	公益財団法人黒潮生物研究所、奈半利町	令和7年11月16日		高知県予算
新規追加の取組(R6年度)	【高知県】 サンゴ勉強会と移植		R6		奈半利町奈半利小学校4年生を対象にサンゴの学習2時間及びサンゴの移植苗作り体験、5年生と6年生を対象に自身で作成した移植苗のサンゴの観察を行う。また、海岸清掃を行う。	小学生が地域のサンゴの学習を行うだけでなく、山、川、海のつながりを学習する。その一環で、消波ブロックの内側で砂に埋まりそうなサンゴを、埋まらない場所に移植する活動を行い、地域の海の環境を考えるきっかけづくりをする。また、自身で4年生時に作成した苗の移植サンゴの成長を、5年生、6年生と観察し、サンゴの成長を見守る活動も行っている。		奈半利町	黒潮生物研究所	2021~2024年		奈半利町
			R7		奈半利町奈半利小学校4年生を対象にサンゴの学習2時間及びサンゴの移植苗作り体験、5年生と6年生を対象に自身で作成した移植苗のサンゴの観察を行う。また、海岸清掃を行う。	小学生が地域のサンゴの学習を行うだけでなく、山、川、海のつながりを学習する。その一環で、消波ブロックの内側で砂に埋まりそうなサンゴを、埋まらない場所に移植する活動を行い、地域の海の環境を考えるきっかけづくりをする。また、自身で4年生時に作成した苗の移植サンゴの成長を、5年生、7年生と観察し、サンゴの成長を見守る活動も行っている。		奈半利町	黒潮生物研究所	2021~2025年		奈半利町
新規追加の取組(R6年度)	【沖縄県】 出前講座の実施		R6		沖縄県地域環境センターで「干潟での自然観察会」や「さんごの魅力と環境の変化」などの出前講座を実施。	出前講座や観察会等を実施。		沖縄県(環境部環境再生課)	しかたに自然案内、沖縄自然環境ファンクラブなど	平成24年~	<a href="https://kankyo-center.okinawa/">https://kankyo-center.okinawa/</a>	環境保全基金
			R7		沖縄県地域環境センターで「干潟での自然観察会」などの出前講座を実施。	出前講座や観察会等を実施。		沖縄県(環境部環境再生課)	しかたに自然案内、沖縄生物倶楽部など	平成24年~	<a href="https://kankyo-center.okinawa/">https://kankyo-center.okinawa/</a>	環境保全基金

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26～33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源		
その他(※重点課題に該当しないがサンゴ礁保全行動計画の趣旨を踏まえ、サンゴ礁生態系保全に対応する取組を予定している場合又は行った場合)														
新規追加の取組(R4年度)	【高知県】 オニヒトデ駆除		R4		高知県四万十市志和におけるサンゴ保全体制の構築を目的としたオニヒトデの駆除方法などの勉強会と実際の駆除活動を行う	のべ2日間で12名が作業に従事し、オニヒトデ15個体を駆除 (内訳)R4.12.11 4個体(4名) R4.12.17 11個体(8名)		(公財)黒潮生物 研究所、四万十 ダイブ		令和4年12月11日 令和4年12月17日		一部を高知県予算で 負担		
			R5		高知県四万十市志和におけるサンゴ保全体制の構築を目的としたオニヒトデの駆除方法などの勉強会と実際の駆除活動を行う	11名が作業に従事し、オニヒトデ19個 体を駆除		(公財)黒潮生物 研究所、四万十 ダイブ		令和6年1月13日		高知県予算		
			R6		実施なし									
			R7		実施なし									
新規追加の取組(R4年度)	【高知県】 オニヒトデ駆除		R4		竜串湾内のオニヒトデ駆除を行う	44個体のオニヒトデを駆除		足摺海洋館	黒潮生物研究所	2020年～2022年		足摺海洋館の寄附金		
			R5		竜串湾内のオニヒトデ駆除を行う	26個体のオニヒトデを駆除		足摺海洋館	黒潮生物研究所	2023年4月19日、5月23日		足摺海洋館の寄附金		
			R6		竜串湾内のオニヒトデ駆除を行う	参加者6名		足摺海洋館	黒潮生物研究所	2024年5月17日		足摺海洋館の寄附金		
			R7		竜串湾内のオニヒトデ駆除を行う	オニヒトデ駆除34個体		足摺海洋館	黒潮生物研究所	2025年5月9日		足摺海洋館の寄附金		
新規追加の取組(R4年度)	【高知県】 オニヒトデ駆除		R4		竜串湾内のオニヒトデ駆除を行う	461個体のオニヒトデを駆除		環境省	黒潮生物研究所・みんなの 海を育てる会	～2022年		竜串自然再生プロジェクトHP	環境省マリンワーカー	
			R5		竜串湾内のオニヒトデ駆除を行う	292個体のオニヒトデを駆除。駆除数 は減少傾向にある。		環境省	黒潮生物研究所・みんなの 海を育てる会			竜串自然再生プロジェクトHP	環境省マリンワーカー	
			R6		竜串湾内のオニヒトデ駆除を行う	現在も駆除を継続中		環境省	黒潮生物研究所・みんなの 海を育てる会			竜串自然再生プロジェクトHP	環境省マリンワーカー	
			R7		竜串湾内のオニヒトデ駆除を行う	900個体程度で、増加傾向		環境省	黒潮生物研究所・みんなの 海を育てる会			竜串自然再生プロジェクトHP	環境省マリンワーカー	
新規追加の取組(R6年度)	【高知県】 オニヒトデ駆除		R6		宿毛市・大月町のサンゴ食害生物の駆除	現在も駆除を継続中		環境省	黒潮生物研究所			環境省マリンワーカー		
			R7		実施なし									
新規追加の取組(R6年度)	【高知県】 漁業者を中心としたサンゴの保全活動(土佐 清水市、宿毛市、大月町)		R6		水産多面的機能発揮対策事業(水産庁事業)を活用し、漁業者を中心とする活動組織が高知県土佐清水市、宿毛市及び大月町におけるサンゴ礁の保全を目的とした、サンゴのモニタリング、食害生物(オニヒトデ等)の除去、サンゴの移植活動を行う ※重点課題1、重点課題2～3に関連	サンゴの保全		高知県水産業振 興課(高知県環 境生態系保全 地域協議会(県、市町、漁 連、内漁連、漁港漁場協会 により構成)	高知県環境生態系保全対策 地域協議会(県、市町、漁 連、内漁連、漁港漁場協会 により構成)			水産庁水産多面的機能発揮対策参照: <a href="https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyoko_gyoz&lt;br/&gt;yo/g_thema/sub391.html">https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyoko_gyoz yo/g_thema/sub391.html</a>	R6水産多面的機能発 揮対策事業交付金	
			R7		漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業(水産庁)を活用し、漁業者を中心とする活動組織が高知県土佐清水市におけるサンゴ礁の保全を目的とした、サンゴのモニタリング、食害生物(オニヒトデ等)の除去、サンゴの移植活動を行う ※重点課題1、重点課題2～3に関連	サンゴの保全		高知県水産業振 興課(高知県環 境生態系保全 地域協議会(県、市町、漁 連、内漁連、漁港漁場協会 により構成)	高知県環境生態系保全対策 地域協議会(県、市町、漁 連、内漁連、漁港漁場協会 により構成)	R7～R11		漁場生産力・水産多面的機能強化対策 (水産庁): <a href="https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyoko_gyoz&lt;br/&gt;yo/g_thema/sub391.html">https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyoko_gyoz yo/g_thema/sub391.html</a>	R7現場生産力・水産多 面的機能強化対策交 付金	
新規追加の取組(R6年度)	【高知県】 漁業者を中心とした浮遊・堆積物の除去活動 (土佐清水市)		R6		水産多面的機能発揮対策事業(水産庁事業)を活用し、漁業者を中心とする活動組織が高知県土佐清水市におけるサンゴ礁の保全を目的とした浮遊・堆積物の除去活動を行う	サンゴの保全		高知県水産業振 興課(高知県環 境生態系保全 地域協議会(県、市町、漁 連、内漁連、漁港漁場協会 により構成)	高知県環境生態系保全対策 地域協議会(県、市町、漁 連、内漁連、漁港漁場協会 により構成)			水産庁水産多面的機能発揮対策参照: <a href="https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyoko_gyoz&lt;br/&gt;yo/g_thema/sub391.html">https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyoko_gyoz yo/g_thema/sub391.html</a>	R6水産多面的機能発 揮対策事業交付金	
			R7		漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業(水産庁)を活用し、漁業者を中心とする活動組織が高知県土佐清水市におけるサンゴ礁の保全を目的とした浮遊・堆積物の除去活動を行う	サンゴの保全		高知県水産業振 興課(高知県環 境生態系保全 地域協議会(県、市町、漁 連、内漁連、漁港漁場協会 により構成)	高知県環境生態系保全対策 地域協議会(県、市町、漁 連、内漁連、漁港漁場協会 により構成)	R7～R11		漁場生産力・水産多面的機能強化対策 (水産庁): <a href="https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyoko_gyoz&lt;br/&gt;yo/g_thema/sub391.html">https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyoko_gyoz yo/g_thema/sub391.html</a>	R7現場生産力・水産多 面的機能強化対策交 付金	
新規追加の取組(R6年度)	【高知県】 漁業者を中心とした藻場の保全活動		R6		水産多面的機能発揮対策事業(水産庁事業)を活用し、漁業者を中心とする活動組織が高知県の複数沿岸市町で藻場の保全を行う	藻場の保全		高知県水産業振 興課(高知県環 境生態系保全 地域協議会(県、市町、漁 連、内漁連、漁港漁場協会 により構成)	高知県環境生態系保全対策 地域協議会(県、市町、漁 連、内漁連、漁港漁場協会 により構成)			水産庁水産多面的機能発揮対策参照: <a href="https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyoko_gyoz&lt;br/&gt;yo/g_thema/sub391.html">https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyoko_gyoz yo/g_thema/sub391.html</a>	R6水産多面的機能発 揮対策事業交付金	
			R7		漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業(水産庁)を活用し、漁業者を中心とする活動組織が高知県の複数沿岸市町で藻場の保全を行う	藻場の保全		高知県水産業振 興課(高知県環 境生態系保全 地域協議会(県、市町、漁 連、内漁連、漁港漁場協会 により構成)	高知県環境生態系保全対策 地域協議会(県、市町、漁 連、内漁連、漁港漁場協会 により構成)	R7～R11		漁場生産力・水産多面的機能強化対策 (水産庁): <a href="https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyoko_gyoz&lt;br/&gt;yo/g_thema/sub391.html">https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyoko_gyoz yo/g_thema/sub391.html</a>	R7現場生産力・水産多 面的機能強化対策交 付金	

No.	行動計画2022-2030に記載のある取組 (行動計画p.26～33)	活動内容	No	報告 年度	具体的活動	取組による効果	アピールしたい成果 他団体・有識者へ助言を貰 いたいこと(実施における課 題等)	実施主体	協働先	取組実施期間	取組に関する 情報公開場所	資金源	
	新規追加の取組(R6年度)	【高知県】 新たな観光資源の発掘調査	R6	R6	新たな観光資源の発掘のため、地域の海域のサンゴやその他の海洋生物の分布状況などを把握する。 ※重点課題1、重点課題2-2に関連	サンゴのみならず、その他の海洋生物を記録し、図鑑を作成して公開している(現在は仮)		東洋町・徳島県海陽町	黒潮生物研究所	2023～2024年	図鑑版: <a href="https://kuroshio.or.jp/zukan/">https://kuroshio.or.jp/zukan/</a>	南四国アイランド活性化協議会	
			R7	R7	新たな観光資源の発掘のため、地域の海域のサンゴやその他の海洋生物の分布状況などを把握する。 ※重点課題1、重点課題2-3に関連	サンゴのみならず、その他の海洋生物を記録し、図鑑を作成して公開している(現在は仮)		東洋町・徳島県海陽町	黒潮生物研究所	2023～2025年	図鑑版: <a href="https://kuroshio.or.jp/jam/">https://kuroshio.or.jp/jam/</a>	南四国アイランド活性化協議会	
	新規追加の取組(R5年度)	【長崎県】 2022年3月に「香岐のサンゴ礁を守る会」が発足	R5	R5	香岐のサンゴの保全と利活用について検討を進めるとともに、地域全体の機運を盛り上げるため関係機関への働きかけを行っている。			香岐のサンゴ礁を守る会(民間団体)					
			R6	R6	引き続き、香岐のサンゴの保全と利活用について検討を進めるとともに、地域全体の機運を盛り上げるため関係機関への働きかけを行っている。(R6年11月に県からも現地確認)			香岐のサンゴ礁を守る会(民間団体)					
			R7	R7	引き続き、香岐のサンゴの保全と利活用について検討を進めるとともに、地域全体の機運を盛り上げるため関係機関への働きかけを行っている。R7年度から環境省のモデル事業とも連携。	環境省モデル事業が進捗しているところ、地元団体の支援等、効果的な連携を行いたい。	香岐のサンゴ礁を守る会(民間団体)						
	新規追加の取組(R6年度)	【熊本県】 海ゴミ回収・普及啓発	R6	R6	陸域・海域におけるごみ回収。漂着ごみの発生源に応じた啓発、農業・漁業資材などの海洋への流出防止、プラスチック代替製品の活用促進など排出抑制活動。また、県内のリサイクル推進に向けた市町村などの取組み支援。	農業・漁業団体と連携して、定期巡回することで資材やごみの海域流出を防止した。 また、環境省からの補助金を活用し、市町村の海岸漂着物等の回収・処理を支援。海域及び陸域の環境衛生を保全した。		熊本県(循環社会推進課)	くまもと海洋プラスチックごみ『ゼロ』推進会議		熊本県循環社会推進課	一般財源 環境省補助金	
			R7	R7	陸域・海域におけるごみ回収。漂着ごみの発生源に応じた啓発、農業・漁業資材などの海洋への流出防止、プラスチック代替製品の活用促進など排出抑制活動。また、県内のリサイクル推進に向けた市町村などの取組み支援。	農業・漁業団体と連携して、定期巡回することで資材やごみの海域流出を防止した。 また、環境省からの補助金を活用し、市町村の海岸漂着物等の回収・処理を支援。海域及び陸域の環境衛生を保全した。		熊本県(循環社会推進課)	くまもと海洋プラスチックごみ『ゼロ』推進会議		熊本県循環社会推進課	一般財源 環境省補助金	
	新規追加の取組(R6年度)	【沖縄県】 海洋ごみ回収	R6	R6	海岸管理者による海洋ごみ回収及び市町村実施の海洋ごみ回収への補助金の交付	海洋ごみの回収・処理を行うことで、海洋環境の保全に寄与した。		沖縄県(環境整備課)			平成22年～		地域環境保全対策費補助金(海岸漂着物等 地域対策推進事業)
			R7	R7	海岸管理者による海洋ごみ回収及び市町村実施の海洋ごみ回収への補助金の交付	海洋ごみの回収・処理を行うことで、海洋環境の保全に寄与した。		沖縄県(環境整備課)			平成22年～		地域環境保全対策費補助金(海岸漂着物等 地域対策推進事業)